

これぞ京王グループの定番! みんなが求める**団体保険**

団体割引
20%適用

団体傷害保険をはじめ団体扱・団体契約保険を1つの冊子にまとめた、
新しい京王グループの保険総合カタログです

京王グループ団体保険

みなサポート

団体総合生活補償保険

ご家族も
団体割引
適用!

中途加入
OK!

オプション
で必要な
補償が選択
できる!

保存版 1年間保管ください

保険期間：2024年1月25日午後4時～
2025年1月25日午後4時

保険料払込方法：2024年3月に口座振替(1回払)

加入申込票提出先：京王観光(株)保険事業部

◆お問合わせ先◆

【代理店・扱者】
京王観光株式会社 保険事業部
TEL 050-8885-8212

【引受保険会社(幹事)】
三井住友海上火災保険株式会社 企業営業第五部第一課
TEL 03-3259-3088

重要事項のご説明(別冊)については、必ずご確認いただきますようお願いいたします。
なお、パンフレットおよび重要事項のご説明(別冊)は右記二次元コードから読み取り、ご覧いただけます。

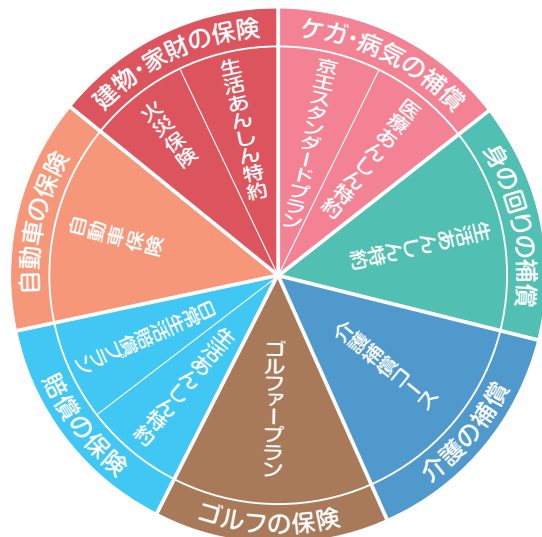


京王グループの団体保険

「みなサポート」で

日々の暮らしにおける

幅広いリスクに備えましょう!



■ケガや病気に備える基本補償

京王スタンダードプラン

ケガの補償 + 病気の補償



■ケガor病気
単独のプランも
あります。

ケガのみ
プラン P11

疾病のみ
プラン P12

+あなたに合わせて

えらべるオプション



日常生活賠償



携行品

■ゴルフをする方に

ゴルファープラン

ゴルフをする方の
マストアイテム!



P11
~
P12

■家族・夫婦補償プランにご加入のみなさまへ

家族・夫婦補償プラン

※現在、ご加入のお客さまのみ
※このプランに新規加入することはできません。



P13
~
P14

その他団体扱制度

自動車
保険



火災保険



終身医療
保険



終身がん
保険



P18

あなたは大丈夫？

各種保険を上手に活用しましょう!!

入院時の
自己負担費用*

平均 **19.8万円**

入院時の
1日あたりの
自己負担費用*

平均 **20,700円**

▶ 先進医療などの治療を受けたときや、入院したときの出費に備えましょう。

自己負担しなければいけないもの

- ① 医療費 …… 健康保険の一部負担
 - ② 病院食費 …… 入院中の食費、1食につき460円(*)が自己負担
 - ③ 差額ベッド代
 - ④ 諸費用 …… ご家族の交通費、テレビ代、日用品など
 - ⑤ 先進医療費用… 技術料は全額自己負担
- (*) 一般の方の場合

※ 治療費・食事代・差額ベッド代に加え、交通費（見舞いに来る家族の交通費も含む）や衣類、日用品などを含む。高額療養費制度を利用した場合は利用後の金額
 〈(公財)生命保険文化センター 令和4年度「生活保障に関する調査」〉
 過去5年間に入院し、自己負担費用を支払った人
 [高額療養費制度を利用した人+利用しなかった人(適用外含む)]



レジャー



住宅内生活用動産



がん診断*



介護補償*

京王
スタンダード
プラン
P3~P4

えらべる
オプション
P5~P10

※ケガのみプランにはセットできません。

Q&A



P15
~
P16

加入申込票
記入例



P17

ご契約者さま
専用ページ

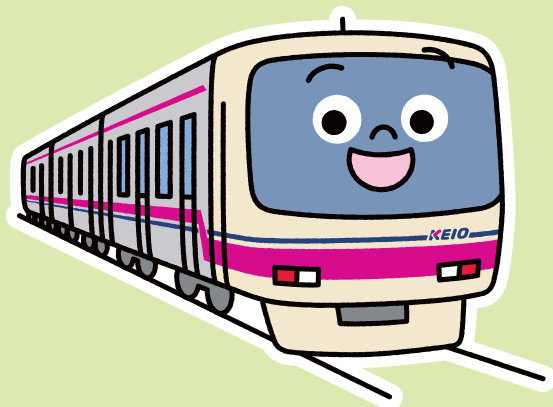


P19

保険金請求
WEB



P19



京王スタンダード
プラン

えらべるオプション

ケガのみプラン

疾病のみプラン

ゴルフプラン

その他団体扱い制度

京王スタンダードプラン

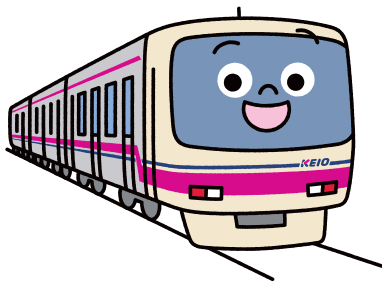
ST3

ST5

安心した京王ライフを送るため、ケガと病気の補償をセットにした基本プランです。
京王グループをご退職された方の1、配偶者 2、お子さま 3、ご両親 4、ご兄弟姉妹等もご加入いただけます。
詳細は重要事項のご説明P18をご参照ください。



京王スタンダードプランとは？



京王スタンダードプランは

生活を送るうえで基本的なリスクである、病気とケガの補償をセットにしたものなんだ。

この基本補償に必要なオプション（えらべるオプション）をニーズに合わせて自由に選択することで、みなさんひとり一人にぴったりの保険を設計することができるんだ。

この京王スタンダードプラン+えらべるオプションの加入をおすすめします！

●京王スタンダードプランの特徴

病気・ケガによる入院・通院・手術等を補償



地震・噴火やこれらを原因とする津波によるケガも補償



先進医療・拡大治験・患者申出療養費用も補償



病気・ケガにより国内で先進医療・拡大治験・患者申出療養を受けたとき、2,000万円を限度に実費をお支払いします。さらに先進医療・拡大治験・患者申出療養を受けるための交通費・宿泊費（1泊1万円限度）も補償します。

● 保険金額

(加入限度口数：1口)

補償項目		ST3	ST5
ケガ	傷害死亡・後遺障害※1	100万円	100万円
	傷害入院(日額)	3,750円	3,750円
	傷害手術	入院中の手術：傷害入院保険金日額の10倍 入院中以外の手術：傷害入院保険金日額の5倍	
病気	傷害通院(日額)	2,500円	2,500円
	疾病入院(日額)	3,000円	5,000円
	疾病手術	入院中の手術：疾病入院保険金日額の20倍 入院中以外の手術：疾病入院保険金日額の5倍	
	疾病放射線治療	1回の放射線治療について、疾病入院保険金日額の10倍	
	疾病通院(日額)※2	1,500円	2,500円
疾病入院時一時金		5万円	10万円
先進医療・拡大治験・患者申出療養費用		2,000万円	2,000万円
特定感染症危険補償		特定感染症による後遺障害保険金、入院保険金および通院保険金もお支払いします。	
特定感染症による葬祭費用		300万円	
天災危険補償		天災危険(地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波)によるケガの場合も補償されます。	
熱中症危険補償		熱中症(日射または熱射による身体障害)についても傷害後遺障害保険金、傷害入院保険金、傷害手術保険金および傷害通院保険金をお支払いします。	

● 年払保険料(年令別)※3

年令	ST3	ST5	年令	ST3	ST5	年令	ST3	ST5
生後15日～4才	19,550円	24,090円	30～34才	20,670円	25,940円	60～64才	39,130円	57,530円
5～9才	18,190円	21,700円	35～39才	21,010円	26,510円	65～69才	52,700円	80,790円
10～14才	16,080円	17,970円	40～44才	21,120円	26,680円	70～74才	70,910円	111,780円
15～19才	16,060円	17,880円	45～49才	23,010円	29,910円	75～79才	102,870円	165,530円
20～24才	17,340円	20,130円	50～54才	26,200円	35,350円	80～84才	147,390円	240,160円
25～29才	19,040円	23,070円	55～59才	31,070円	43,700円	85～89才	160,110円	260,840円

※1 傷害後遺障害保険金は、後遺障害の程度に応じて、傷害死亡・後遺障害保険金額の4%～100%をお支払いします。

※2 退院後通院を補償します。

※3 年令は2024年1月25日時点の満年令となります。

こんな時に役に立ちました! 加入者の声

大腸ポリープ切除のために日帰り入院・手術

入院1日、入院中に手術

205,000円のお支払い

疾病入院(日額)	5,000円×1=5,000円
疾病手術	5,000円×20=100,000円
疾病入院時一時金	100,000円
合計	205,000円

加入プラン

京王スタンダードプラン **ST5**

日帰り入院でしたが、一時金の支払いがあるので、手厚い補償がつけられました。



階段で転倒し脚を骨折してギプス固定

ギプス固定30日+その後の通院10日間

100,000円のお支払い

傷害通院(日額)	2,500円×30=75,000円
	2,500円×10=25,000円
合計	100,000円

加入プラン

京王スタンダードプラン **ST5**

骨折で所定の部位をギプス固定している期間も傷害通院保険金がもらえるなんて知りませんでした。



保険料の
メモ欄

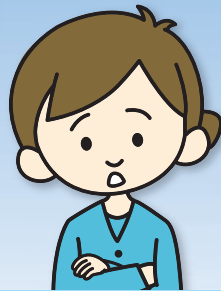
+ + =

えらべる オプション

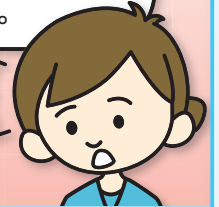
京王スタンダードプランおよびケガのみプランにご加入の方が選べるオプション(特約)です

生活あんしん特約

オプションも色々あるみたいだけど、どんな事故が多いのかしら。

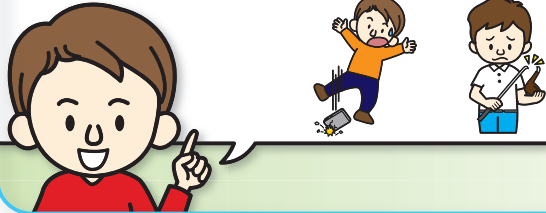


自転車保険の条例化も進んでいるし、多額の賠償リスクに備えて**日常生活賠償**は必須だよ。



1 2
3 4

他にも、スマホを旅行中に落として壊した、趣味の釣り竿やゴルフクラブを折ってしまったなど**携行品**の事故も多いみたいだよ。



あなた本当に詳しいのね…。



このパンフのP5、6も参考にみるといいよ!



⊕ 日常生活賠償

ご自身やご家族の日常生活における第三者への賠償を補償

示談交渉サービス付
(国内のみ)

K

● お支払対象となる例

自転車でぶつかって他人にケガをさせた。



● 保険金額と年払保険料

(加入限度口数：1口)

日常生活賠償	K
保険金額	3億円
年払保険料	1,450円

※被保険者の範囲は本人、配偶者、同居の親族、別居の未婚の子となります。詳細は重要事項のご説明のP23をご参照ください。

⊕ 携行品

ご自身やご家族の携行品の破損における修理費などを補償

KK

● お支払対象となる例

旅行中にカメラを誤って落として壊した。



● 保険金額と年払保険料

(加入限度口数：1口)

KK	携行品	傷害死亡・後遺障害
保険金額	30万円 (免責金額:3,000円)	10万円
年払保険料	5,690円	



ご注意

※1 携行品損害保険金の損害の額は1個、1組または1対のものについて10万円が限度となります。

ただし通貨または乗車券等もしくは小切手については1回の事故につき5万円が限度となります。

※2 保険金のお支払額は、保険期間を通じ、携行品損害保険金額が限度となります。

※3 家族型への変更に関する特約がセットされており、被保険者の範囲は本人・配偶者・その他親族となります。

この特約に関する詳細は、重要事項のご説明P9をご参照ください。

⊕ 傷害死亡・後遺障害

ケガで亡くなった場合や後遺障害を負った場合に補償

S

● お支払対象となる例

不慮の事故により死亡した。



● 保険金額と年払保険料

(加入限度口数：40口)

傷害死亡・後遺障害	S
保険金額	100万円
年払保険料	1,270円

住宅内生活用動産

損壊などによる住宅内の生活用動産の損害を補償

J

お支払対象となる例

模様替え中に誤ってテレビを破損した。



保険金額と年払保険料

(加入限度口数：1口)

住宅内生活用動産	J
保険金額	50万円 (免責金額:3,000円)
年払保険料	8,470円



- ※1 損害の額は、貴金属、宝玉、宝石、書画、骨董、彫刻物等については、1個、1組または1対については30万円が限度となります。ただし、通貨または乗車券等もしくは小切手については1回の事故につき5万円が限度となります。
- ※2 損害保険金のお支払額は、保険期間を通じ、住宅内生活用動産保険金額が限度となります。
- ※3 被保険者本人の住宅内にある本人または生計を共にする親族が所有する生活用動産が対象です。

この特約に関する詳細は、重要事項のご説明P9、10をご参照ください。

弁護士

被害事故に遭われたときの
弁護士への相談費用等を補償

おすすめ

BE

お支払対象となる例

自転車事故にあいケガをしたため、相手方との交渉を弁護士に依頼し弁護士費用等を負担した。



保険金額と年払保険料

(加入限度口数：1口)

弁護士	BE
保険金額	300万円
年払保険料	2,640円

※被保険者の範囲は本人、配偶者、同居の親族、別居の未婚の子となります。詳細は重要事項のご説明のP23をご参照ください。

レジャー

- ①受託物賠償 (人から借りていた財物を破損したときなどの賠償費用を補償)
- ②キャンセル費用 (入院等により旅行をキャンセルした場合などの負担費用を補償)
- ③救援者費用等 (航空機事故や山岳事故での捜索費用や救助費用などを補償)

L

お支払対象となる例

友人から借りていたビデオカメラを
過って落として壊した。



保険金額と年払保険料

(加入限度口数：1口)

レジャー	L	
保険金額	受託物賠償	10万円 (免責金額:5,000円)
	キャンセル費用	10万円 (免責金額:1事故1,000円またはキャンセル費用の20%のいずれか高い額)
	救援者費用等	400万円
年払保険料		610円

※受託物賠償の被保険者の範囲は本人、配偶者、同居の親族、別居の未婚の子となります。詳細は重要事項のご説明のP23をご参照ください。

こんな時に役に立ちました! 加入者の声

通勤中に自転車事故

相手への賠償金

1,173,949円のお支払い

自転車走行中、タクシーから降りてきた相手と接触し、相手が転倒、手を骨折させてしまった。

加入プラン(オプション)

日常生活賠償

K

示談交渉サービスがついていて、保険会社に示談交渉を任せられました。



子どもがスマホを学校で水没

スマホ修理不能(全損)

86,000円のお支払い

再調達価額	89,000円
免責金額	3,000円

加入プラン(オプション)

携行品

KK

再調達価額で補償されるので買い替えの負担が少なくて済みました。



おまけに自分だけじゃなくて家族の携行品にも補償が拡大されていて助かりました。

自宅で使用していたノートパソコンに誤ってお茶をこぼして破損

ノートパソコン修理費用

26,800円のお支払い

ノートパソコン修理費用	29,800円
免責金額	3,000円

加入プラン(オプション)

住宅内生活用動産

J

火事や水害だけでなくこのような身近な事故でも支払われるんですね。



保険料の
メモ欄

+

+

=

えらべる オプション

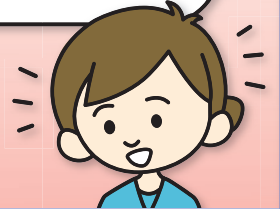
京王スタンダードプランおよび
疾病のみプランにご加入の方が
選べるオプション(特約)です

医療あんしん特約

入院した時に備えて
**京王スタンダード
プラン**には入ったけど、
がんの特約って
必要なのかしら？

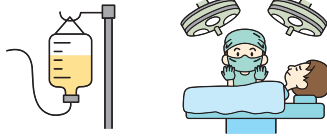
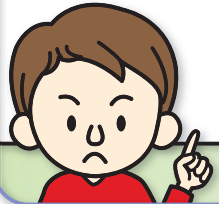


がんは治療が長期化することも
あり、**治療費が高額**に
なりがちなんだ。



1 2
3 4

抗がん剤治療など**長期にわたる通院**で経済的
な負担を抱える人は多いんだ。



みなサポートではがん診断
保険金や抗がん剤治療特約で
がんに**手厚く備える**ことが
できるんだ。

分かり
ました



⊕がん診断

がん(悪性新生物)と診断され、
治療を開始したときに一時金をお支払い

上皮内新生物
も対象

GN

※三大疾病(3D)と同時に加入いただくことはできません。

●お支払対象となる例

がんと診断され、治療を開始した。



●保険金額と年払保険料(年令別)

(加入限度口数：1口)

保険金額		100万円			
年払保険料(年令別)					
年令	保険料	年令	保険料	年令	保険料
生後15日~4才	290円	30~34才	2,410円	60~64才	33,400円
5~9才	290円	35~39才	3,820円	65~69才	44,850円
10~14才	290円	40~44才	5,840円	70~74才	57,530円
15~19才	290円	45~49才	8,770円	75~79才	59,860円
20~24才	380円	50~54才	10,820円	80~84才	32,880円
25~29才	1,250円	55~59才	17,300円	85~89才	21,440円

(注) 年令は2024年1月25日時点の満年令となります。

⊕抗がん剤

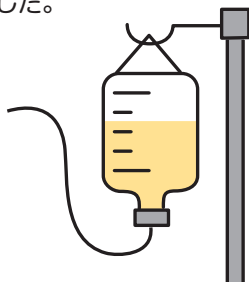
がん(悪性新生物)の治療のため、
保険期間中に抗がん剤治療を開始した場合にお支払い

おすすめ

KG

●お支払対象となる例

がんを発病し抗がん剤治療を
開始した。



●保険金額と年払保険料(年令別)

(加入限度口数：1口)

保険金額		5万円						
年払保険料(年令別)								
年令	男性	女性	年令	男性	女性	年令	男性	女性
生後15日~4才	660円	2,170円	30~34才	660円	6,960円	60~64才	19,930円	34,000円
5~9才	660円	2,170円	35~39才	1,320円	6,960円	65~69才	30,250円	34,000円
10~14才	660円	2,170円	40~44才	1,930円	16,960円	70~74才	44,830円	31,310円
15~19才	660円	2,170円	45~49才	1,930円	29,070円	75~79才	55,100円	31,310円
20~24才	660円	2,170円	50~54才	6,480円	36,690円	80~84才	47,580円	27,950円
25~29才	660円	4,340円	55~59才	11,380円	36,690円	85~89才	46,380円	27,950円

(注1) 年令は2024年1月25日時点の満年令となります。

(注2) 乳がん、前立腺がんの内分泌療法(ホルモン療法)の場合は保険金額の1倍、それ以外の場合は2倍の額をお支払いします。

(注3) 上皮内新生物の場合は対象外となります。

⊕ 三大疾病

三大疾病と診断され、所定の要件を充足したときに一時金をお支払い

3D

※がん診断 (GN) と同時にご加入いただくことはできません。

● お支払対象となる例

脳卒中と診断され、治療のため入院を開始した。



● 保険金額と年払保険料 (年令別)

(加入限度口数：1口)

保険金額		100万円			
年払保険料 (年令別)					
年令	保険料	年令	保険料	年令	保険料
生後15日~4才	630円	30~34才	3,870円	60~64才	48,870円
5~9才	630円	35~39才	5,910円	65~69才	65,160円
10~14才	630円	40~44才	8,830円	70~74才	83,210円
15~19才	630円	45~49才	13,130円	75~79才	86,530円
20~24才	790円	50~54才	16,130円	80~84才	48,130円
25~29才	2,150円	55~59才	25,630円	85~89才	31,850円

(注) 年令は2024年1月25日時点の満年令となります。

⊕ 女性上乗せ

女性の方限定

所定の女性特定疾病に罹患したときに入院日額などを上乗せしてお支払い

おすすめ

JS

● お支払対象となる例

子宮筋腫で入院し、入院中に手術を受けた。



● 保険金額と年払保険料 (年令別)

(加入限度口数：1口)

疾病入院 (日額)		5,000円			
疾病手術	入院中の手術	疾病入院保険金日額の20倍			
	入院中以外の手術	疾病入院保険金日額の5倍			
	疾病放射線治療	1回の放射線治療について、疾病入院保険金日額の10倍			
疾病通院 (日額) ※		2,500円			
年払保険料 (年令別)					
年令	保険料	年令	保険料	年令	保険料
生後15日~4才	1,340円	30~34才	4,210円	60~64才	14,210円
5~9才	950円	35~39才	4,670円	65~69才	21,300円
10~14才	510円	40~44才	4,620円	70~74才	31,440円
15~19才	670円	45~49才	5,440円	75~79才	54,470円
20~24才	1,350円	50~54才	7,010円	80~84才	83,450円
25~29才	2,800円	55~59才	9,620円	85~89才	92,700円

(注) 年令は2024年1月25日時点の満年令となります。

※退院後通院を補償します。

こんな時に役に立ちました

加入者の声

胃がんと診断され、内分泌療法 (ホルモン療法) が6か月間続いた

入院20日間、入院中に手術、入院後の通院20日間、6か月間の内分泌療法 **1,950,000円のお支払い**

疾病入院 (日額)	5,000円×20=100,000円
疾病手術	5,000円×20=100,000円
疾病入院時一時金	100,000円
疾病通院 (日額)	2,500円×20=50,000円
がん診断保険金	1,000,000円
抗がん剤治療	100,000×6=600,000円
合計	1,950,000円

入院以外の治療の負担が大きかったから、一時金や抗がん剤治療保険金の支払いがあったよ。

加入プラン

- 京王スタンダードプラン ST5
- がん診断 GN
- 抗がん剤 KG



子宮筋腫で入院・手術

入院20日間、入院中に手術 **500,000円のお支払い**

疾病入院 (日額)	5,000円×20+5,000円×20=200,000円
疾病手術	5,000円×20+5,000円×20=200,000円
疾病入院時一時金	100,000円
合計	500,000円

女性に多い病気に手厚く補償してもらえて助かりました。

加入プラン

- 京王スタンダードプラン ST5
- 女性上乗せ JS



保険料のメモ欄

+ + =

えらべる オプション

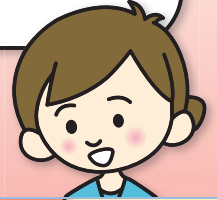
京王スタンダードプランおよび
疾病のみプランにご加入の方が
選べるオプション(特約)です

介護補償コース

先輩
要介護状態になると
お金って
かかるわよね!?



そうだね、介護が必要になると自宅の
改修などの費用や
毎月、介護にかかる
費用も発生するからね。



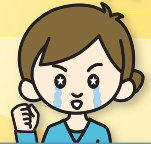
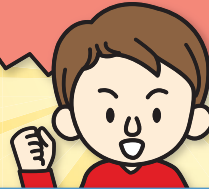
1 2
3 4

介護の精神的な負担に加え**経済的な負担**が
重なると、いままで通りの
生活が送れなくなるかも
しれない
大きなリスク
なんだ。



みなサポートでは**本人の介護**だけじ
ゃなく、**親介護**まで用意されていて、
団体割引が適用された保険料で加入
ができるんだ。

さすが



⊕本人介護

要介護状態(要介護3以上の状態)となった場合に一時金をお支払い

※介護のため一時的に必要な費用(介護用品・住宅リフォーム費用等)に
充当することを目的とした特約です。

H1

要介護状態が30日を超えた場合に対象となります。

●お支払対象となる例

要介護3と認定された。



●保険金額と年払保険料(年令別)

(加入限度口数：2口)

保険金額		100万円			
年払保険料(年令別)					
年令	保険料	年令	保険料	年令	保険料
生後15日~4才	80円	30~34才	80円	60~64才	1,680円
5~9才	80円	35~39才	80円	65~69才	3,810円
10~14才	80円	40~44才	80円	70~74才	8,430円
15~19才	80円	45~49才	160円	75~79才	18,330円
20~24才	80円	50~54才	340円	80~84才	46,980円
25~29才	80円	55~59才	770円	85~89才	101,160円

(注) 年令は2024年1月25日時点の満年令となります。

⊕ 親介護

要介護状態（要介護3以上の状態）となった場合に一時金をお支払い

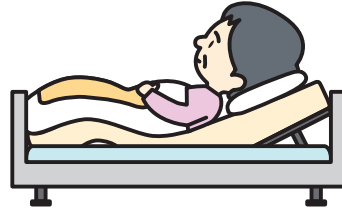
※介護のため一時的に必要となる費用（介護用品・住宅リフォーム費用等）に充当することを目的とした特約です。
 ※特約被保険者（親）の健康状況をご確認いただき、代理で告知（署名）していただきます。

P1

● お支払対象となる例

要介護状態が30日を超えた場合に対象となります。

母親が脳卒中で倒れ要介護3と認定された。



● 保険金額と年払保険料（親介護一時金は年令別）

（加入限度口数：3口）

親介護一時金		所定の要介護状態が30日を超えて継続した場合			
保険金額		100万円			
年払保険料（特約被保険者1名あたり）[2024年1月25日時点の特約被保険者の満年齢]					
年令	保険料	年令	保険料	年令	保険料
40～44才	80円	60～64才	1,680円	80～84才	46,980円
45～49才	160円	65～69才	3,810円	85～89才	101,160円
50～54才	340円	70～74才	8,430円		
55～59才	770円	75～79才	18,330円		

傷害死亡・後遺障害	保険金額	10万円
ケガで死亡または後遺障害が残ったとき	年払保険料	110円

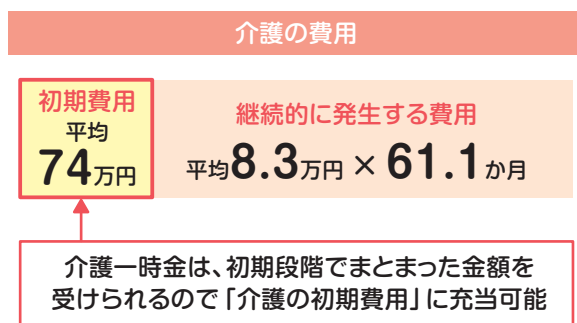
（注）傷害死亡・後遺障害の被保険者の親（姻族を含む最大2名まで）が親介護一時金の特約被保険者になります。

● 要介護状態とは

要介護1	立ち上がりや歩行が不安定。日常の中で、排せつや入浴などに部分的な介助が必要。
要介護2	自力での立ち上がりや歩行に支えが必要。排せつ、入浴などに一部介助が必要。
要介護3	立ち上がりや歩行などが自力ではできない。日常においても排せつ、入浴、衣服の着脱などで全面的な介助が必要。
要介護4	排せつ、入浴、衣服の着脱など日常生活の全般において全面的な介助が必要。日常生活能力の低下がみられる。
要介護5	日常生活において、全面的な介助が必要であり、意思の伝達も困難。

「要介護状態（要介護3以上の状態）」の場合一時金100万円をお支払いします。（P1セット1口ご加入いただいた場合）

● 介護にかかる費用



出典：生命保険文化センター
 令和3年度「生命保険に関する全国実態調査」

保険料のメモ欄

+ + =

ケガと病気に備える京王スタンダードプランをオススメいたしますが、

ケガのみプラン

KE1

KE2

ご注意

- ・KE1は、京王スタンダードプラン (ST3・ST5) との重複加入はできません。
- ・KE2は、京王スタンダードプラン (ST3・ST5) ・KE1にご加入の方はお一人さま合計で加入限度3口まで、未加入の方はお一人さま加入限度4口までとなります。

● 保険金額

補償項目	KE1 (加入限度口数：1口) ※1	KE2 (加入限度口数：4口)
傷害死亡・後遺障害※2	100万円	100万円
傷害入院 (日額)	3,750円	3,750円
傷害手術	入院中の手術：傷害入院保険金日額の10倍 入院中以外の手術：傷害入院保険金日額の5倍	
傷害通院 (日額)	2,500円	2,500円
特定感染症危険補償	特定感染症による後遺障害保険金、入院保険金および通院保険金もお支払いします。	
特定感染症による葬祭費用	300万円	-
天災危険補償	天災危険 (地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波) によるケガの場合も補償されます。	
熱中症危険補償	熱中症 (日射または熱射による身体障害) についても傷害後遺障害保険金、傷害入院保険金、傷害手術保険金および傷害通院保険金をお支払いします。	

● 年払保険料

KE1 (加入限度口数：1口)	KE2 (加入限度口数：4口)
12,850円	12,610円

※1 新規の方はKE1の限度口数は1口までです。継続の方で現在2~4口でご加入いただいている場合は同口数でご継続いただけます。2口以上の年払保険料 (1口あたり) は12,610円となります。なお、2口以上ご加入いただいている場合でも「特定感染症による葬祭費用」は1口 (300万円) が限度となります。

※2 傷害後遺障害保険金は、後遺障害の程度に応じて、傷害死亡・後遺障害保険金額の4%~100%をお支払いします。

ケガのみプランにセットできるオプション

生活あんしん特約

日常生活賠償

K

携行品

KK

傷害死亡・後遺障害

S

住宅内生活用動産

J

弁護士

BE

レジャー

L

ゴルファープラン

GA

GB

GC

ゴルファー賠償責任

プレー中等に他人に損害を与え法律上の賠償責任を負われたときに補償



ゴルファー傷害

ゴルフ場等でご自身がケガされたときに補償



ゴルフ用品補償

ゴルフ場等でゴルフ用品が盗まれたとき等に補償



ホールインワン・アルバトロス費用

ラウンド中にホールインワンまたはアルバトロスを達成されたときに補償



皆さまのニーズに合わせてケガのみ、疾病のみで加入することも可能です。

疾病のみプラン

(注) 京王スタンダードプランとの重複加入はできません。

DS3

DS5

● 保険金額

(加入限度口数：1口)

補償項目	DS3	DS5
疾病入院 (日額)	3,000円	5,000円
疾病手術	入院中の手術：疾病入院保険金日額の20倍 入院中以外の手術：疾病入院保険金日額の5倍	
疾病放射線治療	1回の放射線治療について、疾病入院保険金日額の10倍	
疾病通院 (日額) ※1	1,500円	2,500円
疾病入院時一時金	5万円	10万円
先進医療・拡大治験・患者申出療養費用※2	2,000万円	2,000万円

※1 退院後通院を補償します。

※2 病気だけではなく、ケガによる先進医療、拡大治験および患者申出療養も補償します。

● 年払保険料 (年令別)

年令	DS3	DS5	年令	DS3	DS5	年令	DS3	DS5
生後15日~4才	6,700円	11,240円	30~34才	7,820円	13,090円	60~64才	26,280円	44,680円
5~9才	5,340円	8,850円	35~39才	8,160円	13,660円	65~69才	39,850円	67,940円
10~14才	3,230円	5,120円	40~44才	8,270円	13,830円	70~74才	58,060円	98,930円
15~19才	3,210円	5,030円	45~49才	10,160円	17,060円	75~79才	90,020円	152,680円
20~24才	4,490円	7,280円	50~54才	13,350円	22,500円	80~84才	134,540円	227,310円
25~29才	6,190円	10,220円	55~59才	18,220円	30,850円	85~89才	147,260円	247,990円

(注) 年令は2024年1月25日時点の満年令となります。

疾病のみプランにセットできるオプション

医療あんしん特約

がん診断

GN

三大疾病

3D

抗がん剤

KG

女性上乘せ

JS

介護補償コース

本人介護

H1

親介護

P1

● 保険金額と年払保険料

(加入限度口数：1口)

セット名	保険金額						年払保険料	
	ゴルファー賠償責任	傷害死亡・後遺障害※	傷害入院 (日額)	傷害通院 (日額)	傷害手術	ゴルフ用品 ホールインワン・アルパトロス費用		
GA	1億円	300万円	6,000円	4,000円	入院中の手術： 傷害入院保険金日額の10倍	15万円	25万円	4,740円
GB	1億円	500万円	7,000円	5,000円		入院中以外の手術： 傷害入院保険金日額の5倍	30万円	35万円
GC	1億円	550万円	7,500円	5,500円			40万円	60万円

※ 傷害後遺障害保険金は、後遺障害の程度に応じて、傷害死亡・後遺障害保険金額の4%~100%をお支払いします。

京王スタンダードプラン

えらべるオプション

ケガのみプラン

疾病のみプラン

ゴルファープラン

その他団体扱い制度

家族・夫婦補償プラン

京王グループ団体保険 ご加入のプランの内容(保険金額と年払保険料) <団体総合生活補償保険(MS&AD型)>

家族補償プラン

補償項目		SF	AF	BF	CF	DF	EF	FF	
保険金額	傷害死亡・後遺障害(本人)	500万円	100万円	250万円	350万円	500万円	750万円	1,000万円	
	傷害死亡・後遺障害(配偶者・親族)					250万円	250万円	250万円	
	傷害入院(日額)(本人)	3,750円	3,750円	3,750円	3,750円	7,500円	11,250円	15,000円	
	傷害入院(日額)(配偶者・親族)					3,750円	3,750円	3,750円	
	傷害手術	入院中の手術:傷害入院保険金日額の10倍		入院中以外の手術:傷害入院保険金日額の5倍					
	傷害通院(日額)(本人)	2,500円	2,500円	2,500円	2,500円	5,000円	7,500円	10,000円	
	傷害通院(日額)(配偶者・親族)					2,500円	2,500円	2,500円	
	特定感染症危険補償	特定感染症による後遺障害保険金、入院保険金および通院保険金もお支払いします。							
	特定感染症による葬祭費用	300万円							
	天災危険補償	天災危険(地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波)によるケガの場合も補償されます。							
	熱中症危険補償	熱中症(日射または熱射による身体障害)についても傷害後遺障害保険金、傷害入院保険金、傷害手術保険金および傷害通院保険金をお支払いします。							
	携行品	-	30万円		※1 携行品損害保険金の損害の額は1個、1組または1対のものについて10万円が限度となります。ただし通貨または乗車券等もしくは小切手については1回の事故につき5万円が限度となります。 ※2 保険金のお支払額は、保険期間を通じ、携行品損害保険金額が限度となります。				
	住宅内生活用動産	-	50万円		※1 損害の額は、貴金属、宝玉、宝石、書画、骨董、彫刻物等については、1個、1組または1対については30万円が限度となります。ただし、通貨または乗車券等もしくは小切手については1回の事故につき5万円が限度となります。 ※2 損害保険金のお支払額は、保険期間を通じ、住宅内生活用動産保険金額が限度となります。 ※3 被保険者本人の住宅内にある本人または生計を共にする親族が所有する生活用動産が対象です。				
	日常生活賠償	1億円	-				1億円		
受託物賠償	10万円	-				10万円			
救援者費用等	400万円	-				400万円			
キャンセル費用	10万円	-				10万円			
年払保険料	65,390円	60,160円	69,780円	74,130円	84,310円	98,850円	113,380円		

※家族・夫婦補償プランで被保険者(補償の対象者)本人(*)となれる方の範囲は、京王電鉄株式会社とそのグループ各社をご退職された方およびその配偶者、子ども、両親、兄弟姉妹となります。

(*)加入申込票の被保険者ご本人欄に記載の方をいいます。

本プランは2023年9月25日に廃止された旧団体保険制度くらしの安心保険MUSTⅢでファミリープラン、カップルプランに加入されていたお客様専用の補償プランとなっております。

自動継続となりますので、ご加入のプランをご確認ください。

なお、本プランへのプラン変更や新規での加入はできませんのでご注意ください。

夫婦補償プラン

補償項目	SC	AC	BC	CC	DC	EC	FC
傷害死亡・後遺障害(本人)	500万円	100万円	250万円	350万円	500万円	750万円	1,000万円
傷害死亡・後遺障害(配偶者)					250万円	250万円	250万円
傷害死亡・後遺障害(本人・配偶者・親族)	10万円(注1)(注2)						
傷害入院(日額)(本人)	3,750円	3,750円	3,750円	3,750円	7,500円	11,250円	15,000円
傷害入院(日額)(配偶者)					3,750円	3,750円	3,750円
傷害手術	入院中の手術：傷害入院保険金日額の10倍 入院中以外の手術：傷害入院保険金日額の5倍						
傷害通院(日額)(本人)	2,500円	2,500円	2,500円	2,500円	5,000円	7,500円	10,000円
傷害通院(日額)(配偶者)					2,500円	2,500円	2,500円
特定感染症危険補償(注1)	特定感染症による後遺障害保険金、入院保険金および通院保険金もお支払いします。						
特定感染症による葬祭費用(注1)	300万円						
天災危険補償(注1)	天災危険(地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波)によるケガの場合も補償されます。						
熱中症危険補償(注1)	熱中症(日射または熱射による身体障害)についても傷害後遺障害保険金、傷害入院保険金、傷害手術保険金および傷害通院保険金をお支払いします。						
携行品(本人・配偶者・親族)	-	30万円(注2)	 ※1 携行品損害保険金の損害の額は1個、1組または1対のものについて10万円が限度となります。ただし通貨または乗車券等もしくは小切手については1回の事故につき5万円が限度となります。 ※2 保険金のお支払額は、保険期間を通じ、携行品損害保険金額が限度となります。				
住宅内生活用動産	-	50万円	 ※1 損害の額は、貴金属、宝玉、宝石、書画、骨董、彫刻物等については、1個、1組または1対については30万円が限度となります。ただし、通貨または乗車券等もしくは小切手については1回の事故につき5万円が限度となります。 ※2 損害保険金のお支払額は、保険期間を通じ、住宅内生活用動産保険金額が限度となります。 ※3 被保険者本人の住宅内にある本人または生計を共にする親族が所有する生活用動産が対象です。				
日常生活賠償	1億円	-	1億円				
受託物賠償	10万円	-	10万円				
救援者費用等	400万円	-	400万円				
キャンセル費用	10万円	-	10万円				
年払保険料	35,610円	38,380円	44,180円	46,490円	58,710円	73,250円	87,780円

(注1) 傷害死亡・後遺障害(本人・配偶者・親族)には、特定感染症危険「後遺障害保険金、入院保険金および通院保険金」補償特約、特定感染症危険「葬祭費用保険金」補償特約、天災危険補償特約および熱中症危険補償特約はセットされません。

(注2) 「傷害死亡・後遺障害(本人・配偶者・親族)」および「携行品(本人・配偶者・親族)」については「家族型への変更に関する特約」がセットされておりますので、本人・配偶者以外に親族(同居の親族および別居の未婚の子)も補償の対象となります。詳細は重要事項のご説明P23をご参照ください。

Q&A

みなサポートについて

Q1 みなサポートってなに？

A1 「みなサポート」とは、京王グループの団体保険で団体総合生活補償保険などを1つにまとめた保険総合カタログの総称です。

Q2 団体保険ってなに？

A2 団体保険とは、企業を保険契約者、その団体に属する過去に京王グループの従業員としてお勤めの方などを被保険者とする保険です。京王グループ団体保険では、京王電鉄株式会社が保険契約者、過去に京王グループの従業員としてお勤めの方などが被保険者となります。こちらのパンフレットに記載の京王スタンダードプランなどが団体保険に該当します。
また、団体保険は京王グループのスケールメリットによりお手頃な保険料で提供されているため、京王グループの充実した福利厚生制度の一環でもあります。

Q3 どうして、おすすめなの？

A3 次の理由からおすすめです！
○京王グループのスケールメリットにより団体割引が適用されています。
○会社の制度なので、手続きが簡単です。

Q4 年末調整の対象なの？

A4 疾病補償等は年末調整の対象です。
*傷害補償は対象外です。

Q5 いつでも加入できますか？

A5 はい、できます。途中で加入される場合は毎月25日～補償開始で引き受けております。
例) 3月15日に加入依頼⇒3月25日補償開始
3月26日に加入依頼⇒4月25日補償開始

Q6 家族・親族は加入できますか？

A6 次に該当する方が加入できます。
京王グループをご退職された方の
1、配偶者 2、お子さま 3、ご両親 4、ご兄弟姉妹等です。詳細は重要事項のご説明P18をご参照ください。

Q7 生命保険に加入しているから、傷害保険(ケガの補償)は必要ないですか？

A7 いいえ、必要です。生命保険は、亡くなった時や重度後遺障害になったときなどに保険金が支払われます。傷害保険(ケガの補償)は、ケガの入院・手術・通院などに対して保険金が支払われます。日常生活での発生頻度が高いリスクに備える保険です！

京王スタンダードプランについて

Q1 スタンダードプランってなに？

A1 ケガ、病気による入院・通院をカバーできる安心のプランです。

Q2 お得なの？

A2 京王グループのスケールメリットにより団体割引20%適用しています。

Q3 骨折してギブスをしています。通院はあまりしていないけど大丈夫？

A3 骨折部位や固定具によっては装着期間も通院とみなします。
詳細は重要事項のご説明P2傷害通院保険金の保険金をお支払いする場合をご参照ください。

Q4 病気での通院も対象なの？

A4 疾病入院保険金をお支払いする疾病入院が終了し、退院した後、その治療のため通院された場合は対象です。

Q5 「先進医療・拡大治験・患者申出療養」って何？

A5 「先進医療」とは厚生労働大臣が定める高度な医療技術を用いた治療で健康保険の対象になっていないものです。
「拡大治験」とは命に関わる重い病気の患者に、国内ではまだ承認されていない薬を人道的に治験できるようにした制度です。
「患者申出療養」とは患者からの申出をもとに審査を行い、より身近な医療機関で未承認薬等の先進的な医療を受診できるようにする制度です。
いずれも詳細は厚生労働省のホームページ (<https://www.mhlw.go.jp/index.html>) でご確認ください。

生活あんしん特約について

Q1 弁護士費用はどのような時に使えるの？

A1 日常での被害事故の際に弁護士に依頼したときなどを補償します。例えば、他人の飼い犬に噛まれてしまい弁護士に賠償請求を委任した、などです。

Q2 日常生活賠償はいつでも補償されるの？

A2 業務に直接起因する賠償事故などは対象外です。詳細は重要事項のご説明P8日常生活賠償保険金の保険金をお支払いしない主な場合をご参照ください。

Q3 日常生活賠償は家族全員加入しないとダメ？

A3 1人加入すれば、配偶者、同居のご家族、別居の未婚の子も補償されます。詳細は重要事項のご説明P23をご参照ください。

Q4 自宅内でスマホを落としたが携行品損害の対象となりますか？

A4 携行品損害は自宅外が対象です。

Q5 レジャー特約はどういった補償？

A5 例えば友人から借りたゴルフクラブを破損してしまったときや、海や山で遭難し救助に費用がかかったときなどの補償です。

医療あんしん特約について

Q1 医療保険に入っているからがんの補償は十分でしょ？

A1 がん治療は高額になる恐れがあり、通院や抗がん剤治療、診断一時金の備えをお勧めします。医療保険の備えが充分かどうかご確認ください。

Q2 女性上乗せ特約の対象疾病は何があるの？

A2 子宮筋腫や卵巣がん、子宮内膜症など他にも多くを対象としています。詳細は重要事項のご説明P13「女性特定疾病」をご参照ください。

Q3 三大疾病って何？

A3 がん（悪性新生物）、脳卒中、急性心筋梗塞をいいます。

京王グループ団体保険 引受ガイドライン

京王グループの団体保険はグループ社員の皆様の相互扶助の制度であり、安定的な運営を目指しております。また、団体割引率は、被保険者数と損害率（支払保険金÷保険料）で決定され、保険金お支払額が増加した場合、損害率が悪化し、割引率が低くなってしまいます。そこで、京王グループの団体保険をより魅力ある「福利厚生制度」として永続的に維持・発展させていくために、引受ガイドラインを下記の通り設けております。著しく保険金請求の頻度が高いなど、ご加入者間の公平性を逸脱する極端な保険金支払いまたはその請求があった場合には、保険期間終了後、ご継続加入をお断りする場合や補償内容を変更させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

*引受保険会社は次年度の本保険引受の審査のため、本保険契約における保険金請求情報を、京王電鉄株式会社および京王グループ各社に提供することがあります。

区分	内容	補足	引受ガイドライン
A	モラルリスク	・ 飲酒運転などの法令違反 ・ 事実を偽った不正な保険金請求が行われた場合 等	基本的に翌年度以降の保険契約についてはお引受けできません。
B	同一保険期間内で事故3回以上 または過去2年間で事故4回以上	・ 加入者単位 家族型であれば1家族全体で、夫婦型であれば夫婦で左記数値を合算します。	事故の発生状況や、保険金請求の内容によっては、現状の加入者数の制限などを実施する場合があります。ご加入条件についてはお客様のご希望に添えない場合がありますので、予めご了承ください。
C	過去2年間で通院保険金の支払金額が合計で「50万円」を超過した場合		
D	その他割引率維持の観点から右記事故に該当する場合	通常の傷害事故に比べて通院日数が非常に多いと判断される事故で、引受保険会社より個別に加入内容について見直すよう申し入れが行われた場合 等	

おケガの場合は、医師による診察（診療）を受けていただきますようお願いいたします。

傷害保険金は、「医師による治療が必要な場合において、病院または診療所にて医師の治療を受けたご入院・ご通院」に対してお支払いいたします。（ただし、通院していない場合でも、医師の指示によるギプスの装着については保険金を支払う場合があります。）

加入申込票 記入例

鉛筆や消せるタイプのペンはご使用できません。

お手続き方法

新たにご加入される方

手続き区分欄の「新規に加入する」に○をし、下記記入例を参照のうえ、ご記入いただき、**ご加入される申込票のみご提出ください。**

- ・京王スタンダードプラン
- ・ケガのみプラン
- ・病気のみプラン
- ・ゴルフプラン

【傷害・疾病用】京王グループ「京永会」団体保険加入申込票 兼 健康状況告知書

STEP 1 申込人情報と手続き区分についてご確認のうえご記入ください。

住所: 東京都新宿区新宿三丁目1番24号
 申込人名: 京王 太郎
 加入申込日: 令和 5年 11月 1日
 電話番号: 000-0000-0000
 生年月日: 37年 12月 27日

STEP 2 申込内容と健康状況(告知)についてご確認のうえご記入ください。

訂正方法
 訂正する場合は、二重線で消して、正しい内容をご記入のうえ、訂正署名(訂正項目付近に被保険者ご自身(15才未満の場合は親権者)が署名)でご訂正ください。

STEP 3 他保険契約等、保険金請求歴がある場合は、こちらもご確認のうえご記入ください。

850 合計保険料 (一部) 円
 XXXX 円

令和 年 月 日

- 記入した日をご記入のうえ、申込人の携帯電話番号・生年月日・性別をご記入ください。
- 住所(カカ)をご記入ください。
申込人氏名をカタカナでご記入いただき、その下に加入内容をご確認のうえ申込人がご署名ください。
- 該当の手続き区分に○をしてください。
- 補償の対象となる方(被保険者)の氏名(カタカナ)、生年月日、年令、性別をご記入ください。
年令は令和6年1月25日時点の満年令をご記入ください。
団体との関係は右記「◆団体との関係」より選んでご記入ください。また、ゴルフプランにご加入の方は住所のご記入もお願いします。
- ①基本プラン**
ご加入される基本セットに○をしてください。
・【おすすめ】京王スタンダード(ST3・ST5)
・ケガのみ(KE1・KE2)
・病気のみ(DS3・DS5)
※京王スタンダードプランは、ケガのみプランまたは病気のみプランとの重複加入はできません。
※ケガのみプランをご希望の場合は、回数もご記入ください。限度回数については、パンフレットをご覧ください。
 - ②オプション(オプションのみのご加入はできません。)**
・えらべるオプション(生活あんしん特約)
・えらべるオプション(医療あんしん特約)
※えらべるオプション(生活あんしん特約)は、京王スタンダードプランおよびケガのみプランにご加入の方のみお選びいただけます。
※えらべるオプション(医療あんしん特約)は、京王スタンダードプランおよび病気のみプランにご加入の方のみお選びいただけます。
※Sセット、H1セットをご希望の場合は、回数もご記入ください。限度回数については、パンフレットをご覧ください。
 - ゴルフプラン**
ゴルフをする方にオススメのゴルフプランも3つご用意しています。ゴルフプランのみでもご加入いただけます。
- 被保険者本人が回答内容をご確認のうえ、ご署名いただき、告知日をご記入ください。告知時における被保険者の年令が満15才未満の場合には、親権者が確認・ご署名ください。新たにご加入される方、または継続時に保険金額の増額をされる方のみ、被保険者本人がご記入ください。裏面をご覧ください。質問1~3(質問3は「本人介護補償」にご加入の方のみ)のそれぞれに必ず「はい」「いいえ」どちらかに○印をつけてください。「はい」に該当する場合は、該当補償についてお引受ができません。訂正される場合は被保険者本人が訂正箇所を二重線で消して、正しい内容をご記入のうえ、訂正署名(⇒訂正項目付近に被保険者ご自身(15才未満の場合は親権者)が署名)してください。
- 他の保険契約・保険金請求歴について全被保険者分をご確認いただき、回答が「あり」の場合、裏面に被保険者ごとに回答の内容をご記入ください。
- 加入内容をご確認のうえ、全被保険者数分のご加入セットを合計して1回分の保険料をご記入ください。
- こちらのご記入は不要です。

その他団体扱制度

自動車保険

15%割引

他社でご契約の方はぜひお見積もりを!

特長

現在の無事故割引を継承(ノンフリート等級)
(ただし、一部の共済を除きます。)
さらに団体割引**15%**適用!^(※1)



スマホで簡単
見積り依頼



グループの社員・退職者・ご家族の方限定!

ご家族のお車も

切替えても

団体大口割引

15% 適用

(※1) 京王グループの団体扱割引15%は2023年11月1日から2024年10月31日までの始期契約に適用されます。割引率は団体の損害率等によって毎年見直されます。

● 団体扱自動車保険のご契約にあたっては、必ず「パンフレット兼重要事項説明書」をよくお読みください。団体扱の対象となる方の範囲(契約者・記名被保険者・車両所有者)や団体扱特約失効時の取扱い、ご不明な点がある場合は代理店・扱者までお問い合わせください。

ご家族の方が
お持ちのおクルマも
ご利用いただけます!

※ 保険契約者は必ずご本人
さまとなります。

同居の場合



同居の
ご家族なら
みんなOK!



別居の場合

下宿生活の大学生もOK!



別居でも扶養
しているご親族
ならOKです!



扶養していない別居のご親族は×



残念ながら、
扶養していない
別居のご親族は
対象になりません。

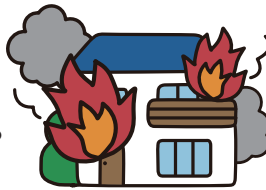
詳細は、京王観光保険事業部(表紙ご参照)までお問い合わせください。

火災保険

家財の補償も万全ですか?空巣被害にも備えましょう!

特長

分割割増なし!
年払いにすると、**5%**割引になります。



スマホで簡単
見積り依頼



詳細は、京王観光保険事業部(表紙ご参照)までお問い合わせください。

その他
生命保険にて
右記の
お取り扱いが
ございます。

終身医療保険



終身がん保険



ご契約者さま専用ページに登録するとWEBで見られるようになりました!



団体傷害保険の加入者証が
WEBでも見られて
便利に!



ご契約者さま専用ページに登録することで
加入者証がWEBでも見られるようになりました。
保険の契約内容をすぐに確認したい!
そんなときに役立ちます。

ご契約者さま専用ページとは

三井住友海上の個人のご契約者さま向けインターネットサービスです。

24時間ご利用いただけるサービス

- 「ご契約内容の確認」
- 「代理店の連絡先の確認」
- 「事故連絡の窓口やロードサービス(※)受付窓口へのご連絡」等
(注)ロードサービスは「ロードサービス費用特約」がセットされたご契約にご提供しています。

STEP
1

契約者専用ページへ登録!

STEP
2

京王観光へ連絡し、「お客さまコード」を入手!

STEP
3

契約追加すると、ご加入内容が見られる!

ご契約者さま専用ページに未登録の場合



QRコード※読み取り



①京王観光保険事業部に問い合わせたお客様コード1・2を確認し、コードを入力



②ご契約者様専用ページ登録のため必要事項*を入力。利用規約に同意し、入力内容を確認のうえ登録。
*メールアドレス(ユーザーID)、パスワード、加入者氏名、生年月日



登録完了

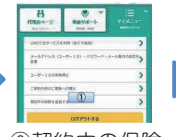
ご契約者さま専用ページに登録済の場合



QRコード※読み取り



①契約者専用ページにログインし、マイメニューのボタンをタップ



②契約中の保険を追加するをタップ



③団体損害保険専用ボタンをタップ



④京王観光に問い合わせた確認したお客さまコード1・2を入力



⑤内容を確認し追加をタップする。



契約追加完了

加入者証のご登録方法

保険金請求WEBでも請求できるようになりました!

事故連絡・保険金請求手続きが **速い! 簡単! 便利!**

ケガ・病気・携行品

スマートフォンを利用してWEBで
事故連絡と保険金請求手続きができます。

保険金請求WEBのメリット

WEBでいつでもどこでも待ち時間がなく、簡単にお手続きができます。

速い! 郵送で書類を待つことなく、WEBでペーパーレスに保険金のご請求ができます。

簡単! スマートフォンでQRコード※から簡単にお手続きをスタート、ガイドにしたがって入力できるので簡単です。

便利! 書類の提出は、スマートフォンのカメラで撮影してWEBにアップロードすることで完了します。



こちらのQRコード※からご利用いただけます。
お手続きの詳しい説明も、こちらからご覧ください。



万一の事故にあわれたときは
「保険金請求WEB」をご利用ください。

スマートフォンで簡単にアクセス!
詳しい説明もこちらから!

万一、保険金支払事由に
該当されたら

代理店・扱者または事故受付センターまで
ご連絡ください。



三井住友海上事故受付センター

0120-258-189 (無料)

事故は いち早く



事故受付サービス

24時間365日

ご不明な点は、代理店・扱者へ照会ください。

※「QRコード」は(株)デンソーウェーブの登録商標です。

A23-100982 承認年月:2023年9月

2023年度 京王グループ団体保険 みなサポート 重要事項のご説明

この重要事項のご説明には「2023年度 京王グループ団体保険 みなサポート」パンフレットが付いています。あわせてお読みください。

保険金をお支払いする場合・保険金のお支払額・保険金をお支払いしない主な場合

団体総合生活補償保険(MS&AD型)

※印を付した用語については、重要事項のご説明P13、14の「※印の用語のご説明」をご覧ください。(各欄の初出時のみ※印を付しています。)

保険金の種類	保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額	保険金をお支払いしない主な場合
傷害死亡保険金 ★傷害補償(MS&AD型)特約	保険期間中の事故によるケガ*のため、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡された場合	傷害死亡・後遺障害保険金額の全額 (注1) 傷害死亡保険金受取人(定めなかった場合は被保険者の法定相続人)にお支払いします。 (注2) 既にお支払いした傷害後遺障害保険金(特定感染症危険「後遺障害保険金、入院保険金および通院保険金」補償特約によりお支払いした特定感染症*に関する後遺障害保険金を含みます。)がある場合は、傷害死亡・後遺障害保険金額から既にお支払いした傷害後遺障害保険金の額を差し引いた額をお支払いします。	<ul style="list-style-type: none"> ● 保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき方の故意または重大な過失によるケガ* ● 闘争行為、自殺行為または犯罪行為によるケガ ● 自動車等*の無資格運転、酒気帯び運転*または麻薬等を使用しての運転中のケガ ● 脳疾患、病気*または心神喪失によるケガ ● 妊娠、出産、早産または流産によるケガ ● 引受保険会社が保険金を支払うべきケガの治療*以外の外科的手術その他の医療処置によるケガ ● 戦争、その他の変乱*、暴動によるケガ(テロ行為によるケガは、条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約により、保険金の支払対象となります。) ● 地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波によるケガ(「ST3、ST5、KE1、KE2、S、SF、AF、BF、CF、DF、EF、FFセット」および「SC、AC、BC、CC、DC、EC、FCセット」の傷害死亡・後遺障害(本人・配偶者・親族)以外)には天災危険補償特約がセットされているため、支払対象となります。) ● 核燃料物質等の放射性・爆発性等によるケガ ● 原因がいかなるときでも、頸(けい)部症候群*、腰痛その他の症状を訴えている場合に、それを裏付けるに足りる医学的他覚所見のないもの* ● 入浴中の溺水*(ただし、引受保険会社が保険金を支払うべきケガによって発生した場合には、保険金をお支払いします。) ● 原因がいかなるときでも、誤嚥(えん)*によって発生した肺炎 ● 別記の「補償対象外となる運動等」を行っている間のケガ ● 別記の「補償対象外となる職業」に従事中のケガ ● 乗用具*を用いて競技等*をしている間のケガ
傷害後遺障害保険金 ★傷害補償(MS&AD型)特約	保険期間中の事故によるケガ*のため、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に後遺障害*が発生した場合	傷害死亡・後遺障害保険金額 × 約款所定の保険金支払割合(4%~100%) (注1) 政府府災保険に準じた等級区分ごとに定められた保険金支払割合で、傷害後遺障害保険金をお支払いします。 (注2) 被保険者が事故の発生の日からその日を含めて180日を超えてなお治療*を要する状態にある場合は、引受保険会社は、事故の発生の日からその日を含めて181日目における医師*の診断に基づき後遺障害*の程度を認定して、傷害後遺障害保険金をお支払いします。 (注3) 同一の部位に後遺障害を加重された場合は、既にあった後遺障害に対する保険金支払割合を控除して、保険金をお支払いします。 (注4) 既にお支払いした傷害後遺障害保険金(特定感染症危険「後遺障害保険金、入院保険金および通院保険金」補償特約によりお支払いした特定感染症*に関する後遺障害保険金を含みます。)がある場合は、傷害死亡・後遺障害保険金額から既にお支払いした傷害後遺障害保険金の額を差し引いた額が限度となります。また、保険期間を通じてお支払いする傷害後遺障害保険金は、傷害死亡・後遺障害保険金額が限度となります。	<ul style="list-style-type: none"> ● 原因がいかなるときでも、頸(けい)部症候群*、腰痛その他の症状を訴えている場合に、それを裏付けるに足りる医学的他覚所見のないもの* ● 入浴中の溺水*(ただし、引受保険会社が保険金を支払うべきケガによって発生した場合には、保険金をお支払いします。) ● 原因がいかなるときでも、誤嚥(えん)*によって発生した肺炎 ● 別記の「補償対象外となる運動等」を行っている間のケガ ● 別記の「補償対象外となる職業」に従事中のケガ ● 乗用具*を用いて競技等*をしている間のケガ
傷害入院保険金 ★傷害補償(MS&AD型)特約	保険期間中の事故によるケガ*のため、入院*された場合(以下、この状態を「傷害入院」といいます。)	傷害入院保険金日額 × 傷害入院の日数 (注1) 傷害入院の日数には以下の日数を含みません。 ・ 事故の発生の日からその日を含めて支払対象期間*(180日)が満了した日の翌日以降の傷害入院の日数 ・ 1事故に基づく傷害入院について、傷害入院保険金を支払うべき日数の合計が支払限度日数*(180日)に到達した日の翌日以降の傷害入院の日数 (注2) 傷害入院保険金をお支払いする期間中にさらに傷害入院保険金の「保険金をお支払いする場合」に該当するケガ*を被った場合は、傷害入院保険金を重ねてはお支払いしません。	<ul style="list-style-type: none"> ● 原因がいかなるときでも、誤嚥(えん)*によって発生した肺炎 ● 別記の「補償対象外となる運動等」を行っている間のケガ ● 別記の「補償対象外となる職業」に従事中のケガ ● 乗用具*を用いて競技等*をしている間のケガ
傷害手術保険金 ★傷害補償(MS&AD型)特約	保険期間中の事故によるケガ*の治療*のため、傷害入院保険金の支払対象期間*(180日)中に手術*を受けられた場合	1回の手術*について、次の額をお支払いします。 ① 入院*中に受けた手術の場合 傷害入院保険金日額 × 10 ② ①以外の手術の場合 傷害入院保険金日額 × 5 (注) 次に該当する場合のお支払方法は下記のとおりとなります。 ① 同一の日に複数回の手術を受けた場合 傷害手術保険金の額の高いいずれか1つの手術についてのみ保険金をお支払いします。 ② 1回の手術を2日以上にわたって受けた場合 その手術の開始日についてのみ手術を受けたものとし、 ③ 医科診療報酬点数表に手術料が1日につき算定されるものとして定められている手術に該当する場合 その手術の開始日についてのみ手術を受けたものとし、 ④ 医科診療報酬点数表において、一連の治療*過程で複数回実施しても手術料が1回のみ算定されるものとして定められている区分番号に該当する手術について、被保険者が同一の区分番号に該当する手術を複数回受けた場合 その手術に対して傷害手術保険金が支払われることとなった直前の手術を受けた日からその日を含めて14日以内に受けた手術に対しては、保険金をお支払いしません。	<ul style="list-style-type: none"> ● 原因がいかなるときでも、誤嚥(えん)*によって発生した肺炎 ● 別記の「補償対象外となる運動等」を行っている間のケガ ● 別記の「補償対象外となる職業」に従事中のケガ ● 乗用具*を用いて競技等*をしている間のケガ

保険金の種類	保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額	保険金をお支払いしない主な場合
傷害通院保険金 ★傷害補償(MS&AD型)特約 傷害保険金	保険期間中の事故によるケガ*のため、通院*された場合(以下、この状態を「傷害通院」といいます。) (注)通院されない場合で、骨折、脱臼、靱(じん)帯損傷等のケガを被った所定の部位*を固定するために医師*の指示によりギプス等*を常時装着したときは、その日数について傷害通院したものとみなします。	$\text{傷害通院保険金日額} \times \text{傷害通院の日数}$ (注1)傷害通院の日数には以下の日数を含みません。 ・事故の発生日からその日を含めて支払対象期間*(180日)が満了した日の翌日以降の傷害通院の日数 ・1事故に基づく傷害通院について、傷害通院保険金を支払うべき日数の合計が支払限度日数*(90日)に到達した日の翌日以降の傷害通院の日数 (注2)傷害入院保険金をお支払いする期間中に傷害通院された場合は、傷害通院保険金をお支払いしません。 (注3)傷害通院保険金をお支払いする期間中にさらに傷害通院保険金の「保険金をお支払いする場合」に該当するケガ*を被った場合は、傷害通院保険金を重ねてはお支払いしません。	前ページの傷害保険金の「保険金をお支払いしない主な場合」と同じ。
特定感染症による後遺障害保険金 ★特定感染症危険「後遺障害保険金、入院保険金および通院保険金」補償特約	保険期間中に特定感染症*を発病*し、発病の日からその日を含めて180日以内に後遺障害*が発生した場合	$\text{傷害死亡・後遺障害保険金額} \times \text{約款所定の保険金支払割合(4\% \sim 100\%)}$ (注1)政府防災保険に準じた等級区分ごとに定められた保険金支払割合で、特定感染症*による後遺障害保険金をお支払いします。 (注2)被保険者が発病*の日からその日を含めて180日を超えてなお治療*を要する状態にある場合は、引受保険会社は、発病の日からその日を含めて181日目における医師*の診断に基づき後遺障害*の程度を認定して、特定感染症による後遺障害保険金をお支払いします。 (注3)同一の部位に後遺障害を加重された場合は、既にあった後遺障害に対する保険金支払割合を控除して、保険金をお支払いします。 (注4)既にお支払いした傷害後遺障害保険金または特定感染症による後遺障害保険金がある場合は、傷害死亡・後遺障害保険金額から既にお支払いした傷害後遺障害保険金および特定感染症による後遺障害保険金の額を差し引いた額が限度となります。また、保険期間を通じてお支払いする傷害死亡保険金、傷害後遺障害保険金および特定感染症による後遺障害保険金は、傷害死亡・後遺障害保険金額が限度となります。	<ul style="list-style-type: none"> ●保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき者の故意または重大な過失による特定感染症*の発病* ●闘争行為、自殺行為または犯罪行為による特定感染症の発病 ●戦争、その他の変乱*、暴動による特定感染症の発病(テロ行為による特定感染症の発病は、条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約により、保険金の支払対象となります。) ●地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波による特定感染症の発病 ●核燃料物質等の放射性・爆発性等による特定感染症の発病 ●傷害保険金をお支払いすべきケガ*による特定感染症 ●保険責任開始日からその日を含めて10日以内の特定感染症の発病(ただし、この保険契約が特定感染症を補償する継続契約の場合は、保険金の支払対象となります。) など
特定感染症による入院保険金 ★特定感染症危険「後遺障害保険金、入院保険金および通院保険金」補償特約	保険期間中に特定感染症*を発病*し、その直接の結果として、次のいずれかに該当した場合(以下、この状態を「感染症入院」といいます。) ①入院*した場合 ②感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号)第18条第2項の規定による就業制限が課された場合	$\text{傷害入院保険金日額} \times \text{感染症入院の日数}$ (注1)感染症入院の日数には以下の日数を含みません。 ・特定感染症*を発病*した日からその日を含めて傷害入院保険金の支払対象期間*(180日)が満了した日の翌日以降の感染症入院の日数 ・1回の特定感染症の発病に基づく感染症入院について、特定感染症による入院保険金を支払うべき日数の合計が傷害入院保険金の支払限度日数*(180日)に到達した日の翌日以降の感染症入院の日数 (注2)傷害入院保険金または特定感染症による入院保険金をお支払いする期間中にさらに特定感染症による入院保険金の「保険金をお支払いする場合」に該当する特定感染症を発病した場合は、特定感染症による入院保険金を重ねてはお支払いしません。 (注3)特定感染症による入院保険金をお支払いする期間中にさらに傷害入院保険金の「保険金をお支払いする場合」に該当するケガ*を被った場合は、傷害入院保険金を重ねてはお支払いしません。	
特定感染症による通院保険金 ★特定感染症危険「後遺障害保険金、入院保険金および通院保険金」補償特約	保険期間中に特定感染症*を発病*し、その特定感染症のため通院*された場合(以下、この状態を「感染症通院」といいます。) (注)通院されない場合で、骨折、脱臼、靱(じん)帯損傷等のケガを被った所定の部位*を固定するために医師*の指示によりギプス等*を常時装着したときは、その日数について傷害通院したものとみなします。	$\text{傷害通院保険金日額} \times \text{感染症通院の日数}$ (注1)感染症通院の日数には以下の日数を含みません。 ・特定感染症*を発病*した日からその日を含めて傷害通院保険金の支払対象期間*(180日)が満了した日の翌日以降の感染症通院の日数 ・1回の特定感染症の発病に基づく通院について、特定感染症による通院保険金を支払うべき日数の合計が傷害通院保険金の支払限度日数*(90日)に到達した日の翌日以降の感染症通院の日数 (注2)傷害入院保険金または特定感染症による入院保険金をお支払いする期間中に通院された場合は、特定感染症による通院保険金をお支払いしません。 (注3)傷害通院保険金または特定感染症による通院保険金をお支払いする期間中にさらに特定感染症による通院保険金の「保険金をお支払いする場合」に該当する特定感染症を発病した場合は、特定感染症による通院保険金を重ねてはお支払いしません。 (注4)特定感染症による通院保険金をお支払いする期間中にさらに傷害通院保険金の「保険金をお支払いする場合」に該当するケガ*を被った場合は、傷害通院保険金を重ねてはお支払いしません。	

保険金の種類	保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額	保険金をお支払いしない主な場合
特定感染症による 葬祭費用保険金 ★特定感染症危 険「葬祭費用 保険金」補償 特約	補償対象者 ^(*) が保険期間中に 特定感染症 [*] を発病 [*] し、その 特定感染症のため、特定感染 症の発病の日からその日を含 めて180日以内に死亡された 場合 (※)「補償対象者」とは、傷害 補償特約における被保険 者をいいます。	被保険者(保険契約者または補償対象者の親族 [*])が葬 祭費用を負担したことによって被った損害に対して、補 償対象者1名につき300万円を限度として、その費用 の負担者に保険金をお支払いします。 (注) 補償内容が同様の保険契約(異なる保険種類の特 約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。)が 他にある場合、補償の重複が発生することがあり ます。補償内容の差異や保険金額、加入の可否を ご確認いただいたうえでご加入ください。	<ul style="list-style-type: none"> ●保険契約者、被保険者、補償対象者または 保険金を受け取るべき方の故意または重大 な過失による特定感染症[*]の発病[*] ●闘争行為、自殺行為または犯罪行為による 特定感染症の発病 ●戦争、その他の変乱[*]、暴動による特定感 染症の発病(テロ行為による特定感染症の発 病は、条件付戦争危険等免責に関する一部 修正特約により、保険金の支払対象となり ます。) ●地震もしくは噴火またはこれらを原因とする 津波による特定感染症の発病 ●核燃料物質等の放射性・爆発性等による特 定感染症の発病 ●傷害保険金をお支払いすべきケガ[*]による 特定感染症 ●保険責任開始日からその日を含めて10日 以内の特定感染症の発病(ただし、この保険契 約が特定感染症を補償する継続契約の場 合は、保険金の支払対象となります。) など
疾病入院 保険金 ★疾病補償 特約 ☆特定精神 障害補償 特約セット 欄外(☆)参照	保険期間の開始後 ^(*) に発病 [*] した病気 [*] のため、保険期間中 に入院 [*] された場合(以下、この 状態を「疾病入院」といいます。) (※)病気を補償する加入タイ プに継続加入された場合は、継続加入してきた最 初のご契約の保険期間の 開始後とします。	$疾病入院保険金日額 \times 疾病入院の日数$ (注1) 疾病入院の日数には以下の日数を含みません。 ・ 疾病入院された日からその日を含めて支払対象 期間 [*] (1,095日)が満了した日の翌日以降の疾 病入院の日数 ・ 1回の疾病入院 [*] について、疾病入院保険金を 支払うべき日数の合計が支払限度日数 [*] (365 日)に到達した日の翌日以降の疾病入院の日数 (注2) 疾病入院保険金をお支払いする期間中にさらに 疾病入院保険金の「保険金をお支払いする場合」 に該当する病気 [*] を発病 [*] された場合は、疾病入 院保険金を重ねてはお支払いしません。	<ul style="list-style-type: none"> ●保険契約者、被保険者または保険金を受け 取るべき方の故意または重大な過失による 病気[*] ●闘争行為、自殺行為または犯罪行為による 病気 ●精神障害^(*)およびそれによる病気 ●戦争、その他の変乱[*]、暴動による病気(テロ 行為による病気は、条件付戦争危険等免責 に関する一部修正特約により、保険金の支 払対象となります。)^(*) ●核燃料物質等の放射性・爆発性等による病 気^(*) ●妊娠または出産(「療養の給付」等^(*)の対 象となるべき期間については、保険金をお 支払いします。) ●原因がいかなるときでも、頸(けい)部症候 群[*]、腰痛その他の症状を訴えている場合 に、それを裏付けるに足りる医学的他覚所 見のないもの[*] ●健康に関する告知のご回答等により補償対 象とならない病気^(*)(加入者証等に記載さ れます。) など
疾病手術 保険金 ★疾病補償 特約 ☆疾病手術 保険金等 支払倍率 変更特約 セット ☆特定精神 障害補償 特約セット 欄外(☆)参照 疾病 保険金	① 疾病入院保険金をお支払い する場合で、その病気 [*] の治 療 [*] のために疾病入院保険 金の支払対象期間 [*] (1,095 日)中に手術 [*] を受けられた とき。 ② 保険期間の開始後 ^(*) に発 病 [*] した病気の治療のため に、保険期間中に手術を受 けられた場合 (※)病気を補償する加入タイ プに継続加入された場合は、継続加入してきた最 初のご契約の保険期間の 開始後とします。	1回の手術 [*] について、次の額をお支払いします。 ① 入院 [*] 中に受けた手術の場合 $疾病入院保険金日額 \times 20$ ② ①以外の手術の場合 $疾病入院保険金日額 \times 5$ (注) 次に該当する場合のお支払方法は下記のとおりと なります。 ① 同一の日に複数回の手術を受けた場合 疾病手術保険金の額の高いいずれか1つの手術につ いてのみ保険金をお支払いします。 ② 1回の手術を2日以上にわたって受けた場合 その手術の開始日についてのみ手術を受けたものと します。 ③ 医科診療報酬点数表に手術料が1日につき算定され るものとして定められている手術に該当する場合 その手術の開始日についてのみ手術を受けたものと します。 ④ 医科診療報酬点数表において、一連の治療 [*] 過程で 複数回実施しても手術料が1回のみ算定されるもの として定められている区分番号に該当する手術につ いて、被保険者が同一の区分番号に該当する手術を複 数回受けた場合 その手術に対して疾病手術保険金が支払われること となった直前の手術を受けた日からその日を含めて 14日以内に受けた手術に対しては、保険金をお支払 しません。	<ul style="list-style-type: none"> ●健康に関する告知のご回答等により補償対 象とならない病気^(*)(加入者証等に記載さ れます。) など (注) 保険期間の開始時 ^(*) より前に発病 [*] した 病気 ^(*) については保険金をお支払いし ません。 ただし、病気を補償する加入タイプに継続 加入された場合で、病気を発病した時が、そ の病気による入院 [*] を開始された日 ^(*) から ご加入の継続する期間を遡及して1年以前 であるときは、保険金をお支払いします。 (※1) 「精神障害」とは、平成6年10月12日総 務庁告示第75号に定められた分類項目 中の分類コードF00からF09またはF20 からF99に規定されたもの以外とし、分 類項目の内容については、厚生労働省 大臣官房統計情報部編「疾病、傷害およ び死因統計分類提要 ICD-10 (2003年版)準拠」によります。(特定精 神障害補償特約(自動的にセットされま す。))のセット後の内容となります。 <支払対象外となる精神障害の例> アルコール依存、薬物依存 など (※2) これにより発生した保険金支払事由に 該当した被保険者の数の増加がこの保 険の計算の基礎に及ぼす影響が少ない と引受保険会社が認めた場合は、保険 金の全額または一部をお支払いするこ とがあります。 (※3) 公的医療保険を定める法令に規定され た「療養の給付」に要する費用ならびに 「療養費」、「家族療養費」および「保険外 併用療養費」をいいます。 (※4) その病気と医学上因果関係がある病気 [*] を含みます。 (※5) 病気を補償する加入タイプに継続加入 された場合は、継続加入してきた最初 のご契約の保険期間の開始時をいいます。 (※6) 疾病入院保険金の支払いを伴わない疾 病手術保険金または疾病放射線治療保 険金の場合は、それぞれ「手術の開始 時」、「放射線治療の開始時」に疾病入 院が開始したものとみなします。

保険金の種類	保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額	保険金をお支払いしない主な場合
疾病放射線治療保険金 ★疾病補償特約 ☆特定精神障害補償特約セット 欄外(☆)参照	①疾病入院保険金をお支払いする場合で、その病気*の治療*のために疾病入院保険金の支払対象期間*(1,095日)中に放射線治療*を受けられたとき。 ②保険期間の開始後(*)に発病*した病気の治療のために、保険期間中に放射線治療を受けられた場合 (*)病気を補償する加入タイプに継続加入された場合は、継続加入してきた最初のご契約の保険期間の開始後とします。	1回の放射線治療*について、次の額をお支払します。 $\text{疾病入院保険金日額} \times 10$ (注1) 同一の日に複数回の放射線治療を受けた場合は、いずれか1つの放射線治療についてのみ保険金をお支払します。 (注2) 疾病放射線治療保険金を支払うべき放射線治療を複数回受けた場合は、疾病放射線治療保険金が支払われることとなった直前の放射線治療を受けた日からその日を含めて60日以内に受けた放射線治療については、保険金をお支払いしません。	前ページの疾病保険金の「保険金をお支払いしない主な場合」と同じ。
疾病通院保険金 ★疾病補償特約 ☆特定精神障害補償特約セット 欄外(☆)参照	疾病入院保険金をお支払いする疾病入院が終了し、退院した後、その疾病入院の原因となった病気*の治療*のため、通院*された場合(以下、この状態を「疾病通院」といいます。) (注1) 疾病入院の終了した日の翌日から起算して疾病通院保険金の支払対象期間*(180日)が満了した日の翌日以降の疾病通院の日数。なお、疾病入院保険金の支払対象期間(1,095日)内に疾病入院が終了していない場合には、疾病入院の終了した日または疾病入院保険金の支払対象期間が満了した日の翌日から起算して180日を経過した日のいずれか早い日が疾病入院の終了した日となります。 (注2) 1回の疾病入院*について疾病通院保険金を支払うべき日数の合計が疾病通院保険金の支払限度日数*(90日)に到達した日の翌日以降の疾病通院の日数 (注3) 疾病入院保険金をお支払いする期間中に疾病通院された場合は、疾病通院保険金をお支払いしません。 (注4) 疾病入院の退院日の翌日からその日を含めて180日を経過する日までに、その疾病入院の原因となった病気(これと医学上因果関係がある病気*を含みます。)によって再度疾病入院に該当した場合で、前の疾病入院の終了後、後の疾病入院が開始するまでの期間中に疾病通院されたときは、その日数を疾病通院の日数に含めて疾病通院保険金をお支払します。	$\text{疾病通院保険金日額} \times \text{疾病通院の日数}$ (注1) 疾病通院の日数には以下の日数を含みません。 ・ 疾病入院の終了した日の翌日から起算して疾病通院保険金の支払対象期間*(180日)が満了した日の翌日以降の疾病通院の日数。なお、疾病入院保険金の支払対象期間(1,095日)内に疾病入院が終了していない場合には、疾病入院の終了した日または疾病入院保険金の支払対象期間が満了した日の翌日から起算して180日を経過した日のいずれか早い日が疾病入院の終了した日となります。 ・ 1回の疾病入院*について疾病通院保険金を支払うべき日数の合計が疾病通院保険金の支払限度日数*(90日)に到達した日の翌日以降の疾病通院の日数 (注2) 疾病入院保険金をお支払いする期間中に疾病通院された場合は、疾病通院保険金をお支払いしません。 (注3) 疾病入院保険金をお支払いする期間中にさらに疾病通院保険金の「保険金をお支払いする場合」に該当する病気*を発病*した場合は、疾病通院保険金を重ねてはお支払いしません。 (注4) 疾病入院の退院日の翌日からその日を含めて180日を経過する日までに、その疾病入院の原因となった病気(これと医学上因果関係がある病気*を含みます。)によって再度疾病入院に該当した場合で、前の疾病入院の終了後、後の疾病入院が開始するまでの期間中に疾病通院されたときは、その日数を疾病通院の日数に含めて疾病通院保険金をお支払します。	
疾病入院時一時金 ★疾病入院時一時金補償特約 ☆特定精神障害補償特約セット 欄外(☆)参照	「疾病入院」の状態が、免責期間*(0日)を超えて継続した場合	疾病入院時一時金額の全額 (注1) 1回の疾病入院*につき1回を限度にお支払いします。 (注2) 疾病入院時一時金をお支払いする期間中にさらに疾病入院時一時金の「保険金をお支払いする場合」に該当する病気*を発病*した場合は、疾病入院時一時金を重ねてはお支払いしません。	前ページの疾病保険金の「保険金をお支払いしない主な場合」と同じ。ただし、(注)および(*5)の「病気を補償する加入タイプ」を「この特約をセットしたご契約」と読み替えます。
がん診断保険金 ★がん診断保険金補償(待機期間不設定型)特約	医師*によって、病理組織学的所見(生検)により特約記載のがん(悪性新生物)*に罹患したことが診断され、治療*を開始された場合(保険期間中にがんと診断された場合に限り、) (注1) 病理組織学的所見(生検)が得られない場合、他の所見による診断も認めることがあります。 (注2) 【継続加入において、継続前後でご契約のお支払条件が異なる場合のご注意】 がん診断保険金を補償する加入タイプに継続加入の場合で、被保険者ががん(悪性新生物)*を発病*した時がこの保険契約の保険期間の開始日より前であるときは、保険金のお支払額は次の①または②の金額のうち、いずれか低い額となります。 ①がん(悪性新生物)*を発病した時の保険契約のお支払条件で算出した金額 ②この保険契約のお支払条件で算出した金額 ただし、がん(悪性新生物)*を発病した時が、がん診断時の属する日からご加入の継続する期間を遡及して1年以前であるときは、②により算出した額をお支払いします。 (*)がん(悪性新生物)と医学上因果関係がある病気*を含みます。	がん診断保険金額の全額 (注1) 保険期間中1回に限り、 (注2) 被保険者が医師*から傷病名の告知を受けていないことにより保険金を請求できない場合は、法律上の配偶者が被保険者に代わって保険金を請求することができます。なお、被保険者に法律上の配偶者がいない場合には、被保険者と生計を共にする配偶者以外の親族(6親等内の血族および3親等内の姻族をいいます。)が被保険者に代わって保険金を請求することができます。	前ページの疾病保険金の「保険金をお支払いしない主な場合」((注)を除きます。)のほか、次の場合は保険金をお支払いしません。 ●がん診断時が、この保険契約の始期日*より前の場合 ●既に保険金をお支払いしたがんの再発・転移によるがん(既に保険金をお支払いしたがんと同じ部位に再発したがんを含みます。) など (*)この特約をセットしたご契約に継続加入された場合は、継続加入してきた最初のご契約の始期日をいいます。

保険金の種類	保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額	保険金をお支払いしない主な場合																																
抗がん剤治療保険金 ★抗がん剤治療特約 ☆保険金の請求に関する特約セツト	<p>保険期間の開始後^(※1)に発病[※]したがん(悪性新生物)[※]の治療[※]のため、保険期間中に抗がん剤^(※2)治療を開始した場合</p> <p>(注1)同一の月に複数回の抗がん剤治療を受けた場合は、1つの抗がん剤治療についてのみ保険金をお支払いします。</p> <p>(注2)先進医療に該当するもの、治験薬剤による治療は補償の対象になりません。</p> <p>(注3)【継続加入において、継続前後でご契約のお支払条件が異なる場合のご注意】この特約をセツトした加入タイプに継続加入の場合で、被保険者が抗がん剤治療の原因となったがん(悪性新生物)を発病した時がこの保険契約の保険期間の開始時より前であるときは、保険金のお支払額は次の①または②の金額のうち、いずれか低い額となります。</p> <p>①がん(悪性新生物)を発病した時の保険契約のお支払条件で算出した金額</p> <p>②この保険契約のお支払条件で算出した金額</p> <p>ただし、がん(悪性新生物)を発病した時が、そのがんによる抗がん剤治療を開始した日からご加入の継続する期間を遡及して1年以前である場合は、②により算出した額をお支払いします。</p> <p>(※1)抗がん剤治療を補償する加入タイプに継続加入される場合は、継続加入してきた最初のご契約の保険期間の開始後とします。</p> <p>(※2)投薬または処方された時点で、がんを適応症として厚生労働大臣により承認されている次の①および②のいずれにも該当する薬剤をいいます。</p> <p>①厚生労働大臣による製造販売の承認時に、被保険者の罹患したがんの治療に対する効能または効果が認められた薬剤</p> <p>②世界保健機関の解剖治療化学分類法による医薬品分類のうち、次に分類される薬剤</p> <table border="1" data-bbox="336 904 767 1111"> <tr> <th colspan="2">世界保健機関の解剖治療化学分類法による医薬品分類</th> </tr> <tr> <td>LO1. 抗悪性腫瘍薬</td> <td></td> </tr> <tr> <td>LO2. 内分泌療法(ホルモン療法)^(※3)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>LO3. 免疫賦活薬</td> <td></td> </tr> <tr> <td>LO4. 免疫抑制剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>V10. 治療用放射性医薬品</td> <td></td> </tr> </table> <p>(※3)内分泌療法(ホルモン療法)とは、がん細胞の発育・増殖を阻止するために、がん細胞の発育・増殖を促進するホルモンと拮抗する他のホルモンを投与したり、ホルモンの生成や作用を減弱させる薬剤を投与したりする療法をいいます。</p>	世界保健機関の解剖治療化学分類法による医薬品分類		LO1. 抗悪性腫瘍薬		LO2. 内分泌療法(ホルモン療法) ^(※3)		LO3. 免疫賦活薬		LO4. 免疫抑制剤		V10. 治療用放射性医薬品		<p>抗がん剤治療を受けた月ごとに次の額をお支払します。</p> <p>抗がん剤治療保険金額 × 下表の倍率</p> <table border="1" data-bbox="788 210 1157 517"> <tr> <th colspan="2">世界保健機関の解剖治療化学分類法による医薬品分類・がんの種類</th> <th>倍率</th> </tr> <tr> <td>LO1. 抗悪性腫瘍薬</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">LO2. 内分泌療法(ホルモン療法)^(※)</td> <td>乳がん、前立腺がん</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>上記以外のがん</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>LO3. 免疫賦活薬</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>LO4. 免疫抑制剤</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>V10. 治療用放射性医薬品</td> <td></td> <td>2</td> </tr> </table> <p>(注) 保険期間を通じて抗がん剤治療保険金額の120倍が限度となります。</p> <p>(※) 内分泌療法(ホルモン療法)とは、がん細胞の発育・増殖を阻止するために、がん細胞の発育・増殖を促進するホルモンと拮抗する他のホルモンを投与したり、ホルモンの生成や作用を減弱させる薬剤を投与したりする療法をいいます。</p>	世界保健機関の解剖治療化学分類法による医薬品分類・がんの種類		倍率	LO1. 抗悪性腫瘍薬		2	LO2. 内分泌療法(ホルモン療法) ^(※)	乳がん、前立腺がん	1	上記以外のがん	2	LO3. 免疫賦活薬		2	LO4. 免疫抑制剤		2	V10. 治療用放射性医薬品		2	<p>●保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき方の故意または重大な過失によるがん(悪性新生物)[※]</p> <p>●闘争行為、自殺行為または犯罪行為によるがん(悪性新生物)</p> <p>●戦争、その他の変乱[※]、暴動によるがん(悪性新生物)(テロ行為によるがん(悪性新生物)は、条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約により、保険金の支払対象となります。)^(※1)</p> <p>●核燃料物質等の放射性・爆発性等によるがん(悪性新生物)^(※1) など</p> <p>(注) 保険期間の開始時^(※2)より前に発病[※]したがん(悪性新生物)(転移したがん^(※3)を含みます)については保険金をお支払いしません。ただし、この特約をセツトしたご契約に継続加入された場合で、がんを発病した時が、そのがんによる抗がん剤治療を開始された日からご加入の継続する期間を遡及して1年以前であるときは、保険金をお支払いします。</p> <p>(※1)これにより発生した保険金支払事由に該当した被保険者の数の増加がこの保険の計算の基礎に及ぼす影響が少ないと引受保険会社が認めた場合は、保険金の全額または一部をお支払いすることがあります。</p> <p>(※2)この特約をセツトしたご契約に継続加入された場合は、継続加入してきた最初のご契約のご加入時をいいます。</p> <p>(※3)転移したがんとは、原発巣(最初にがんが発生した場所をいいます。)が同じであると診断されたがんをいい、そのがんと同じ部位に再発したがんを含みます。</p>
世界保健機関の解剖治療化学分類法による医薬品分類																																			
LO1. 抗悪性腫瘍薬																																			
LO2. 内分泌療法(ホルモン療法) ^(※3)																																			
LO3. 免疫賦活薬																																			
LO4. 免疫抑制剤																																			
V10. 治療用放射性医薬品																																			
世界保健機関の解剖治療化学分類法による医薬品分類・がんの種類		倍率																																	
LO1. 抗悪性腫瘍薬		2																																	
LO2. 内分泌療法(ホルモン療法) ^(※)	乳がん、前立腺がん	1																																	
	上記以外のがん	2																																	
LO3. 免疫賦活薬		2																																	
LO4. 免疫抑制剤		2																																	
V10. 治療用放射性医薬品		2																																	
三大疾病診断保険金 ★三大疾病診断保険金補償(待機期間不設定型)特約	<p>医師[※]によって、特約記載の三大疾病(がん(悪性新生物)[※]、急性心筋梗塞、脳卒中)をいいます。)に罹患、発病[※]したことが診断され、治療[※]を開始し、下表の支払要件を充足した場合(保険期間中にがんと診断された場合、または急性心筋梗塞もしくは脳卒中により入院[※]された場合に限ります。)</p> <table border="1" data-bbox="256 1379 767 1682"> <thead> <tr> <th>支払事由</th> <th>支払要件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん(悪性新生物)に罹患したこと。ただし、病理組織学的所見(生検)^(※1)により診断された場合に限ります。</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>急性心筋梗塞を発病したこと。</td> <td>その急性心筋梗塞の治療を直接の目的として入院を開始したこと。</td> </tr> <tr> <td>脳卒中を発病したこと。</td> <td>その脳卒中の治療を直接の目的として入院を開始したこと。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※1)病理組織学的所見(生検)が得られない場合、他の所見による診断も認めることがあります。</p> <p>(注)【継続加入において、継続前後でご契約のお支払条件が異なる場合のご注意】三大疾病診断保険金を補償する加入タイプに継続加入の場合で、被保険者ががん(悪性新生物)、急性心筋梗塞または脳卒中^(※2)を発病した時がこの保険契約の保険期間の開始時より前であるときは、保険金のお支払額は次の①または②の金額のうち、いずれか低い額となります。</p> <p>①がん(悪性新生物)、急性心筋梗塞または脳卒中を発病した時の保険契約のお支払条件で算出した金額</p> <p>②この保険契約のお支払条件で算出した金額</p> <p>ただし、がん(悪性新生物)、急性心筋梗塞または脳卒中を発病した時が、がん診断時または急性心筋梗塞もしくは脳卒中による入院の開始時からご加入の継続する期間を遡及して1年以前であるときは、②により算出した額をお支払いします。</p> <p>(※2)がん(悪性新生物)、急性心筋梗塞または脳卒中と医学上因果関係がある病気[※]を含みます。</p>	支払事由	支払要件	がん(悪性新生物)に罹患したこと。ただし、病理組織学的所見(生検) ^(※1) により診断された場合に限ります。	—	急性心筋梗塞を発病したこと。	その急性心筋梗塞の治療を直接の目的として入院を開始したこと。	脳卒中を発病したこと。	その脳卒中の治療を直接の目的として入院を開始したこと。	<p>三大疾病診断保険金額の全額</p> <p>(注1) 保険期間中1回に限ります。</p> <p>(注2) 被保険者が医師[※]から傷病名の告知を受けていないことにより保険金を請求できない場合は、法律上の配偶者が被保険者に代わって保険金を請求することができます。なお、被保険者に法律上の配偶者がいない場合には、被保険者と生計を共にする配偶者以外の親族(6親等内の血族および3親等内の姻族をいいます。)が被保険者に代わって保険金を請求することができます。</p>	<p>重要事項のご説明P3の疾病保険金の「保険金をお支払いしない主な場合」((注)を除きます。)のほか、次の場合は保険金をお支払いしません。</p> <p>●がん(悪性新生物)[※]、急性心筋梗塞または脳卒中を発病[※]した時が、この保険契約の始期日^(※)より前の場合</p> <p>●既に保険金をお支払いしたがんの再発・転移によるがん(既に保険金をお支払いしたがんと同じ部位に再発したがんを含みます。)</p> <p>●既に保険金をお支払いした急性心筋梗塞または脳卒中(これと医学上因果関係がある急性心筋梗塞または脳卒中を含みます。)</p> <p>など</p> <p>(※)この特約をセツトしたご契約に継続加入された場合は、継続加入してきた最初のご契約の始期日をいいます。</p>																								
支払事由	支払要件																																		
がん(悪性新生物)に罹患したこと。ただし、病理組織学的所見(生検) ^(※1) により診断された場合に限ります。	—																																		
急性心筋梗塞を発病したこと。	その急性心筋梗塞の治療を直接の目的として入院を開始したこと。																																		
脳卒中を発病したこと。	その脳卒中の治療を直接の目的として入院を開始したこと。																																		

保険金の種類	保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額	保険金をお支払いしない主な場合
<p>介護一時金</p> <p>本人介護</p> <p>★介護一時金支払特約</p>	<p>保険期間中に、被保険者(*)が要介護状態(要介護3以上の状態)*となり、30日を超えて継続した場合</p> <p>(*)この特約の被保険者として加入者証等に記載された方をいいます。</p> <p>(注)【継続加入において、継続前後でご契約のお支払条件が異なる場合のご注意】被保険者が要介護状態となった場合に補償する加入タイプに継続加入の場合で、要介護状態の原因となった事由が発生した時がこの保険契約の保険期間の開始日より前であるときは、保険金のお支払額は次の①または②の金額のうち、いずれか低い金額となります。</p> <p>①要介護状態の原因となった事由が発生した時の保険契約のお支払条件で算出した金額</p> <p>②この保険契約のお支払条件で算出した金額</p> <p>ただし、要介護状態の原因となった事由が発生した時が、その要介護状態の要介護状態開始日からご加入の継続する期間を遡及して1年以前であるときは、②により算出した金額をお支払いします。</p>	<p>介護一時金額の全額</p> <p>(注)介護一時金をお支払いした場合、この特約は失効します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき方の故意または重大な過失による要介護状態 ●闘争行為、自殺行為または犯罪行為による要介護状態 ●自動車等*の無資格運転、酒気帯び運転*中の事故による要介護状態 ●麻薬、あへん、大麻または覚せい剤等の使用による要介護状態(ただし、治療*を目的として医師*がこれらのものをういた場合は、保険金をお支払いします。) ●アルコール依存、薬物依存または薬物乱用による要介護状態(ただし、治療を目的として医師が薬物を用いた場合は、保険金をお支払いします。) ●戦争、その他の変乱*、暴動による要介護状態(テロ行為による要介護状態は、条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約により、保険金の支払対象となります。) ●地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波による要介護状態 ●核燃料物質等の放射性・爆発性等による要介護状態 ●原因がいかなるときでも、頸(けい)部症候群*、腰痛その他の症状を訴えている場合に、それを裏付けるに足りる医学的他覚所見のないもの* ●健康に関する告知のご回答等により補償対象とならない病気(加入者証等に記載されます。その病気と医学上因果関係がある病気*を含みます。) <p style="text-align: right;">など</p> <p>(注)保険期間の開始時(*1)より前に要介護状態の原因となった事由(*2)が発生した場合は、保険金をお支払いしません。</p> <p>ただし、この特約をセットしたご契約に継続加入された場合で、要介護状態の原因となった事由(*2)が発生した時が、その事由による要介護状態が開始した日からご加入の継続する期間を遡及して1年以前であるときは、介護一時金をお支払いします。</p> <p>(*1)この特約をセットしたご契約に継続加入された場合は、継続加入してきた最初のご契約の保険期間の開始時をいいます。</p> <p>(*2)公的介護保険制度*を定める法令の規定による要介護認定または要支援認定の効力が発生した場合を含みます。</p>
<p>親介護一時金</p> <p>親介護</p> <p>★親介護一時金支払特約</p>	<p>保険期間中に、特約被保険者(*)が要介護状態(要介護3以上の状態)*となり、30日を超えて継続した場合</p> <p>(*)普通保険約款の被保険者の親(姻族を含みます。)のうち、この特約の被保険者として加入者証等に記載された方をいいます。</p> <p>(注1)【継続加入において、継続前後でご契約のお支払条件が異なる場合のご注意】親が要介護状態となった場合に補償する加入タイプに継続加入の場合で、要介護状態の原因となった事由が発生した時がこの保険契約の保険期間の開始日より前であるときは、保険金のお支払額は次の①または②の金額のうち、いずれか低い金額となります。</p> <p>①要介護状態の原因となった事由が発生した時の保険契約のお支払条件で算出した金額</p> <p>②この保険契約のお支払条件で算出した金額</p> <p>ただし、要介護状態の原因となった事由が発生した時が、その要介護状態の要介護状態開始日からご加入の継続する期間を遡及して1年以前であるときは、②により算出した金額をお支払いします。</p> <p>(注2)特約被保険者が保険金請求者となります。なお、特約被保険者に保険金を請求できない事情がある場合は、同居または生計を共にする配偶者等が保険金を請求できることがあります。詳細は重要事項のご説明P19の<代理請求人について>をご覧ください。</p>	<p>親介護一時金額の全額</p> <p>(注)親介護一時金をお支払いした場合、この特約は失効します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●保険契約者、特約被保険者または保険金を受け取るべき方の故意または重大な過失による要介護状態 ●闘争行為、自殺行為または犯罪行為による要介護状態 ●自動車等*の無資格運転、酒気帯び運転*中の事故による要介護状態 ●麻薬、あへん、大麻または覚せい剤等の使用による要介護状態(ただし、治療*を目的として医師*がこれらのものをういた場合は、保険金をお支払いします。) ●アルコール依存、薬物依存または薬物乱用による要介護状態(ただし、治療を目的として医師が薬物を用いた場合は、保険金をお支払いします。) ●戦争、その他の変乱*、暴動による要介護状態(テロ行為による要介護状態は、条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約により、保険金の支払対象となります。) ●地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波による要介護状態 ●核燃料物質等の放射性・爆発性等による要介護状態 ●原因がいかなるときでも、頸(けい)部症候群*、腰痛その他の症状を訴えている場合に、それを裏付けるに足りる医学的他覚所見のないもの* <p style="text-align: right;">など</p> <p>(注)保険期間の開始時(*1)より前に要介護状態の原因となった事由(*2)が発生した場合は、保険金をお支払いしません。</p> <p>ただし、この特約をセットしたご契約に継続加入された場合で、要介護状態の原因となった事由(*2)が発生した時が、その事由による要介護状態が開始した日からご加入の継続する期間を遡及して1年以前であるときは、親介護一時金をお支払いします。</p> <p>(*1)この特約をセットしたご契約に継続加入された場合は、継続加入してきた最初のご契約の保険期間の開始時をいいます。</p> <p>(*2)公的介護保険制度*を定める法令の規定による要介護認定または要支援認定の効力が発生した場合を含みます。</p>

保険金の種類	保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額	保険金をお支払いしない主な場合
<p>先進医療・拡大治験・患者申出療養費用保険金</p> <p>★先進医療・拡大治験・患者申出療養費用保険金補償特約</p> <p>☆特定精神障害補償特約セット</p>	<p>ケガ※または病気※の治療※のため、保険期間中に日本国内において先進医療^(※1)、拡大治験^(※2)または患者申出療養^(※3)を受けた場合で、被保険者が先進医療、拡大治験または患者申出療養に伴う費用を負担されたとき。</p> <p>【継続加入において、継続前後でご契約のお支払条件が異なる場合のご注意】</p> <p>先進医療、拡大治験または患者申出療養に伴う費用を補償する加入タイプに継続加入の場合で、ケガの原因となった事故発生の時または病気^(※4)を発病^(※5)した時がこの保険契約の保険期間の開始時より前であるときは、先進医療・拡大治験・患者申出療養費用保険金のお支払額は次の①または②の金額のうち、いずれか低い額となります。</p> <p>①ケガの原因となった事故発生の時または病気を発病した時の保険契約のお支払条件で算出した金額</p> <p>②この保険契約のお支払条件で算出した金額</p> <p>ただし、ケガの原因となった事故発生の時または病気^(※4)を発病した時が、そのケガまたは病気によって先進医療、拡大治験または患者申出療養を開始した日からご加入の継続する期間を遡及して1年以前であるときは、②により算出した額をお支払いします。</p> <p>(※1)「先進医療」とは、治療を受けた日現在において厚生労働省告示に基づき定められている評価療養のうち、別に厚生労働大臣が定めるもの(先進医療ごとに別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合する病院または診療所において行われるもの)に限ります。)をいいます。</p> <p>(※2)「拡大治験」とは医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(昭和35年法律第145号)第2条第17項に規定する治験に係る診療のうち、人道的見地から実施される治験^(※5)をいいます。</p> <p>(※3)「患者申出療養」とは厚生労働省告示に基づき定められている患者申出療養をいいます。ただし、その療養を適切に実施できるものとして厚生労働大臣に個別に認められた病院または診療所において行われるものに限ります。</p> <p>(※4)先進医療、拡大治験または患者申出療養の原因となった病気と医学上因果関係がある病気※を含みます。</p> <p>(※5)「人道的見地から実施される治験」とは医薬品の臨床試験の実施の基準に関する省令(平成9年厚生省令第28号)第2条第25項、医療機器の臨床試験の実施の基準に関する省令(平成17年厚生労働省令第36号)第2条第25項または再生医療等製品の臨床試験の実施の基準に関する省令(平成26年厚生労働省令第89号)第2条第25項に規定する拡大治験をいいます。</p> <p>(注)医療技術、医療機関および適応症等が先進医療、拡大治験または患者申出療養に該当しない場合、支払対象外となります。なお、先進医療、拡大治験または患者申出療養の対象となる医療技術、医療機関および適応症等は、一般の保険診療への導入や承認取消等の事由によって、変動します。受療された日現在において、先進医療、拡大治験または患者申出療養に該当しない場合、お支払いの対象外となります。</p>	<p>被保険者が負担された次の費用を被保険者にお支払いします。</p> <p>ア. 先進医療、拡大治験または患者申出療養に要する費用(基礎的療養部分に対し給付される保険外併用療養費^(※)を除きます。)</p> <p>イ. 先進医療、拡大治験または患者申出療養を受けるための病院等との間の交通費(転院、退院のための交通費を含みます。)</p> <p>ウ. 先進医療、拡大治験または患者申出療養を受けるための宿泊費(1泊につき1万円限度)</p> <p>(※)これに相当する家族療養費を含みます。</p> <p>(注1)加害者等から支払われる損害賠償金などがある場合は、被保険者が負担された費用から差し引きます。</p> <p>(注2)保険金のお支払額は、保険期間を通じ、先進医療・拡大治験・患者申出療養費用保険金額が限度となります。</p> <p>(注3)補償内容が同様の保険契約(異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。)が他にある場合、補償の重複が発生することがあります。補償内容の差異や保険金額、加入の要否をご確認いただいたうえでご加入ください。</p>	<p>【ケガの治療のため、先進医療、拡大治験または患者申出療養を受けた場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき方の故意または重大な過失によるケガ※ ●闘争行為、自殺行為または犯罪行為によるケガ ●自動車等^(※)の無資格運転、酒気帯り運転^(※)または麻薬等を使用しての運転中のケガ ●脳疾患、病気^(※)または心神喪失によるケガ ●妊娠、出産、早産または流産によるケガ ●引受保険会社が保険金を支払うべきケガの治療※以外の外科的手術その他の医療処置によるケガ ●戦争、その他の変乱^(※)、暴動によるケガ(テロ行為によるケガは、条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約により、保険金の支払対象となります。) ●地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波によるケガ(ST3、ST5セットには天災危険補償特約がセットされているため、支払対象となります。) ●核燃料物質等の放射性・爆発性等によるケガ ●原因がいかなくとも、頸(けい)部症候群^(※)、腰痛その他の症状を訴えている場合に、それを裏付けるに足りる医学的他覚所見のないもの^(※) ●入浴中の溺水^(※)(ただし、引受保険会社が保険金を支払うべきケガによって発生した場合には、保険金をお支払いします。) ●原因がいかなくとも、誤嚥(えん)^(※)によって発生した肺炎 ●別記の「補償対象外となる運動等」を行っている間のケガ ●別記の「補償対象外となる職業」に従事中のケガ ●乗用具^(※)を用いて競技等^(※)をしている間のケガ <p>(注)細菌性食中毒およびウイルス性食中毒は、補償の対象にはなりません。</p> <p>【病気の治療のため、先進医療、拡大治験または患者申出療養を受けた場合】</p> <p>疾病保険金の「保険金をお支払いしない主な場合」と同じ。ただし、疾病保険金の「保険金をお支払いしない主な場合」の(注)を次のとおり読み替えます。</p> <p>(注)保険期間の開始時^(※5)より前に被ったケガまたは発病^(※5)した病気^(※4)については保険金をお支払いしません。ただし、先進医療^(※6)、拡大治験^(※7)または患者申出療養^(※8)に伴う費用を補償する加入タイプに継続加入された場合で、ケガの原因となった事故発生の時または病気を発病した時が、そのケガまたは病気による先進医療、拡大治験または患者申出療養を開始された日からご加入の継続する期間を遡及して1年以前であるときは、保険金をお支払いします。</p> <p>(※4)その病気と医学上因果関係がある病気※を含みます。</p> <p>(※5)先進医療、拡大治験または患者申出療養に伴う費用を補償する加入タイプに継続加入された場合は、継続加入してきた最初のご契約の保険期間の開始時をいいます。</p> <p>(※6)「先進医療」とは、厚生労働省告示に基づき定められている評価療養のうち、別に厚生労働大臣が定めるもの(先進医療ごとに別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合する病院または診療所において行われるもの)に限ります。)をいいます。</p> <p>(※7)「拡大治験」とは医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(昭和35年法律第145号)第2条第17項に規定する治験に係る診療のうち、人道的見地から実施される治験^(※9)をいいます。</p> <p>(※8)「患者申出療養」とは厚生労働省告示に基づき定められている患者申出療養をいいます。ただし、その療養を適切に実施できるものとして厚生労働大臣に個別に認められた病院または診療所において行われるものに限ります。</p> <p>(※9)「人道的見地から実施される治験」とは医薬品の臨床試験の実施の基準に関する省令(平成9年厚生省令第28号)第2条第25項、医療機器の臨床試験の実施の基準に関する省令(平成17年厚生労働省令第36号)第2条第25項または再生医療等製品の臨床試験の実施の基準に関する省令(平成26年厚生労働省令第89号)第2条第25項に規定する拡大治験をいいます。</p>

保険金の種類	保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額	保険金をお支払いしない主な場合
<p>日常生活賠償 保険金 ★日常生活賠償 特約</p>	<p>①保険期間中の次のア.またはイ.の偶然な事故により、他人の生命または身体を害したり、他人の物を壊したりして、法律上の損害賠償責任を負われた場合 ②日本国内において保険期間中の次のア.またはイ.の偶然な事故により、誤って線路へ立ってしまったこと等が原因で電車等^(※1)を運行不能^(※2)にさせ、法律上の損害賠償責任を負われた場合</p> <p>ア. 本人の居住の用に供される住宅^(※3)の所有、使用または管理に起因する偶然な事故 イ. 被保険者の日常生活に起因する偶然な事故</p> <p>(※1) 電車、自動車、モノレール等の軌道上を走行する陸上の乗用車をいいます。 (※2) 正常な運行ができなくなることをいいます。ただし、運行することにつき、物理的な危険を伴うものをいいます。 (※3) 敷地内の動産および不動産を含みます。</p> <p>(注) 被保険者の範囲は、本人、配偶者[*]、同居の親族および別居の未婚[*]の子となります。なお、これらの方が責任無能力者である場合は、親権者・法定監督義務者・監督義務者に代わって責任無能力者を監督する方(責任無能力者の6親等内の血族、配偶者および3親等内の姻族に限りま)を被保険者として、「同居の親族」とは、本人またはその配偶者と同居の、本人またはその配偶者の6親等内の血族および3親等内の姻族をいいます。「別居の未婚の子」とは、本人またはその配偶者と別居の、本人またはその配偶者の未婚の子をいいます。</p>	<p>被保険者が損害賠償請求権者に対して負担する法律上の損害賠償責任の額</p> <p>+ 判決により支払を命ぜられた訴訟費用または判決日までの遅延損害金</p> <p>- 被保険者が損害賠償請求権者に対して損害賠償金を支払ったことにより代位取得するものがある場合は、その価額</p> <p>- 免責金額[*](0円)</p> <p>(注1) 1回の事故につき、日常生活賠償保険金額が限度となります。 (注2) 損害賠償金額等の決定については、あらかじめ引受保険会社の承認を必要とします。 (注3) 上記算式により計算した額とは別に、損害の発生または拡大を防止するために必要または有益であった費用、示談交渉費用、争訟費用等をお支払いします。 (注4) 日本国内において発生した事故については、被保険者のお申出により、示談交渉をお受けします。ただし、損害賠償請求権者が同意されない場合、被保険者が負担する法律上の損害賠償責任の額が日常生活賠償保険金額を明らかに超える場合、正当な理由なく被保険者が協力を拒んだ場合、損害賠償請求に関する訴訟が日本国外の裁判所に提起された場合には示談交渉を行うことができませんのでご注意ください。 (注5) 補償内容が同様の保険契約(異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。)が他にある場合、補償の重複が発生することがあります。補償内容の差異や保険金額、加入の可否をご確認いただいたうえでご加入ください。</p>	<p>●保険契約者、被保険者またはこれらの方の法定代理人の故意による損害 ●被保険者の業務遂行に直接起因する損害賠償責任(仕事上の損害賠償責任) ●他人から借りたり預かったりした物を壊したことによる損害賠償責任 ●被保険者と同居する親族[*]に対する損害賠償責任 ●被保険者の使用人(家事使用人を除きます。)が業務遂行中に被った身体の障害に起因する損害賠償責任 ●第三者との損害賠償に関する約定によって加重された損害賠償責任 ●心神喪失に起因する損害賠償責任 ●被保険者または被保険者の指図による暴行、殴打による損害賠償責任 ●自動車等[*]の車両(ゴルフ場敷地内におけるゴルフカートを除きます。)、船舶、航空機、銃器、業務のために使用する動産または不動産の所有、使用または管理に起因する損害賠償責任 ●戦争、その他の変乱[*]、暴動による損害 ●地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波による損害 ●核燃料物質等の放射性・爆発性等による損害</p> <p>など</p>
<p>受託物賠償責任 保険金 ★受託物賠償責任 補償特約</p>	<p>保険期間中で、受託物^(※1)を住宅内保管中または一時的に住宅外で管理している間に、損壊^(※2)・紛失・盗難が生じ、受託物について正当な権利を有する方に対して法律上の損害賠償責任を負われた場合</p> <p>(※1) 「受託物」とは、被保険者が日本国内において、日常生活の必要に応じて他人(レンタル業者を含みます。)から預かった財産的価値を有する有体物をいいます。ただし、別記の「補償対象外となる主な『受託物』」を除きます。 (※2) 「損壊」とは、滅失、破損または汚損をいいます。ただし、滅失には盗難、紛失または詐取を含みません。</p> <p>(注) 被保険者の範囲は、本人、配偶者[*]、同居の親族および別居の未婚[*]の子となります。なお、これらの方が責任無能力者である場合は、親権者・法定監督義務者・監督義務者に代わって責任無能力者を監督する方(責任無能力者の6親等内の血族、配偶者および3親等内の姻族に限りま)を被保険者として、「同居の親族」とは、本人またはその配偶者と同居の、本人またはその配偶者の6親等内の血族および3親等内の姻族をいいます。「別居の未婚の子」とは、本人またはその配偶者と別居の、本人またはその配偶者の未婚の子をいいます。</p>	<p>被保険者が損害賠償請求権者に対して負担する法律上の損害賠償責任の額^(※)</p> <p>+ 判決により支払を命ぜられた訴訟費用または判決日までの遅延損害金</p> <p>- 被保険者が損害賠償請求権者に対して損害賠償金を支払ったことにより代位取得するものがある場合は、その価額</p> <p>- 免責金額[*](1回の事故につき5,000円)</p> <p>(※) 被害受託物の時価額が限度となります。 (注1) 保険期間を通じ、受託物賠償責任保険金額がお支払いの限度となります。 (注2) 損害賠償金額等の決定については、あらかじめ引受保険会社の承認を必要とします。 (注3) 上記算式により計算した額とは別に、損害の発生または拡大を防止するために必要または有益であった費用、示談交渉費用、争訟費用等をお支払いします。 (注4) 補償内容が同様の保険契約(異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。)が他にある場合、補償の重複が発生することがあります。補償内容の差異や保険金額、加入の可否をご確認いただいたうえでご加入ください。</p>	<p>●保険契約者、被保険者またはこれらの方の法定代理人の故意による損害 ●闘争行為、自殺行為または犯罪行為による損害 ●自動車等[*]の無資格運転、酒気帯び運転[*]または麻薬等を使用したの運転中の事故による損害 ●自然の消耗、劣化、性質による変色・さび・かび・腐敗・ひび割れ・はがれ・発酵・自然発熱、ねずみ食い、虫食い、欠陥等による損害 ●公権力の行使(差し押え・没収・破壊等)による損害 ●偶然な外来の事故に直接起因しない受託物の電気的事故・機械的事故(故障等)による損害 ●受託物に発生した自然発火または自然爆発 ●風、雨、雪、雹(ひょう)、砂塵(じん)その他これらに類するものの吹込みや漏入による損害 ●被保険者の職務遂行に起因する損害賠償責任(仕事上の損害賠償責任) ●航空機、船舶(原動力がもっぱら人力であるものを含みません。)、銃器、職務のために使用する動産または不動産の所有、使用または管理に起因する損害賠償責任 ●被保険者と同居の親族[*]に対する損害賠償責任 ●第三者との損害賠償に関する約定によって加重された損害賠償責任 ●心神喪失に起因する損害賠償責任 ●引き渡し後に発見された損壊による損害賠償責任 ●受託物を使用不能にしたことによる損害賠償責任(収益減少等) ●通常必要とされる取扱以上の注意に著しく反したことまたは本来の用途以外に受託物を使用したことに起因する損害賠償責任 ●戦争、その他の変乱[*]、暴動による損害 ●地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波による損害 ●核燃料物質等の放射性・爆発性等による損害 ●別記の「補償対象外となる主な『受託物』」の損害</p> <p>など</p>

保険金の種類	保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額	保険金をお支払いしない主な場合
<p>携行品損害保険金</p> <p>★携行品損害補償特約</p> <p>☆新価保険特約(携行品損害補償特約用)セット</p> <p>☆携行品損害補償特約の保険の対象の追加に関する特約セット</p>	<p>保険期間中の偶然な事故(盗難・破損・火災など)により、携行品^(※1)に損害が発生した場合</p> <p>(※1)「携行品」とは、被保険者が住宅(敷地を含みます。)外において携行している被保険者所有の身の回り品^(※2)をいいます。ただし、別記の「補償対象外となる主な『携行品』」を除きます。</p> <p>(※2)「身の回り品」とは、被保険者が所有する、日常生活において職務の遂行以外の目的で使用する動産(カメラ、衣類、レジャー用品等)をいいます。</p>	<p>損害の額</p> <p>－ 免責金額[*](1回の事故につき3,000円)</p> <p>(注1) 損害の額は、再調達価額[*]によって定めます。ただし、被害物が貴金属等の場合には、保険価額によって定めます。なお、被害物の損傷を修繕しうる場合には、損害発生直前の状態に復するのに必要な修繕費をもって損害の額を定め、価値の下落(格落損)は含みません。この場合においても、修繕費が再調達価額を超えるときは、再調達価額を損害の額とします。</p> <p>(注2) 損害の額は、1個、1組または1対のものについて10万円が限度となります。ただし、通貨または乗車券等(鉄道・船舶・航空機の乗車船券・航空券、宿泊券、観光券または旅行券をいいます。ただし、定期券は含まれません。)もしくは小切手については1回の事故につき5万円が限度となります。</p> <p>(注3) 保険金のお支払額は、保険期間を通じ、携行品損害保険金額が限度となります。</p> <p>(注4) 補償内容が同様の保険契約(異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。)が他にある場合、補償の重複が発生することがあります。補償内容の差異や保険金額、加入の可否をご確認いただいたうえでご加入ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき方の故意または重大な過失による損害 ●被保険者と同居する親族[*]の故意による損害 ●自動車等[*]の無資格運転、酒気帯び運転[*]または麻薬等を使用しての運転中の事故による損害 ●公権力の行使(差し押え・没収・破壊等)による損害 ●携行品の自然の消耗、劣化、性質による変色・さび・かび・腐敗・ひび割れ・はがれ・発酵・自然発熱、ねずみ食い、虫食い、欠陥等による損害 ●携行品の平常の使用または管理において通常発生し得るすり傷、かき傷、塗料のはがれ落ち、ゆがみ、たわみ、へこみその他外観上の損傷または保険の対象の汚損であって、携行品が有する機能の喪失または低下を伴わない損害 ●偶然な外来の事故に直接起因しない携行品の電氣的事故・機械的故障(故障等)による損害。ただし、これらの事由によって発生した火災による損害を除きます。 ●携行品である液体の流出による損害。ただし、その結果として他の携行品に発生した損害を除きます。 ●携行品の置き忘れまたは紛失による損害 ●戦争、その他の変乱[*]、暴動による損害(テロ行為による損害は、条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約により、保険金の支払対象となります。) ●地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波による損害 ●核燃料物質等の放射性・爆発性等による損害 ●別記の「補償対象外となる主な『携行品』」の損害 <p>など</p>
<p>(住宅内生活用動産保険金)損害保険金</p> <p>★住宅内生活用動産補償特約</p> <p>☆新価保険特約(住宅内生活用動産補償特約用)セット</p> <p>☆保険の対象の追加に関する特約(住宅内生活用動産補償特約用)セット</p>	<p>保険期間中の日本国内における偶然な事故(盗難・損壊^(※1)・火災など)により、被保険者の居住の用に供される住宅^(※2)内に所在する、被保険者または被保険者と生計を共にする親族[*]が所有する生活用動産^(※3)に損害が発生した場合</p> <p>(※1)「損壊」とは、滅失、破損または汚損をいいます。</p> <p>(※2)敷地を含みます。</p> <p>(※3)「生活用動産」とは、生活の用に供する家具、什(じゅう)器、衣服、その他生活に通常必要な動産をいいます。ただし、別記の「補償対象外となる主な『生活用動産』」を除きます。</p>	<p>損害の額</p> <p>－ 免責金額[*](1回の事故につき3,000円)</p> <p>(注1) 損害の額は、再調達価額[*]によって定めます。ただし、被害物が貴金属、宝玉石、宝石、書画、骨董(とう)、彫刻物等の場合には、保険価額によって定めます。なお、被害物の損傷を修繕しうる場合には、損害発生直前の状態に復するのに必要な修繕費をもって損害の額を定め、価値の下落(格落損)は含みません。この場合においても、修繕費が再調達価額を超えるときは、再調達価額を損害の額とします。</p> <p>(注2) 損害の額は、貴金属、宝玉石、宝石、書画、骨董(とう)、彫刻物等については、1個、1組または1対について30万円が限度となります。ただし、通貨または乗車券等(鉄道・船舶・航空機の乗車船券・航空券、宿泊券、観光券または旅行券をいいます。ただし、定期券は含まれません。)もしくは小切手については1回の事故につき5万円が限度となります。</p> <p>(注3) 保険金のお支払額は、保険期間を通じ、住宅内生活用動産保険金額が限度となります。</p> <p>(注4) 補償内容が同様の保険契約(異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。)が他にある場合、補償の重複が発生することがあります。補償内容の差異や保険金額、加入の可否をご確認いただいたうえでご加入ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき方の故意または重大な過失による損害 ●被保険者と生計を共にする親族[*]の故意による損害 ●闘争行為、自殺行為または犯罪行為による損害 ●自動車等[*]の無資格運転、酒気帯び運転[*]または麻薬等を使用しての運転中の事故による損害 ●公権力の行使(差し押え・没収・破壊等)による損害 ●生活用動産の自然の消耗、劣化、性質による変色・さび・かび・腐敗・ひび割れ・はがれ・発酵・自然発熱、ねずみ食い、虫食い、欠陥等による損害 ●生活用動産の平常の使用または管理において通常発生し得るすり傷、かき傷、塗料のはがれ落ち、ゆがみ、たわみ、へこみその他外観上の損傷または保険の対象の汚損であって、生活用動産が有する機能の喪失または低下を伴わない損害 ●偶然な外来の事故に直接起因しない生活用動産の電氣的事故・機械的故障(故障等)による損害。ただし、これらの事由によって発生した火災による損害を除きます。 ●生活用動産である液体の流出による損害。ただし、その結果として他の生活用動産に発生した損害を除きます。 ●生活用動産の置き忘れまたは紛失による損害 ●生活用動産に加工(修理を除きます。)を施した場合、加工着手後に発生した損害 ●生活用動産に対する修理、調整の作業(点検または試運転を伴う場合には、これらを含みます。)上の過失または技術の拙劣によって発生した損害。ただし、これらの事由によって発生した火災による損害を除きます。 ●詐欺または横領によって生活用動産に発生した損害 ●楽器の弦(ピアノ線を含みます。)の切断・打楽器の打皮の破損・楽器の音色または音質の変化による損害 ●戦争、その他の変乱[*]、暴動による損害(テロ行為による損害は、条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約により、保険金の支払対象となります。) ●地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波による損害 ●核燃料物質等の放射性・爆発性等による損害 ●別記の「補償対象外となる主な『生活用動産』」の損害 <p>など</p>
<p>(住宅内生活用動産保険金)臨時費用保険金</p> <p>★住宅内生活用動産補償特約</p> <p>☆新価保険特約(住宅内生活用動産補償特約用)セット</p> <p>☆保険の対象の追加に関する特約(住宅内生活用動産補償特約用)セット</p>	<p>損害保険金が支払われる場合</p>	<p>損害保険金 × 30%</p> <p>(注1) 保険金のお支払額は、1回の事故につき、1敷地内ごとに100万円が限度となります。</p> <p>(注2) 臨時費用を補償する保険を複数(引受保険会社、他の保険会社を問いません。)ご契約の場合、臨時費用保険金のお支払額は単純に合算されず、最も高い限度額が限度となります。</p> <p>(注3) 補償内容が同様の保険契約(異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。)が他にある場合、補償の重複が発生することがあります。補償内容の差異や保険金額、加入の可否をご確認いただいたうえでご加入ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●詐欺または横領によって生活用動産に発生した損害 ●楽器の弦(ピアノ線を含みます。)の切断・打楽器の打皮の破損・楽器の音色または音質の変化による損害 ●戦争、その他の変乱[*]、暴動による損害(テロ行為による損害は、条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約により、保険金の支払対象となります。) ●地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波による損害 ●核燃料物質等の放射性・爆発性等による損害 ●別記の「補償対象外となる主な『生活用動産』」の損害 <p>など</p>

保険金の種類	保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額	保険金をお支払いしない主な場合
<p>(住宅内生活用動産保険金) 残存物取片づけ費用保険金</p> <p>★住宅内生活用動産補償特約</p> <p>☆新価保険特約(住宅内生活用動産補償特約用)セット</p> <p>☆保険の対象の追加に関する特約(住宅内生活用動産補償特約用)セット</p>	<p>損害保険金がお支払われる場合</p>	<p>残存物取片づけ費用^(*)の額</p> <p>(*) 損害を受けた保険の対象の残存物の取片づけに必要な次の費用をいいます。</p> <p>①取りこわし費用</p> <p>②取片づけ清掃費用</p> <p>③搬出費用</p> <p>(注1) 保険金のお支払額は、損害保険金×10%が限度となります。</p> <p>(注2) 補償内容が同様の保険契約(異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。)が他にある場合、補償の重複が発生することがあります。補償内容の差異や保険金額、加入の要否をご確認いただいたうえでご加入ください。</p>	<p>前ページの(住宅内生活用動産保険金)損害保険金の「保険金をお支払いしない主な場合」と同じ。</p>
<p>(住宅内生活用動産保険金) 失火見舞費用保険金</p> <p>★住宅内生活用動産補償特約</p> <p>☆新価保険特約(住宅内生活用動産補償特約用)セット</p> <p>☆保険の対象の追加に関する特約(住宅内生活用動産補償特約用)セット</p>	<p>被保険者の居住の用に供される住宅内に所在する、被保険者または被保険者と生計を共にする親族[*]が所有する生活用動産またはそれを収容する建物から発生した火災、破裂または爆発^(*)1)により、第三者の所有物^(*)4)の損壊^(*)5)が発生した場合</p> <p>(*)1) 第三者^(*)2)の所有物で被保険者以外の方が占有する部分^(*)3)から発生した火災、破裂または爆発による場合を除きます。</p> <p>(*)2) 保険契約者と被保険者が異なる保険契約の場合の保険契約者を含み、被保険者と生計を共にする同居の親族を含みません。</p> <p>(*)3) 区分所有建物の共有部分を含みます。</p> <p>(*)4) 動産については、その所有者によって現に占有されている物で、その方の占有する敷地内にあるものに限りま。</p> <p>(*)5) 「損壊」とは、滅失、破損または汚損をいいます。</p>	<p>被災世帯の数 × 20万円</p> <p>(注1) 保険金のお支払額は、1回の事故につき、事故が発生した敷地内に所在する保険の対象の保険金額(保険金額が再調達価額^(*)を超える場合は、再調達価額とします。)の20%に相当する額が限度となります。</p> <p>(注2) 失火見舞費用を補償する保険を複数(引受保険会社、他の保険会社を問いません。)ご契約の場合、失火見舞費用保険金のお支払額は単純に合算されず、最も高い1被災世帯あたりの支払額に被災世帯の数を乗じた額が限度となります。</p> <p>(注3) 補償内容が同様の保険契約(異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。)が他にある場合、補償の重複が発生することがあります。補償内容の差異や保険金額、加入の要否をご確認いただいたうえでご加入ください。</p> <p>(*) 貴金属等の場合には、損害が発生した地および時における保険の対象の価額となります。</p>	
<p>救護者費用等保険金</p> <p>★救護者費用等補償特約</p>	<p>救護対象者[*]が次の①～③のいずれかに該当したことにより、被保険者^(*)が費用を負担された場合</p> <p>① 保険期間中に救護対象者が搭乗している航空機または船舶の行方不明または遭難した場合</p> <p>② 保険期間中に急激かつ偶然な外来の事故により救護対象者の生死が確認できない場合または緊急な捜索・救助活動を要することが警察等の公の機関により確認された場合</p> <p>③ 保険期間中に被ったケガ[*]のため、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡または続けて14日以上入院[*]された場合</p> <p>(*) 「被保険者」とは、この特約により補償を受ける方で、保険契約者、救護対象者または救護対象者の親族[*]をいいます。</p>	<p>救護者費用等の額</p> <p>被保険者が負担された次のア～オの費用のうち社会通念上妥当な金額をいいます。</p> <p>ア. 遭難した救護対象者[*]の捜索、救助または移送する活動に要した費用</p> <p>イ. 救護者[*]の現地^(*)1)までの1往復分の交通費(救護者2名分まで)^(*)2)</p> <p>ウ. 救護者の現地^(*)1)および現地^(*)1)までの行程での宿泊料(救護者2名分かつ1名につき14日分まで)^(*)2)</p> <p>エ. 死亡されたまたは治療[*]を継続中の救護対象者を現地^(*)1)から移送する費用</p> <p>オ. 諸雑費(救護者の渡航手続費および救護対象者または救護者が現地^(*)1)において支出した交通費・通信費等をいいます。)。ただし、日本国外で左記「保険金をお支払いする場合」に該当した場合は20万円が限度となり、日本国内で左記「保険金をお支払いする場合」に該当した場合は3万円が限度となります。</p> <p>(*)1) 事故発生地または救護対象者の収容地をいいます。</p> <p>(*)2) 上記イ、ウについては、左記「保険金をお支払いする場合」の②の場合において救護対象者の生死が判明した後または救護対象者の緊急な捜索・救助・移送もしくは救助活動が終了した後に現地に赴く救護者にかかる費用は含みません。</p> <p>(注1) 保険金のお支払額は、保険期間を通じ、救護者費用等保険金額が限度となります。</p> <p>(注2) 補償内容が同様の保険契約(異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。)が他にある場合、補償の重複が発生することがあります。補償内容の差異や保険金額、加入の要否をご確認いただいたうえでご加入ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 保険契約者、被保険者、救護対象者[*]または保険金を受け取るべき方の故意または重大な過失により発生した費用 ● 闘争行為、自殺行為または犯罪行為により発生した費用 ● 自動車等[*]の無資格運転、酒気帯び運転[*]または麻薬等を使用しての運転中の事故により発生した費用 ● 脳疾患、病気[*]または心神喪失により発生した費用 ● 妊娠、出産、早産または流産により発生した費用 ● 引受保険会社が保険金を支払うべきケガ[*]の治療[*]以外の外科的手術その他の医療処置により発生した費用 ● 戦争、その他の変乱[*]、暴動により発生した費用(テロ行為により発生した費用は、条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約により、保険金の支払対象となります。) ● 地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波により発生した費用 ● 核燃料物質等の放射性・爆発性等により発生した費用 ● 原因がいかなるときでも、頸(けい)部症候群[*]、腰痛その他の症状を訴えている場合に、それを裏付けるに足りる医学的他覚所見のないもの[*] ● 入浴中の溺水[*](ただし、急激かつ偶然な外来の事故によって被ったケガによって発生した場合を除きます。) ● 原因がいかなるときでも、誤嚥(えん)[*]によって発生した肺炎 ● 別記の「補償対象外となる運動等」を行っている間の事故により発生した費用 <p style="text-align: right;">など</p>

保険金の種類	保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額	保険金をお支払いしない主な場合
<p>キャンセル費用 保険金 ★キャンセル費用 補償特約</p>	<p>被保険者、被保険者の配偶者*または被保険者の1親等内の親族の死亡、ケガ*または病気*による入院*によって、被保険者が特定のサービス*を受けられなくなり、ホテルの違約金などのキャンセル費用*を負担された場合 (*)「特定のサービス」とは、業として有償で提供されるサービスで、次のア～カのいずれかに該当するものをいいます。ただし、キャンセル事由が死亡の場合は、死亡の日からその日を含めて31日以内(ただし、被保険者の死亡の場合にはこの限りではありません。)、入院の場合は入院を開始した日からその日を含めて31日以内に提供されるサービスに限りです。 ア. 国内旅行契約、海外旅行契約に基づくサービス イ. 旅館、ホテル等の宿泊施設の提供およびそれにセットするサービス ウ. 航空機、船舶、自動車、鉄道等による旅客の輸送 エ. 宴会、パーティ用施設の提供およびそれにセットするサービス オ. 運動、教養等の趣味の指導、教授または施設の提供 カ. 演劇、音楽、美術、映画等の公演、上映、展示、興行</p>	<p>被保険者または被保険者の法定相続人が負担したキャンセル費用*の額 － 免責金額*(1回の事故につき1,000円またはキャンセル費用の20%に相当する額のうち、いずれか高い額) (注1) 第三者から支払われた損害賠償金等の回収金がある場合には、その額を差し引いた額をお支払いします。 (注2) 保険金のお支払額は、保険期間を通じ、キャンセル費用保険金額が限度となります。 (注3) 補償内容が同様の保険契約(異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。)が他にある場合、補償の重複が発生することがあります。補償内容の差異や保険金額、加入の要否をご確認いただいたうえでご加入ください。</p>	<p>●提供日を変更して、サービスの提供を受けることができる場合 ●予約日・提供日が確認できない場合 ●サービスが職務遂行に関係するものである場合 ●保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき方の故意または重大な過失による損害 ●被保険者の闘争行為、自殺行為、犯罪行為または麻薬等の使用による損害 ●被保険者の自動車等*の無資格運転、酒気帯び運転*または麻薬等を使用しての運転中の事故による損害 ●妊娠、出産、早産または流産による入院* ●戦争、その他の変乱*、暴動による損害(テロ行為による損害は、条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約により、保険金の支払対象となります。) ●地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波による損害 ●核燃料物質等の放射性・爆発性等による損害 ●原因がいかなくとも、被保険者が頸(けい)部症候群*、腰痛その他の症状を訴えている場合に、それを裏付けるに足りる医学的他覚所見のないもの* など (注)被保険者、被保険者の配偶者*または被保険者の1親等内の親族の、死亡または入院の直接の原因となったケガ*または病気*が保険期間の開始時より前または保険料領収前に発生していたためキャンセル費用*を負担された場合は、保険金をお支払いしません。なお、病気の発病*の認定は、医師*の診断によります。</p>
<p>弁護士費用等 保険金・法律相談 費用保険金 ★弁護士費用特 約</p>	<p>①日本国内における偶然な事故により保険期間中に被害(*1)を被った被保険者が、法律上の損害賠償請求を行った場合 ②日本国内における偶然な事故により保険期間中に被害(*1)を被った被保険者が、法律相談*を行った場合(*2) (*1)「被害」とは、被保険者が被った身体の障害または住宅・被保険者の日常生活用財産の損壊(*3)または盗取をいいます。「身体の障害」とは、生命または身体を害することをいいます。 (*2)被害に対する法律相談が、被害の発生日からその日を含めて3年以内に開始されたときに限ります。 (*3)「損壊」とは、滅失、破損または汚損をいいます。 (注)被保険者の範囲は、本人、配偶者*、同居の親族および別居の未婚*の子となります。「同居の親族」とは、本人またはその配偶者と同居の、本人またはその配偶者の6親等内の血族および3親等内の姻族をいいます。「別居の未婚の子」とは、本人またはその配偶者と別居の、本人またはその配偶者の未婚の子をいいます。</p>	<p>【左記「保険金をお支払いする場合」の①の場合】 引受保険会社の同意を得て支出した弁護士費用等*の額>(*1) 【左記「保険金をお支払いする場合」の②の場合】 引受保険会社の同意を得て支出した法律相談費用*の額>(*2) (*1)1事故(*3)につき被保険者1名ごとに弁護士費用等保険金額が限度となります。 (*2)1事故(*3)につき被保険者1名ごとに10万円が限度となります。 (*3)1事故とは、発生時期または発生場所にかかわらず、同一の原因から発生した一連の事故をいいます。 (注1)保険金をお支払いした後に次のいずれかに該当された場合は、弁護士費用等保険金の全部または一部を返還していただきます。 ・弁護士等への委任の取消等により着手金の返還を受けた場合 ・訴訟の判決に基づき、被害を被った被保険者が賠償義務者*から弁護士費用等の支払いを受けた場合で、「判決で確定された弁護士費用等の額と既にお支払いした弁護士費用等保険金の額の合計額」が「被保険者が弁護士等に支払った費用の全額」を超過したとき。 (注2)補償内容が同様の保険契約(異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。)が他にある場合、補償の重複が生じることがあります。補償内容の差異や保険金額、加入の要否をご確認いただいたうえでご加入ください。</p>	<p>●保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき方の故意または重大な過失によって発生した被害 ●闘争行為、自殺行為または犯罪行為によって発生した被害 ●被保険者相互間の事故によって発生した被害 ●自動車等*の無資格運転または酒気帯び運転*中の事故によって発生した被害 ●被保険者が麻薬、大麻、あへん、覚せい剤またはシンナー等の影響を受けているおそれがある状態での事故 ●住宅または日常生活用財産の詐取または紛失によって発生した被害 ●専ら被保険者の業務の用に供される財産の損壊または盗取によって発生した被害 ●大気汚染、水質汚濁等の環境汚染。(環境汚染の発生が不測かつ突発的な事故による場合には、保険金の支払対象となります。) ●住宅または日常生活用財産自体の自然の消耗、劣化、性質による変色・さび・かび・腐敗・ひび割れ・はがれ・発酵・自然発熱、欠陥等による被害 ●被保険者が違法に所有・占有する財物の損壊または盗取 ●被保険者の業務遂行に直接起因する事故 ●診療、投薬、身体整形、マッサージ等の外科的手術その他の医療処置によって発生した被害 ●妊娠、出産、早産または流産によって発生した被害 ●石綿等が有する発がん性等有毒な特性に起因する被害事故 ●外因性内分泌かく乱化学物質(医薬品としホルモン作用を持つように合成された合成ホルモンなど)の有害な特性によって発生した被害 ●電磁波障害による事故 ●日照権、騒音、悪臭等、住宅または日常生活用財産の損壊または盗取を伴わない事由にかかわる法律相談*を行うことによる損害 ●戦争、その他の変乱*、暴動によって発生した被害(テロ行為により発生した費用は、条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約により、保険金の支払対象となります。) ●地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波によって発生した被害 ●核燃料物質等の放射性・爆発性等によって発生した被害 ●公権力の行使(住宅または日常生活用財産の差押え・没収・破壊等)によって発生した被害 ●被保険者が第三者との間に損害賠償に関する特別の約定を締結している場合において、その約定によって加重された損害賠償責任に関する弁護士費用等または法律相談費用を保険金請求権者が負担することによって被る損害 など</p>

(☆) 疾病保険金(疾病入院保険金、疾病手術保険金、疾病放射線治療保険金、疾病通院保険金)、疾病入院時一時金

【継続加入において、継続前後でご契約のお支払条件が異なる場合のご注意】

病気*を補償する加入タイプ(*1)に継続加入の場合で、被保険者が疾病入院(*2)の原因となった病気(*3)を発病*した時がこの保険契約の保険期間の開始日より前であるときは、保険金のお支払額は次の①または②の金額のうち、いずれか低い額となります。

①病気を発病した時の保険契約のお支払条件で算出した金額

②この保険契約のお支払条件で算出した金額

ただし、病気(*3)を発病した時が、その病気による入院(*2)を開始された日からご加入の継続する期間を遡及して1年以前であるときは、②により算出した額をお支払いします。

(*1) 疾病入院時一時金においては、「この特約をセットしたご契約」と読み替えます。

(*2) 疾病入院保険金の支払いを伴わない疾病手術保険金または疾病放射線治療保険金の場合は、それぞれ「手術の開始時」、「放射線治療の開始時」に疾病入院が開始したものとみなします。

(*3) 疾病入院(*2)の原因となった病気と医学上因果関係がある病気*を含みます。

補償対象外となる運動等	
山岳登山(*1)、リュージュ、ポプスレー、スケルトン、航空機(*2)操縦(*3)、スカイダイビング、ハンググライダー搭乗、超軽量動力機(*4)搭乗、ジャイロプレーン搭乗	その他これらに類する危険な運動
(*1) ピッケル、アイゼン、ザイル、ハンマー等の登山用具を使用するもの、ロッククライミング(フリークライミングを含み、登る壁の高さが5m以下であるボルダリングは含みません。)	をいいます。
(*2) グライダーおよび飛行船は含みません。	
(*3) 職務として操縦する場合は含みません。	
(*4) モーターハンググライダー、マイクロライト機、ウルトラライト機等をいい、パラプレーン等のパラシュート型超軽量動力機は含みません。	
補償対象外となる職業	
オートテスター(テストライダー)、オートバイ競争選手、自動車競争選手、自転車競争選手(競輪選手)、モーターボート(水上オートバイを含みます。)競争選手、猛獣取扱者(動物園の飼育係を含みます。)、プロボクサー、プロレスラー、ローラーゲーム選手(レフリーを含みます。)、力士	その他これらと同程度またはそれ以上の危険な職業
補償対象外となる主な「携行品」	
船舶(ヨット、モーターボート、水上バイク、ボートおよびカヌーを含みます。)、航空機・自動車・原動機付自転車・雪上オートバイ・ゴーカートおよびこれらの付属品、自転車・ハンググライダー・パラグライダーおよびこれらの付属品、義歯、義肢、コンタクトレンズ、補聴器、動物、植物、株券、有価証券(乗車券等、定期券、通貨および小切手は補償の対象となります。)、印紙、切手、預金証書または貯金証書(通帳およびキャッシュカードを含みます。)、クレジットカード、ローンカード、プリペイドカード、電子マネー、稿本(本などの原稿)・設計書・図案・証書(運転免許証およびパスポートを含みます。)、帳簿・ひな形・鋳型・木型・紙型・模型・勳章・き章・免許状その他これらに類する物(印章は補償の対象となります。)、テープ、カード、ディスク、ドラム等のコンピュータ用の記録媒体に記録されているプログラム、データ	など
補償対象外となる主な「生活用動産」	
船舶(ヨット、モーターボート、水上バイク、ボートおよびカヌーを含みます。)、航空機・自動車・原動機付自転車・雪上オートバイ・ゴーカートおよびこれらの付属品、自転車・ハンググライダー・パラグライダー・サーフボード・ウインドサーフィン・ラジコン模型(無人機等を含みます。))およびこれらの付属品、義歯、義肢、コンタクトレンズ、動物、植物、株券、有価証券(乗車券等、定期券、通貨および小切手は補償の対象となります。)、印紙、切手、預金証書または貯金証書(通帳およびキャッシュカードを含みます。)、クレジットカード、ローンカード、プリペイドカード、電子マネー、稿本(本などの原稿)・設計書・図案・証書(運転免許証およびパスポートを含みます。)、帳簿・ひな形・鋳型・木型・紙型・模型・勳章・き章・免許状その他これらに類する物(印章は補償の対象となります。)、テープ、カード、ディスク、ドラム等のコンピュータ用の記録媒体に記録されているプログラム、データ	など
補償対象外となる主な「受託物」	
日本国外で受託した物、通貨、預貯金証書、有価証券、印紙、切手、稿本(本などの原稿)、設計書、図案、証書、帳簿、貴金属、宝石、書画、骨董(とう)、彫刻、美術品、自動車(被牽(けん)引車を含みます。)、原動機付自転車・船舶(ヨット、モーターボート、水上バイク、ボートおよびカヌーを含みます。)、航空機およびこれらの付属品、銃砲、刀剣、上記の「補償対象外となる運動等」を行っている間のその運動等のための用具、動物・植物等の生物、建物(畳、建具、浴槽、流し、ガス台、調理台、棚および電気・ガス・暖房・冷房設備その他の付属設備を含みます。)、門、塀・垣、物置、車庫その他の付属建物	など

【特約の説明】

セットする特約	特約の説明
条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約(自動セット)	保険金をお支払いしない場合のうち「戦争、その他の変乱*、暴動*」については、テロ行為はお支払いの対象となります。テロ行為とは、政治的、社会的もしくは宗教・思想的な主義・主張を有する団体・個人またはこれと連帯するものがその主義・主張に関して行う暴力的行動をいいます。
天災危険補償特約 (「ST3、ST5、KE1、KE2、S、SF、AF、BF、CF、DF、EF、FFセット」および「SC、AC、BC、CC、DC、EC、FCセットの傷害死亡・後遺障害(本人・配偶者・親族)以外」)	地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波によるケガ*のときも、傷害保険金をお支払いします。 同様の取扱いとなる保険金 ・ 先進医療・拡大治験・患者申出療養費用保険金
保険金の請求に関する特約 (KG、JSセット)	被保険者が医師*から傷病名の告知を受けていないことにより保険金を請求できない場合は、法律上の配偶者が被保険者に代わって保険金を請求することができます。 (注)被保険者に法律上の配偶者がいない場合には、被保険者と生計を共にする配偶者以外の親族(6親等内の血族および3親等内の姻族をいいます。))が被保険者に代わって保険金を請求することができます。 本特約が適用される傷病名 ・ がん(悪性新生物)* (KGセット) ・ 女性特定疾病* (JSセット)
疾病手術保険金等支払倍率変更特約 (ST3、ST5、JS、DS3、DS5セット)	疾病手術保険金について、入院*中に受けた手術*の場合のお支払額を、[疾病入院保険金日額]×20に変更します。
熱中症危険補償特約 (「ST3、ST5、KE1、KE2、S、SF、AF、BF、CF、DF、EF、FFセット」および「SC、AC、BC、CC、DC、EC、FCセットの傷害死亡・後遺障害(本人・配偶者・親族)以外」)	保険期間中の急激かつ外来による日射または熱射により被った身体の障害についても、傷害後遺障害保険金、傷害入院保険金、傷害手術保険金または傷害通院保険金をお支払いします。
女性特定疾病のみ補償特約 (JSセット)	特約記載の女性特定疾病*の治療*を目的とした入院*および通院*の期間ならびに手術*および放射線治療*に限り、疾病保険金をお支払いします。この場合、保険金の請求に関する特約が自動的にセットされます。
家族型への変更に関する特約 (「KK、SF、AF、BF、CF、DF、EF、FFセット」および「AC、BC、CC、DC、EC、FCセットの傷害死亡・後遺障害(本人・配偶者・親族)および携行品(本人・配偶者・親族)」)	被保険者の範囲を、「契約概要のご説明」の「被保険者の範囲」に記載のとおり変更します。
夫婦型への変更に関する特約 (SC、AC、BC、CC、DC、EC、FCセットの上枠以外)	

【※印の用語のご説明】

- 「医学上因果関係がある病気」とは、医学上重要な関係にある一連の病気をいい、病名を異にする場合であってもこれを同一の病気として取り扱います。たとえば、高血圧症とこれに起因する心臓疾患または腎臓疾患等をいいます。
- 「医学的他覚所見のないもの」とは、被保険者が自覚症状を訴えている場合であっても、脳波所見、理学的検査、神経学的検査、臨床検査、画像検査、眼科・耳鼻科検査等によりその根拠を客観的に証明することができないものをいいます。
- 「医師」とは、被保険者以外の医師をいいます。

特約名称	特約固有の「医師」の範囲
救済者費用等補償特約	救済対象者*以外の医師
介護一時金支払特約	保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき方以外の医師
親介護一時金支払特約	保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき方以外の医師

- 「1回の疾病入院」とは、疾病入院の退院日の翌日(*)からその日を含めて180日を経過する日までに、その疾病入院の原因となった病気*(これと医学上因果関係がある病気*を含みます。)によって再度疾病入院に該当した場合には、前の疾病入院と後の疾病入院を合わせて「1回の疾病入院」として取り扱います。
(*)疾病入院時一時金においては、「退院日の翌日」を「退院日」と読み替えます。
- 「がん(悪性新生物)」には、上皮内新生物を含みます。抗がん剤治療特約においては、上皮内新生物を含みません。
- 「ギプス等」とは、ギプス、ギプスシーネ、ギプスシャーレ、シーネその他これらに類するもの(硬性コルセット、創外固定器、その他医学上ギプスと同程度の安静を保つために用いるものをいい、バストバンド、軟性コルセット、サポーター、頸(けい)椎カラー、厚紙副子、ニーブレース等は含まれません。)をいいます。
- 「キャンセル費用」とは、サービスの提供を受けられない場合にかかる取消料、違約金等、そのサービスに係る契約に基づき、払戻しを受けられない費用または支払を要する費用で、被保険者に対して提供されるサービスに係る費用に限ります。ただし、被保険者がサービスの提供を受けられなくなった場合において、被保険者に同行する被保険者の配偶者*もサービスの提供を受けられなくなったときは、配偶者に対して提供されるサービスに係る費用も含むものとします。
- 「救済者」とは、救済対象者*の捜索、救助、移送、看護または事故処理を行うために現地へ赴く救済対象者の親族*(これらの方の代理人を含みます。)をいいます。
- 「救済対象者」とは、普通保険約款における被保険者をいいます。
- 「競技等」とは、競技、競争、興行(*)または試運転をいいます。また、競技場におけるフリー走行など競技等に準ずるものを含みます。
(*)いずれもそのための練習を含みます。
- 「行政書士が行う相談」とは、行政書士法第1条の3(業務)第1項第4号に規定する相談をいいます。
- 「頸(けい)部症候群」とは、いわゆる「むちうち症」をいいます。
- 「ケガ」とは、急激かつ偶然な外来の事故によって身体に被った傷害をいいます。
「急激」とは、「事故が突発的で、傷害発生までの過程において時間的間隔がないこと」を意味します。
「偶然」とは、「保険事故の原因または結果の発生が被保険者にとって予知できない、被保険者の意思に基づかないこと」を意味します。
「外来」とは、「保険事故の原因が被保険者の身体外部からの作用によること、身体に内在する疾病要因の作用でないこと」を意味します。
「傷害」には、身体外部から有毒ガスまたは有毒物質を偶然かつ一時に吸入、吸収または摂取した場合に急激に発生する中毒症状(*)を含み、次のいずれかに該当するものを含みません。
①細菌性食中毒 ②ウイルス性食中毒
(*)継続的に吸入、吸収または摂取した結果発生する中毒症状を除きます。
- 「ケガを被った所定の部位」とは、次のいずれかの部位(指、顔面等は含まれません。)をいいます。
 - ・長管骨(上腕骨、橈骨、尺骨、大腿骨、脛骨および腓骨をいいます。以下同様とします。)または脊柱
 - ・長管骨に接続する上肢または下肢の3大関節部分(中手骨、中足骨およびそれらより指先側は含まれません。)。ただし、長管骨を含めギプス等*の固定具を装着した場合に限ります。
 - ・肋骨・胸骨(鎖骨、肩甲骨は含まれません。)。ただし、体幹部にギプス等の固定具を装着した場合に限ります。
- 「後遺障害」とは、治療*の効果が医学上期待できない状態であって、被保険者の身体に残された症状が将来においても回復できない機能の重大な障害に至ったものまたは身体の一部の欠損をいいます。ただし、被保険者が症状を訴えている場合であっても、それを裏付けるに足る医学的他覚所見のないもの*を除きます。
- 「公的介護保険制度」とは、介護保険法に基づく介護保険制度をいいます。
- 「誤嚥(えん)」とは、食物、吐物、唾液等が誤って気管内に入ることをいいます。
- 「再調達価額」とは、損害が発生した時の発生した場所における保険の対象と同一の構造、質、用途、規模、型、能力のものを再取得するのに必要な金額をいいます。なお、再取得に必要な額は、被害物を購入したときの金額より低い金額となる場合があります。

- 「自動車等」とは、自動車または原動機付自転車をいいます。
- 「支払限度日数」とは、支払対象期間*内において、支払いの限度となる日数をいい、それぞれについて、加入者証等記載の期間または日数とします。

適用される保険金の名称	
・ 傷害入院保険金	・ 傷害通院保険金
・ 疾病入院保険金	・ 疾病通院保険金

- 「支払対象期間」とは、支払いの対象となる期間をいい、それぞれについて、加入者証等記載の期間または日数をいいます。なお、入院*が中断している期間がある場合には、その期間を含む継続した期間をいいます。

適用される保険金の名称	
・ 傷害入院保険金	・ 傷害通院保険金
・ 疾病入院保険金	・ 疾病通院保険金

- 「司法書士が行う相談」とは、司法書士法第3条(業務)第1項第5号および同項第7号に規定する相談をいいます。
- 「酒気帯び運転」とは、道路交通法第65条(酒気帯び運転等の禁止)第1項に定める酒気を帯びた状態で自動車等*を運転することをいいます。
- 「手術」とは、次のいずれかに該当する診療行為をいいます。
 - ①公的医療保険制度における医科診療報酬点数表に、手術料の算定対象として列挙されている診療行為(*1)。ただし、創傷処理、皮膚切開術、デブリードマン、骨または関節の非観血的または徒手的な整復術、整復固定術および授動術ならびに抜歯手術を除きます。
 - ②先進医療*に該当する診療行為(*2)
 - (*1)①の診療行為には、歯科診療報酬点数表に手術料の算定対象として列挙されている診療行為のうち、医科診療報酬点数表においても手術料の算定対象として列挙されているものを含みます。
 - (*2)②の診療行為は、治療*を直接の目的として、メス等の器具を用いて患部または必要部位に切除、摘出等の処置を施すものに限り、ただし、診断、検査等を直接の目的とした診療行為ならびに注射、点滴、全身の薬剤投与、局所的薬剤投与、放射線照射および温熱療法による診療行為を除きます。
- 「乗用具」とは、自動車等*、モーターボート(水上オートバイを含みます。)、ゴーカート、スノーモービル、その他これらに類するものをいいます。
- 「女性特定疾病」とは、次の病気をいいます。
 - 一部の中皮腫・カポジ肉腫などを除くがん(悪性新生物)*、乳房・子宮・卵巣・腎尿路・甲状腺など特定部位の良性新生物、栄養性貧血など特定の貧血、紫斑病、血小板減少症、甲状腺障害、クッシング症候群・卵巣機能障害などの特定の内分泌腺障害、慢性リウマチ性心疾患、外陰静脈腫、低血圧(症)、乳房切除後リンパ浮腫症候群、胆石症・胆のう炎など特定の胆のうの病気、関節リウマチ、全身性結合組織障害、ネフローゼ症候群・慢性腎不全など特定の腎臓・尿道の病気、乳房の障害、女性骨盤臓器の炎症性疾患、女性生殖器の非炎症性障害、帝王切開などを除く妊娠・分娩・産じょにかかわる病気 など特約記載の病気
- 「親族」とは、6親等内の血族、配偶者*および3親等内の姻族をいいます。
- 「先進医療」とは、手術*または放射線治療*を受けた時点において、厚生労働省告示に基づき定められている評価療養のうち、別に厚生労働大臣が定めるもの(先進医療ごとに別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合する病院または診療所において行われるもの)に限ります。をいいます。なお、先進医療の対象となる医療技術、医療機関および適応症等は、一般の保険診療への導入や承認取消等の事由によって、変動します。
- 「その他の変乱」とは、外国の武力行使、革命、政権奪取、内乱、武装反乱その他これらに類似の事変をいいます。
- 「治療」とは、医師*が必要であると認め、医師が行う治療をいいます。
- 「通院」とは、病院もしくは診療所に認め、または往診もしくは訪問診療により、治療*を受けることをいい、オンライン診療による診察を含みます。ただし、治療を伴わない、薬剤、診断書、医療器具等の受領等のためのものは含みません。なお、同月に複数回のオンライン診療を受けた場合で、公的医療保険制度における医科診療報酬点数表においてオンライン診療料を1回算定された場合は、最初の1回のみ通院したものとみなします。
- 「溺水」とは、水を吸引したことによる窒息をいいます。
- 「特定感染症」とは、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号)第6条に規定する次のいずれかの感染症をいいます。
 - ①一類感染症
 - ②二類感染症
 - ③三類感染症
 - ④指定感染症(*)
 - (*)指定感染症は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号)の規定に基づき一類感染症、二類感染症または三類感染症に適用される規定と同程度の規定を準用することが政令で定められている場合に限り、
- 「入院」とは、自宅等での治療*が困難なため、病院または診療所に入り、常に医師*の管理下において治療に専念することをいいます。
- 「配偶者」とは、婚姻の相手方をいい、婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情(内縁関係)にある方および戸籍上の性別が同一であるが婚姻関係と異なる程度の実質を備える状態にある方を含みます。
- 「賠償義務者」とは、被保険者に発生した被害に対して法律上の損害賠償責任を負担する者をいいます。

- 「発病」とは、医師が診断した発病をいいます。ただし、先天性異常については、医師が診断したことによりはじめて発見されることをいいます。
(*)人間ドックや定期健康診断での指摘を含みます。
- 「病氣」とは、被保険者が被ったケガ以外の身体の障害をいいます。なお、被保険者が病氣によって被ったケガについては、病氣として取り扱います。
- 「弁護士費用等」とは、損害賠償に関する争訟についての次のいずれかに該当する費用をいい、法律相談費用を除きます。ただし、保険金請求権者が、これらの費用を支出する際の手続き等を行うことによって得られなくなった収入は対象となりません。
 - ①あらかじめ引受保険会社の承認を得て保険金請求権者が委任した弁護士、司法書士または行政書士に対する弁護士報酬^(*)1)、司法書士報酬^(*)1)または行政書士報酬^(*)2)
 - ②訴訟費用、仲裁、和解もしくは調停に要した費用およびその他権利の保全もしくは行使に必要な手続きをするために要した費用
(*)1) 弁護士または司法書士に委任した事件の対象に基づき算定される着手金・手数料、および委任によって確保された利益に基づき算定される報酬金をいいます。
(*)2) 書類の作成および書類の提出手続きの代理の対価として算定される金額をいいます。
- 「法律相談」とは、次のいずれかに該当する行為をいい、口頭による鑑定、電話による相談またはこれらに付随する手紙等の書面の作成もしくは連絡等、一般的にその資格者の行う相談の範囲内と判断することが妥当であると認められる行為を含みます。なお、訴訟事件、非訟事件、行政庁に対する不服申立事件に関する行為^(*)、書面による鑑定、法律関係の調査、書類作成および法律事務の執行等は含まないものとします。
 - ① 弁護士が行う法律相談
 - ② 司法書士が行う相談^{*}
 - ③ 行政書士が行う相談^{*}
- (*) 審査請求、異議申立て、再審査請求等をいいます。
- 「法律相談費用」とは、法律相談^{*}の対価として弁護士、司法書士または行政書士に支払われるべき費用をいいます。なお、書面による鑑定料、着手金、報酬金、手数料、顧問料および日当は含みません。

- 「放射線治療」とは、次のいずれかに該当する診療行為をいいます。
 - ① 公的医療保険制度における医科診療報酬点数表に、放射線治療料の算定対象として列挙されている診療行為
 - ② 先進医療^{*}に該当する放射線照射または温熱療法による診療行為
(注) ①の診療行為には、歯科診療報酬点数表に放射線治療料の算定対象として列挙されている診療行為のうち、医科診療報酬点数表においても放射線治療料の算定対象として列挙されている診療行為を含みます。
- 「未婚」とは、これまでに婚姻歴がないことをいいます。
- 「免責期間」とは、支払いの対象とならない期間をいい、加入者証等記載の期間または日数をいいます。

適用される保険金の名称
・ 疾病入院時一時金

- 「免責金額」とは、支払保険金の計算にあたって損害または費用の額から差し引く金額で、自己負担となる金額をいいます。
- 「要介護状態(要介護3以上の状態)」とは、次のいずれかに該当する状態をいいます。
 - ① 公的介護保険制度^{*}の第1号被保険者(65才以上)
要介護3以上の要介護認定の効力が生じた状態
 - ② 公的介護保険制度の第2号被保険者(40才以上65才未満)
要介護3以上の要介護認定の効力が生じた状態。ただし、原因が公的介護保険制度の要介護認定等の対象となる特定疾病(初老期における認知症等の16疾病)に該当しない場合は、要介護3以上に相当する約款所定の寝たきりまたは認知症により介護が必要な状態とします。
 - ③ 公的介護保険制度の被保険者以外(40才未満)
要介護3以上に相当する約款所定の寝たきりまたは認知症により介護が必要な状態

団体総合生活補償保険(ゴルファープラン)

※印を付した用語については、重要事項のご説明P17の「※印の用語のご説明」をご覧ください。(各欄の初出時のみ※印を付しています。)

保険金の種類	保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額	保険金をお支払いしない主な場合
ゴルファー賠償責任保険金 ★ゴルファー賠償責任保険特約	保険期間中のゴルフの練習中、競技中または指導中の偶然な事故により、被保険者 ^(*) が他人の生命または身体を害したり、他人の物(ゴルフカート等他人から借りたり預かったりした物を除きます。)を壊したりして、法律上の損害賠償責任を負われた場合 (※) 本人をいいます。ただし、本人が責任無能力者である場合は、親権者・法定監督義務者・監督義務者に代わって責任無能力者を監督する方(責任無能力者の6親等内の血族、配偶者 [*] および3親等内の姻族に限ります。)を被保険者とします。	$\begin{aligned} & \text{被保険者が損害賠償請求権者に対して負担} \\ & \text{する法律上の損害賠償責任の額} + \text{判決によ} \\ & \text{り支払を命ぜられた訴訟費用または判決日ま} \\ & \text{での遅延損害金} - \text{被保険者が損害賠償請求} \\ & \text{権者に対して損害賠償金を支払ったことによ} \\ & \text{り代位取得するものがある場合は、その価額} \\ & - \text{免責金額}^*(0円) \end{aligned}$ (注1) 1回の事故につき、保険金額が限度となります。 (注2) 損害賠償金額等の決定については、あらかじめ引受保険会社の承認を必要とします。 (注3) 上記算式により計算した額とは別に、損害の発生または拡大を防止するために必要または有益であった費用、示談交渉費用、争訟費用等をお支払いします。 (注4) 日本国内において発生した事故については、被保険者のお申出により、示談交渉をお受けします。ただし、損害賠償請求権者が同意されない場合、被保険者が負担する法律上の損害賠償責任の額が保険金額を明らかに超える場合、正当な理由なく被保険者が協力を拒んだ場合、損害賠償請求に関する訴訟が日本国外の裁判所に提起された場合には示談交渉を行うことができませんのでご注意ください。 (注5) 補償内容が同様の保険契約(異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。)が他にありますが、補償の重複が発生することがあります。補償内容の差異や保険金額、加入の要否をご確認いただいたうえでご加入ください。	● 保険契約者、被保険者またはこれらの方の法定代理人の故意による損害 ● 他人から借りたり預かったりした物を壊したことによる損害賠償責任 ● 被保険者と同居する親族 [*] に対する損害賠償責任 ● 被保険者の使用人(ゴルフの補助者として使用するキャディを除きます。)が業務遂行中に被った身体の障害に起因する損害賠償責任 ● 第三者との損害賠償に関する約定によって加重された損害賠償責任 ● 心神喪失に起因する損害賠償責任 ● 被保険者または被保険者の指図による暴行、殴打による損害賠償責任 ● 自動車等 [*] の車両(ゴルフ場敷地内 [*] におけるゴルフカートを除きます。)、船舶、航空機、銃器の所有、使用または管理に起因する損害賠償責任 ● 戦争、その他の変乱 [*] 、暴動による損害 ● 地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波による損害 ● 核燃料物質等の放射性・爆発性等による損害 など

保険金の種類	保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額	保険金をお支払いしない主な場合
傷害死亡保険金 ★ゴルフー傷害補償特約	保険期間中のゴルフ場敷地内* におけるゴルフの練習中、競技中 または指導中の事故によるケガ* のため、事故の発生の日からその日 を含めて180日以内に死亡された場合	傷害死亡・後遺障害保険金額の全額 (注1) 傷害死亡保険金受取人(定めなかつた場合は被保険者の法定相続人)にお支払いします。 (注2) 既にお支払いした傷害後遺障害保険金がある場合は、傷害死亡・後遺障害保険金額から既にお支払いした傷害後遺障害保険金の額を差し引いた額をお支払いします。	<ul style="list-style-type: none"> ● 保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき方の故意または重大な過失によるケガ* ● 闘争行為、自殺行為または犯罪行為によるケガ ● 脳疾患、病気または心神喪失によるケガ ● 妊娠、出産、早産または流産によるケガ ● 引受保険会社が保険金を支払うべきケガの治療*以外の外科的手術その他の医療処置によるケガ ● 戦争、その他の変乱*、暴動によるケガ(テロ行為によるケガは、条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約により、保険金の支払対象となります。) ● 地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波によるケガ ● 核燃料物質等の放射性・爆発性等によるケガ ● 原因がいかなるときでも、頸(けい)部症候群*、腰痛その他の症状を訴えている場合に、それを裏付けるに足りる医学的他覚所見のないもの* ● 入浴中の溺水*(ただし、引受保険会社が保険金を支払うべきケガによって発生した場合には、保険金をお支払いします。) ● 原因がいかなるときでも、誤嚥(えん)*によって発生した肺炎 など
傷害後遺障害保険金 ★ゴルフー傷害補償特約	保険期間中のゴルフ場敷地内* におけるゴルフの練習中、競技中 または指導中の事故によるケガ* のため、事故の発生の日からその日 を含めて180日以内に後遺障害*が 発生した場合	傷害死亡・後遺障害保険金額 \times [約款所定の保険金支払割合(4%~100%)] (注1) 政府防災保険に準じた等級区分ごとに定められた保険金支払割合で、傷害後遺障害保険金をお支払いします。 (注2) 被保険者が事故の発生の日からその日を含めて180日を超えてなお治療*を要する状態にある場合は、引受保険会社は、事故の発生の日からその日を含めて181日目における医師*の診断に基づき後遺障害*の程度を認定して、傷害後遺障害保険金をお支払いします。 (注3) 同一の部位に後遺障害を加重された場合は、既にあった後遺障害に対する保険金支払割合を控除して、保険金をお支払いします。 (注4) 既にお支払いした傷害後遺障害保険金がある場合は、傷害死亡・後遺障害保険金額から既にお支払いした傷害後遺障害保険金の額を差し引いた額が限度となります。また、保険期間を通じてお支払いする傷害後遺障害保険金は、傷害死亡・後遺障害保険金額が限度となります。	
傷害入院保険金 ★ゴルフー傷害補償特約	保険期間中のゴルフ場敷地内* におけるゴルフの練習中、競技中 または指導中の事故によるケガ* のため、入院*された場合(以下、この 状態を「傷害入院」といいます。)	$\text{傷害入院保険金日額} \times \text{傷害入院の日数}$ (注1) 傷害入院の日数には以下の日数を含みません。 ・ 事故の発生の日からその日を含めて支払対象期間*(180日)が満了した日の翌日以降の傷害入院の日数 ・ 1事故に基づく傷害入院について、傷害入院保険金を支払うべき日数の合計が支払限度日数*(180日)に到達した日の翌日以降の傷害入院の日数 (注2) 傷害入院保険金をお支払いする期間中にさらに傷害入院保険金の「保険金をお支払いする場合」に該当するケガ*を被った場合は、傷害入院保険金を重ねてはお支払いしません。	(注) 細菌性食中毒およびウイルス性食中毒は、補償の対象にはなりません。
傷害手術保険金 ★ゴルフー傷害補償特約	保険期間中のゴルフ場敷地内* におけるゴルフの練習中、競技中 または指導中の事故によるケガ* の治療*のため、傷害入院保険金の支払 対象期間*(180日)中に手術*を受けられた場合	1回の手術*について、次の額をお支払いします。 ① 入院*中に受けた手術の場合 $\text{傷害入院保険金日額} \times 10$ ② ①以外の手術の場合 $\text{傷害入院保険金日額} \times 5$ (注) 次に該当する場合のお支払方法は下記のとおりとなります。 ① 同一の日に複数回の手術を受けた場合 傷害手術保険金の額の高いいずれか1つの手術についてのみ保険金をお支払いします。 ② 1回の手術を2日以上にわたって受けた場合 その手術の開始日についてのみ手術を受けたものとし、ます。 ③ 医科診療報酬点数表に手術料が1日につき算定されるものとして定められている手術に該当する場合 その手術の開始日についてのみ手術を受けたものとし、ます。 ④ 医科診療報酬点数表において、一連の治療*過程で複数回実施しても手術料が1回のみ算定されるものとして定められている区分番号に該当する手術について、被保険者が同一の区分番号に該当する手術を複数回受けた場合 その手術に対して傷害手術保険金が支払われることとなった直前の手術を受けた日からその日を含めて14日以内に受けた手術に対しては、保険金をお支払いしません。	
傷害通院保険金 ★ゴルフー傷害補償特約	保険期間中のゴルフ場敷地内* におけるゴルフの練習中、競技中 または指導中の事故によるケガ* のため、通院*された場合(以下、この状態を「 傷害通院」といいます。) (注) 通院されない場合で、骨折、脱臼、靱(じん)帯損傷等のケガを被った所定の部位*を固定するために医師*の指示によりギブス等*を常時装着したときは、その日数について傷害通院したものとみなします。	$\text{傷害通院保険金日額} \times \text{傷害通院の日数}$ (注1) 傷害通院の日数には以下の日数を含みません。 ・ 事故の発生の日からその日を含めて支払対象期間*(180日)が満了した日の翌日以降の傷害通院の日数 ・ 1事故に基づく傷害通院について、傷害通院保険金を支払うべき日数の合計が支払限度日数*(90日)に到達した日の翌日以降の傷害通院の日数 (注2) 傷害入院保険金をお支払いする期間中に傷害通院された場合は、傷害通院保険金をお支払いしません。 (注3) 傷害通院保険金をお支払いする期間中にさらに傷害通院保険金の「保険金をお支払いする場合」に該当するケガ*を被った場合は、傷害通院保険金を重ねてはお支払いしません。	

保険金の種類	保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額	保険金をお支払いしない主な場合
<p>ゴルフ用品 保険金 ★ゴルフ用品 補償特約</p>	<p>保険期間中のゴルフ場敷地内※におけるゴルフ用品(*)の盗難またはゴルフクラブの破損・曲損事故が起きた場合 (*)「ゴルフ用品」とは、被保険者が所有するゴルフクラブ、ゴルフボールその他のゴルフ用に設計された物および被服類ならびにそれらを収容するバッグ類をいいます。ただし、ゴルフ用に設計された物であっても時計、宝石、貴金属、財布、ハンドバッグ等の携行品は、含みません。 (注1) 自宅駐車場等、ゴルフ場敷地内以外の場所での盗難および破損・曲損事故に対しては保険金をお支払いしません。また、ゴルフボールの盗難については、他のゴルフ用品の盗難と同時に発生した場合に限り保険金をお支払いします。 (注2) ゴルフクラブ以外のゴルフ用品の破損・曲損に対しては保険金をお支払いしません。</p>	<p>被害物の損害額(被害物の修理費または時価額※のいずれか低い方が限度となります。)をお支払いします。 (注1) 保険金のお支払額は、保険期間を通じ、保険金額が限度となります。 (注2) 補償内容が同様の保険契約(異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。)が他にある場合、補償の重複が発生することがあります。補償内容の差異や保険金額、加入の可否をご確認いただいたうえでご加入ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき方の故意または重大な過失による損害 ● 被保険者と同居する親族※の故意による損害 ● ゴルフ用品の自然の消耗、劣化、性質による変色・さび・かび・腐敗・ひび割れ・はがれ・発酵・自然発熱、ねずみ食い、虫食い、欠陥等による損害 ● ゴルフ用品の平常の使用または管理において通常発生し得るすり傷、かき傷、塗装のはがれ落ち、ゆがみ、たわみ、へこみその他外観上の損傷、またはゴルフ用品の汚損であって、ゴルフ用品が有する機能の喪失または低下を伴わない損害(ただし、ゴルフ用品の盗難によって発生した損害の場合は、保険金をお支払いします。) ● ゴルフ用品の置き忘れまたは紛失による損害 ● 戦争、その他の変乱※、暴動による損害(テロ行為による損害は、条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約により、保険金の支払対象となります。) ● 地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波による損害 ● 核燃料物質等の放射性・爆発性等による損害 <p style="text-align: right;">など</p>
<p>ホールインワン・アルバトロス費用 保険金 ★ホールインワン・アルバトロス費用補償特約(団体総合生活補償保険用)</p>	<p>日本国内のゴルフ場※において被保険者が達成した次のホールインワン※またはアルバトロス※について、達成のお祝いとして実際にかかった費用をお支払いします。 ① 次のアおよびイの両方が目撃※したホールインワンまたはアルバトロス ア. 同伴競技者※ イ. 同伴競技者以外の第三者(同伴キャディ※等。具体的には次の方をいいます。)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>同伴キャディ、ゴルフ場使用人、ゴルフ場内の売店運営業者、ワン・オン・イベント業者、先行・後続のパーティのプレイヤー、公式競技参加者、公式競技の競技委員、ゴルフ場に入り出す造園業者・工事業者</p> <p style="text-align: right;">など</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(注)原則として、セルフプレー中に達成したホールインワンまたはアルバトロスは保険金支払いの対象にはなりません。セルフプレーでキャディを同伴していない場合は、同伴キャディの目撃証明に替えて前記の目撃証明がある場合に限り保険金をお支払いします。</p> </div> <p>② 達成証明資料(*)によりその達成を客観的に証明できるホールインワンまたはアルバトロス なお、対象となるホールインワンまたはアルバトロスは、 ● アマチュアゴルファーが、ゴルフ場で、パー35以上の9ホールを正規にラウンドし、 ● 1名以上の同伴競技者と共に(公式競技の場合は同伴競技者は不要です。)プレー中のホールインワンまたはアルバトロスで、 ● その達成および目撃証明を引受保険会社所定のホールインワン・アルバトロス証明書(*)により証明できるものに限ります。 (*)1 「達成証明資料」とは、ビデオ映像等によりホールインワンまたはアルバトロスの達成を客観的に確認できる記録媒体に記録された映像等資料をいいます。 (*)2 「引受保険会社所定のホールインワン・アルバトロス証明書」には次のすべての方の署名または記名・押印が必要です。 (a) 同伴競技者 (b) 同伴競技者以外のホールインワンまたはアルバトロスの達成を目撃した第三者(達成証明資料がある場合は不要です) (c) ゴルフ場の支配人、責任者またはその業務を代行もしくは行使する権限を有する者 (注) この特約は、ゴルフの競技または指導を職業としている方が被保険者となる場合にはセットすることができません。</p>	<p>次の費用のうち実際に支出した額</p> <p>ア. 贈呈用記念品購入費用(*) イ. 祝賀会に要する費用 ウ. ゴルフ場※に対する記念植樹費用 エ. 同伴キャディ※に対する祝儀 オ. その他慣習として負担することが適当な社会貢献、自然保護(*)またはゴルフ競技発展に役立つ各種費用、ゴルフ場の使用人に対する謝礼費用、記念植樹を認めないゴルフ場においてホールインワン※またはアルバトロス※を記念して作成するモニュメント等の費用(ただし、保険金額の10%が限度となります。)</p> <p>(*)1 贈呈用記念品には、貨幣、紙幣、有価証券、商品券等の物品切手、プリペイドカードは含まれません。ただし、被保険者が達成を記念して特に作成したプリペイドカードは贈呈用記念品に含まれます。 (*)2 自然保護には、公益社団法人ゴルフ緑化促進会への寄付をご希望される場合などを含みます。 (注1) 保険金のお支払額は、1回のホールインワンまたはアルバトロスごとにホールインワン・アルバトロス費用保険金額が限度となります。 (注2) ホールインワン・アルバトロス費用を補償する保険を複数(引受保険会社、他の保険会社を問いません。)ご加入の場合、ホールインワン・アルバトロス費用保険金のお支払額は単純に合算されず、最も高い保険金額が限度となります。 (注3) 補償内容が同様の保険契約(異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。)が他にある場合、補償の重複が発生することがあります。補償内容の差異や保険金額、加入の可否をご確認いただいたうえでご加入ください。 (注4) 保険金のご請求には、引受保険会社所定のホールインワン・アルバトロス証明書および各種費用の支払いを証明する領収書等の提出が必要となります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本国外で達成したホールインワン※またはアルバトロス※ ● ゴルフ場※の経営者が、その経営するゴルフ場で達成したホールインワンまたはアルバトロス ● ゴルフ場の使用人(*)が実際に働いているゴルフ場で達成したホールインワンまたはアルバトロス <p style="text-align: right;">など</p> <p>(*) 「ゴルフ場の使用人」には、臨時雇いを含みます。</p>

【特約の説明】

セットする特約	特約の説明
条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約(自動セット)	保険金をお支払いしない場合のうち「戦争、その他の変乱*、暴動」については、テロ行為はお支払いの対象となります。テロ行為とは、政治的、社会的もしくは宗教・思想的な主義・主張を有する団体・個人またはこれと連帯するものがその主義・主張に関して行う暴力的行動をいいます。

【※印の用語のご説明】

- 「アルバトロス」とは、ホールインワン*以外で、各ホールの基準打数よりも3つ少ない打数でカップインすることをいいます。
- 「医学的他覚所見のないもの」とは、被保険者が自覚症状を訴えている場合であっても、脳波所見、理学的検査、神経学的検査、臨床検査、画像検査、眼科・耳鼻科検査等によりその根拠を客観的に証明することができないものをいいます。
- 「医師」とは、被保険者以外の医師をいいます。
- 「ギブス等」とは、ギブス、ギブスシーネ、ギブスシャーレ、シーネその他これらに類するもの(硬性コルセット、創外固定器、その他医学上ギブスと同程度の安静を保つために用いるものをいい、バストバンド、軟性コルセット、サポーター、頸(けい)椎カラー、厚紙副子、ニーブレース等は含まれません。)をいいます。
- 「頸(けい)部症候群」とは、いわゆる「むちうち症」をいいます。
- 「ケガ」とは、急激かつ偶然な外来の事故によって身体に被った傷害をいいます。
「急激」とは、「事故が突発的で、傷害発生までの過程において時間的間隔がないこと」を意味します。
「偶然」とは、「保険事故の原因または結果の発生が被保険者にとって予知できない、被保険者の意思に基づかないこと」を意味します。
「外来」とは、「保険事故の原因が被保険者の身体外部からの作用によること、身体に内在する疾病要因の作用でないこと」を意味します。
「傷害」には、身体外部から有毒ガスまたは有毒物質を偶然かつ一時に吸入、吸収または摂取した場合に急激に発生する中毒症状(*)を含み、次のいずれかに該当するものを含みません。
①細菌性食中毒
②ウイルス性食中毒
(*)継続的に吸入、吸収または摂取した結果発生する中毒症状を除きます。
- 「ケガを被った所定の部位」とは、次のいずれかの部位(指、顔面等は含まれません。)をいいます。
・長管骨(上腕骨、橈骨、尺骨、大腿骨、脛骨および腓骨をいいます。以下同様とします。)または脊柱
・長管骨に接続する上肢または下肢の3大関節部分(中手骨、中足骨およびそれらより指先側は含まれません。)。ただし、長管骨を含めギブス等*の固定具を装着した場合に限りです。
・肋骨・胸骨(鎖骨、肩甲骨は含まれません。)。ただし、体幹部にギブス等の固定具を装着した場合に限りです。
- 「後遺障害」とは、治療*の効果が医学上期待できない状態であって、被保険者の身体に残された症状が将来においても回復できない機能の重大な障害に至ったものまたは身体の一部の欠損をいいます。ただし、被保険者が症状を訴えている場合であっても、それを裏付けるに足る医学的他覚所見のないもの*を除きます。
- 「誤嚥(えん)」とは、食物、吐物、唾液等が誤って気管内に入ることをいいます。
- 「ゴルフ場」とは、ゴルフの練習または競技を行うための有料の施設(ゴルフ練習場を含みます。)をいいます。
ホールインワン・アルバトロス費用補償特約(団体総合生活補償保険用)においては、日本国内に所在するゴルフ競技を行うための有料の施設で、9ホール以上を有するものをいいます。
- 「ゴルフ場敷地内」とは、ゴルフ場*として区画された敷地内をいい、駐車場および更衣室等の付属施設を含みます。ただし、宿泊のために使用される部分を除きます。
- 「再調達価額」とは、損害が発生した時の発生した場所における保険の対象と同一の構造、質、用途、規模、型、能力のものを再取得するのに必要な金額をいいます。なお、再取得に必要な額は、被害物を購入したときの金額より低い金額となる場合があります。
- 「時価額」とは、損害が発生した時の発生した場所における保険の対象の価額であって、再調達価額*から使用による消耗分を差し引いた金額をいいます。
- 「自動車等」とは、自動車または原動機付自転車をいいます。
- 「支払限度日数」とは、支払対象期間*内において、支払いの限度となる日数をいい、それぞれについて、加入者証等記載の期間または日数とします。

- 「支払対象期間」とは、支払いの対象となる期間をいい、それぞれについて、加入者証等記載の期間または日数をいいます。なお、入院*が中断している期間がある場合には、その期間を含む継続した期間をいいます。

適用される保険金の名称
・傷害入院保険金 ・傷害通院保険金

- 「手術」とは、次のいずれかに該当する診療行為をいいます。
①公的医療保険制度における医科診療報酬点数表に、手術料の算定対象として列挙されている診療行為(*1)。ただし、創傷処理、皮膚切開術、デブリードマン、骨または関節の非観血的または徒手的な整復術、整復固定術および授動術ならびに抜歯手術を除きます。
②先進医療*に該当する診療行為(*2)
(*1)①の診療行為には、歯科診療報酬点数表に手術料の算定対象として列挙されている診療行為のうち、医科診療報酬点数表においても手術料の算定対象として列挙されているものを含みます。
(*2)②の診療行為は、治療*を直接の目的として、メス等の器具を用いて患部または必要部位に切除、摘出等の処置を施すものに限りです。ただし、診断、検査等を直接の目的とした診療行為ならびに注射、点滴、全身的薬剤投与、局所的薬剤投与、放射線照射および温熱療法による診療行為を除きます。
- 「親族」とは、6親等内の血族、配偶者*および3親等内の姻族をいいます。
- 「先進医療」とは、手術*を受けた時点において、厚生労働省告示に基づき定められている評価療養のうち、別に厚生労働大臣が定めるもの(先進医療ごとに別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合する病院または診療所において行われるものに限りです。)をいいます。なお、先進医療の対象となる医療技術、医療機関および適応症等は、一般の保険診療への導入や承認取消等の事由によって、変動します。
- 「その他の変乱」とは、外国の武力行使、革命、政権奪取、内乱、武装反乱その他これらに類似の事変をいいます。
- 「治療」とは、医師*が必要であると認め、医師が行う治療をいいます。
- 「通院」とは、病院もしくは診療所に通い、または往診もしくは訪問診療により、治療*を受けることをいい、オンライン診療による診察を含みます。ただし、治療を伴わない、薬剤、診断書、医療器具等の受領等のためのものは含みません。なお、同月に複数回のオンライン診療を受けた場合で、公的医療保険制度における医科診療報酬点数表においてオンライン診療料を1回算定された場合は、最初の1回のみ通院したものとみなします。
- 「溺水」とは、水を吸引したことによる窒息をいいます。
- 「同伴キャディ」とは、被保険者がホールインワン*またはアルバトロス*を達成したゴルフ場*に所属し、被保険者のゴルフ競技の補助者としてホールインワンまたはアルバトロスを達成した時に使用していたキャディをいいます。
- 「同伴競技者」とは、被保険者がホールインワン*またはアルバトロス*を達成した時に、被保険者と同一組で競技していた方をいいます。
- 「入院」とは、自宅等での治療*が困難なため、病院または診療所に入り、常に医師*の管理下において治療に専念することをいいます。
- 「配偶者」とは、婚姻の相手方をいい、婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情(内縁関係)にある方および戸籍上の性別が同一であるが婚姻関係と異なる程度の実質を備える状態にある方を含みます。
- 「ホールインワン」とは、各ホールの第1打が直接カップインすることをいいます。
- 「免責金額」とは、支払保険金の計算にあたって損害の額から差し引く金額で、自己負担となる金額をいいます。
- 「目撃」とは、被保険者が打ったボールがホールにカップインしたことを、その場で確認することをいいます。例えば、達成後に被保険者から呼ばれてカップインしたボールを確認した場合は「目撃」に該当しません。

適用される保険金の名称
・傷害入院保険金 ・傷害通院保険金

ご加入時にご注意いただきたいこと

- この保険は京王電鉄株式会社が保険契約者となる団体契約です。被保険者が保険料を負担される場合、保険契約者が保険料をとりまとめのうえ引受保険会社に払い込みます。なお、保険契約者が引受保険会社に保険料を払い込まなかった場合には、保険契約が解除され保険金が支払われないことがあります。また、保険契約者または被保険者がご加入の取消等をされた場合、引受保険会社は返還保険料を保険契約者に返還します。
 - お申込人となれる方は京王電鉄株式会社とそのグループ各社をご退職された方に限ります。
 - この保険で被保険者(補償の対象者)本人^(*)となれる方の範囲は次のとおりです。
 - ・被保険者本人となれる方(本人型)
京王電鉄株式会社とそのグループ各社をご退職された方およびその家族(配偶者、子ども、両親、兄弟姉妹および本人と同居している親族ならびに家事使用人をいいます。)です。
 - ・被保険者本人となれる方(夫婦型・家族型)
京王電鉄株式会社とそのグループ各社をご退職された方およびその配偶者、子ども、両親、兄弟姉妹です。
- (*)加入申込票の被保険者ご本人欄に記載の方をいいます。

<自動継続の取扱いについて>

- 前年からご加入の皆さまについては、ご加入内容の変更や継続停止のご連絡がない場合、今回の募集においては前年ご加入の内容に応じたセット・口数での自動継続加入の取扱いとさせていただきます。(年齢の進行により保険料表の年齢区分が変わる場合は、ご継続時のご年齢による保険料となりますのでご了承ください。)
- 日常生活賠償特約等をセットされる場合は、補償内容が同様の保険契約(団体総合生活補償保険契約以外の保険契約にセットされた特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。)が他にあるときは、補償が重複することがあります。補償が重複すると、補償対象となる事故による損害については、いずれの保険契約からでも補償されますが、損害の額等によってはいずれか一方の保険契約からは保険金が支払われない場合があり、保険料が無駄になることがあります。補償内容の差異や保険金額等を確認し、特約の要否を判断のうえ、ご加入ください。
- この保険の保険期間は1年間となります。保険金請求状況等によっては、保険期間終了後、継続加入できないことや補償内容を変更させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 保険金請求状況等とは、加入者間の公平性を逸脱する極端な保険金支払いまたはその請求があった場合、飲酒運転等の法令違反や事実を偽った保険金請求が行われた場合等をいいます。
- 引受保険会社が、普通保険約款・特約、保険契約引受に関する制度または保険料率等を改定した場合、改定日以降の日を始期日とする継続契約につきましては、その始期日における普通保険約款・特約、保険契約引受に関する制度または保険料率等が適用されます。そのため、継続契約の補償等の内容や保険料が継続前の保険契約と異なること、または継続加入できないことがあります。あらかじめご了承ください。
- ご加入の内容は、団体総合生活補償保険普通保険約款および特約によって定まります。詳細は普通保険約款および特約をご確認ください。また、ご不明な点については、代理店・扱者または引受保険会社までお問い合わせください。
- お客さまのご加入内容が登録されることがあります。損害保険制度が健全に運営され、死亡保険金、後遺障害保険金、入院保険金、通院保険金等のお支払いが正しく確実に行われるよう、これらの保険金のある保険契約について、一般社団法人 日本損害保険協会が運営する契約内容登録制度への登録を実施しております。

<経営破綻した場合等の保険契約者の保護について>

- ・引受保険会社の経営が破綻した場合など保険会社の業務または財産の状況の変化によって、ご加入時にお約束した保険金・解約返れい金等のお支払いが一定期間凍結されたり、金額が削減されたりすることがあります。

【団体総合生活補償保険(MS&AD型)】

- 損害保険会社が経営破綻した場合に保険契約者等を保護する目的で、「損害保険契約者保護機構」があり、引受保険会社も加入しています。この保険は「損害保険契約者保護機構」の補償対象であり、損害保険会社が破綻した場合でも、次のとおり補償されます。

【病気の補償】

保険金、解約返れい金等は90%まで補償されます。ただし、破綻前に発生した事故による保険金は100%補償されます。

【ケガの補償】

保険金、解約返れい金等は80%まで補償されます。ただし、破綻前に発生した事故および破綻時から3か月までに発生した事故による保険金は100%補償されます。

【上記以外の補償】

保険金、解約返れい金等は補償されます。補償割合については、引受保険会社または代理店・扱者までお問い合わせください。

【団体総合生活補償保険(ゴルフープラン)】

- ・この保険は、保険契約者が個人、小規模法人(破綻時に常時使用する従業員等の数が20人以下の法人をいいます。)またはマンション管理組合である場合に限り、「損害保険契約者保護機構」の補償対象となります(保険契約者が個人、小規模法人、マンション管理組合(以下、「個人等」といいます。))以外の者である保険契約であっても、その被保険者である個人等がその保険料を実質的に負担すべきこととされているもののうち、その被保険者にかかわる部分については、下記補償の対象となります。)
- ・損害保険会社が経営破綻した場合に保険契約者等を保護する目的で、「損害保険契約者保護機構」があり、引受保険会社も加入しています。この保険は「損害保険契約者保護機構」の補償対象であり、損害保険会社が破綻した場合でも、次のとおり補償されます。保険金、解約返れい金等は80%まで補償されます。ただし、破綻前に発生した事故および破綻時から3か月までに発生した事故による保険金は100%補償されます。

<保険金をお支払いする場合に該当したときの引受保険会社へのご連絡>

- 保険金をお支払いする場合に該当したときは、代理店・扱者または引受保険会社までご連絡ください。保険金請求の手続につきまして詳しくご案内いたします。なお、保険金をお支払いする場合に該当した日から30日以内にご連絡がない場合、もしくは知っている事実を告げなかった場合、または事実と異なることを告げた場合は、引受保険会社はそれによって被った損害の額を差し引いて保険金をお支払いすることがあります。

<保険金支払いの履行期>

- 引受保険会社は、保険金請求に必要な書類^(*)をご提出いただいてからその日を含めて30日以内に、保険金をお支払いするために必要な事項の確認^(**)を終えて保険金をお支払いします。^(***)
- (*) 保険金請求に必要な書類は、「保険金のご請求時にご提出いただく書類」をご参照ください。代理請求人が保険金を請求される場合は、被保険者が保険金を請求できない事情を示す書類をご提出いただきます。
- (**) 保険金をお支払いする事由の有無、保険金をお支払いしない事由の有無、保険金の額の算出、保険契約の効力の有無、その他引受保険会社がお支払いすべき保険金の額の確定のために確認が必要な事項をいいます。
- (***) 必要な事項の確認を行うために、警察などの公の機関の捜査結果の照会、医療機関など専門機関の診断結果の照会、災害救助法が適用された被災地における調査、日本国外における調査等が必要な場合には、普通保険約款・特約に定める日数までに保険金をお支払いします。この場合、引受保険会社は確認が必要な事項およびその確認を終える時期を被保険者または保険金を受け取るべき方に通知します。

<保険金のご請求時にご提出いただく書類>

- 被保険者または保険金を受け取るべき方(これらの方の代理人を含みます。)が保険金の請求を行う場合は、事故受付後に引受保険会社が求める書類をご提出いただきます。ご不明な点については、代理店・扱者または引受保険会社までお問い合わせください。

【ご提出いただく書類】

以下の書類のうち引受保険会社が求めるもの

- ・引受保険会社所定の保険金請求書
- ・引受保険会社所定の同意書
- ・事故原因・損害状況に関する資料
- ・被保険者またはその代理人の保険金請求であることを確認するための資料(住民票、健康保険証(写) 等)
- ・引受保険会社所定の診断書
- ・診療状況申告書
- ・公の機関(やむを得ない場合は第三者)等の事故証明書
- ・死亡診断書
- ・他から支払われる損害賠償金・保険金、給付金等の額を確認する書類
- ・損害賠償の額および損害賠償請求権者を確認する書類
- ・引受保険会社所定の事故内容報告書、損害または費用の発生を確認する書類およびその他これらに類する書類

事故の内容、損害額等に応じて上記の書類以外の書類をご提出いただくようお願いすることがあります。

<代理請求人について>

- 高度障害状態となり、意思能力を喪失した場合など、被保険者に保険金を請求できない事情があり、かつ、保険金を受け取るべき被保険者の代理人がない場合には、引受保険会社の承認を得て、その被保険者と同居または生計を共にする配偶者^(*)等(以下「代理請求人」といいます。詳細は(注)をご参照ください。)が保険金を請求できることがあります。詳細は代理店・扱者または引受保険会社までお問い合わせください。また、本内容については、代理請求人となられる方にも必ずご説明ください。

(注)①「被保険者と同居または生計を共にする配偶者^(*)」

②上記①に該当する方がいないまたは上記①に該当する方に保険金を請求できない事情がある場合

「被保険者と同居または生計を共にする3親等内の親族」

③上記①、②に該当する方がいないまたは上記①、②に該当する方に保険金を請求できない事情がある場合

「上記①以外の配偶者^(*)」または「上記②以外の3親等内の親族」

(*)法律上の配偶者に限ります。

- 法律上の賠償責任などを負担することによって被った損害を補償する特約の対象となる賠償事故の示談交渉については、事前に引受保険会社へご相談ください。なお、あらかじめ引受保険会社の承認を得ないで損害賠償責任を認めたり、賠償金などを支払われた場合には、保険金をお支払いできないことなどがありますのでご注意ください。

<示談交渉サービス>

日本国内において発生した、日常生活賠償特約・ゴルフ賠償責任保険特約の対象となる賠償事故について被保険者のお申出があり、かつ被保険者の同意が得られれば、引受保険会社は原則として被保険者のために示談交渉をお引受けいたします。また、日本国内において発生した賠償事故で保険金が支払われる場合、被害者が保険金相当の損害賠償額を引受保険会社へ直接請求することもできます。

<示談交渉を行うことができない主な場合>

- 1回の事故につき、被保険者が負担する法律上の損害賠償責任の額が日常生活賠償特約・ゴルフ賠償責任保険特約で定める保険金額を明らかに超える場合
- 相手の方が引受保険会社との交渉に同意されない場合
- 相手の方との交渉に際し、正当な理由なく被保険者が引受保険会社への協力を拒んだ場合
- 被保険者に対する損害賠償請求に関する訴訟が日本国外の裁判所に提起された場合

- 柔道整復師(接骨院、整骨院等)による施術の場合、通院日数の認定にあたっては、傷害の部位や程度に応じ、医師の治療に準じて認定し、お支払いします。また、鍼(はり)・灸(きゅう)・マッサージなどの医療類似行為については、医師の指示に基づいて行われた施術のみ、お支払いの対象となります。

- ご加入いただいた後にお届けする加入者証は、内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

<税法上の取扱い>(2023年7月現在)

【団体総合生活補償保険(MS&AD型)】

- 払い込んでいただく保険料のうち、疾病保険金部分の保険料等は生命保険料控除のうち介護医療保険料控除の対象となり、所得税について最高40,000円まで、住民税について最高28,000円までが毎年の課税対象額から控除されます。

(注1)傷害保険金部分の保険料等は、保険料控除の対象となりません。特に、「ケガのみ」のセットの場合、保険料控除の対象となる保険料はありませんので、ご注意ください。

(注2)なお、この取扱いは今後の税制改正によっては変更となる場合がありますので、ご注意ください。

- この保険契約は共同保険に関する特約に基づく共同保険契約です。それぞれの引受保険会社は、引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。また、三井住友海上は、幹事保険会社として他の引受保険会社の業務および事務の代理・代行を行います。

引受保険会社は次のとおりです。

三井住友海上火災保険株式会社(幹事会社)

損害保険ジャパン株式会社

東京海上日動火災保険株式会社

あいおいニッセイ同和損害保険会社

(なお、それぞれの会社の引受割合は決定しだいでご案内します)

- 前年度ご加入いただいた被保険者の人数に従って割引率が適用されます。

この保険契約に関する個人情報について、引受保険会社が次の取扱いを行うことに同意のうえお申し込みください。

【個人情報の取扱いについて】

この保険契約に関する個人情報は、引受保険会社がこの保険引受の審査および履行のために利用するほか、引受保険会社および引受保険会社のグループのそれぞれの会社(海外にあるものを含む)が、この保険契約以外の商品・サービスのご案内・ご提供や保険引受の審査および保険契約の履行のために利用したり、提携先・委託先等の商品・サービスのご案内のために利用することがあります。

ただし、保健医療等のセンシティブ情報(要配慮個人情報を含む)の利用目的は、法令等に従い、業務の適切な運営の確保その他必要と認められる範囲に限定します。

また、この保険契約に関する個人情報の利用目的の達成に必要な範囲内で、業務委託先(保険代理店を含む)、保険仲立人、医療機関、保険金の請求・支払いに関する関係先等(いずれも海外にあるものを含む)に提供することがあります。

詳細は、三井住友海上ホームページ(<https://www.ms-ins.com>)または引受保険会社のホームページをご覧ください。

ご加入内容確認事項

ご加入手続きに際し、以下の事項を十分にご確認ください。

本確認事項は、万一の事故の際に安心して保険をご利用いただけるよう、ご提案いたしました保険商品がお客さまのご希望に合致した内容であること、ご加入いただくうえで特に重要な事項を正しくご記入いただいていることを確認させていただくためのものです。

お手数ですが、以下の各質問項目について、再度ご確認くださいませようようお願い申し上げます。

なお、ご加入にあたりご不明な点や疑問点がございましたら、パンフレット記載の代理店・扱者または引受保険会社までお問い合わせください。

1. 保険商品が以下の点でお客さまのご希望に合致した内容となっていることをパンフレット・重要事項のご説明でご確認ください。

万一、ご希望に合致しない場合は、ご加入内容を再度ご確認ください。

「重要事項のご説明」に記載の、補償が重複する可能性のある特約等については、ご加入の要否をご確認ください。

- | | |
|---|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 保険金のお支払事由(主契約、セットしている特約を含みます。) | <input type="checkbox"/> 保険金額(ご契約金額) |
| <input type="checkbox"/> 保険期間(保険のご契約期間) | <input type="checkbox"/> 保険料・保険料払込方法 |

2. 加入申込票への記載・記入の漏れ・誤りがないかご確認ください。

以下の項目は、正しい保険料の算出や適切な保険金のお支払い等に必要な項目です。

内容をよくご確認ください、加入申込票に正しくご記入いただきますようお願い申し上げます。

記載・記入の漏れ・誤りがある場合には、訂正あるいは追記をお願いいたします。

① 皆さまがご確認ください。

- ・ 加入申込票の「生年月日」または「年令」欄、「性別」欄は正しくご記入いただいていますか？
「年令」欄は保険始期日時点での満年令をご記入ください。
*ご記入いただいた年令と生年月日から算出した年令が異なる場合には、生年月日から算出したものを年令として取り扱うことがあります。
- または、事前に打ち出している内容に誤りがないことをご確認いただきましたか？
- ・ 加入申込票の「他の保険契約等」欄は正しくご記入されていますか？

*ご加入いただく保険商品の加入申込票によっては、上記の欄がない場合があります。上記のうち欄がないものについてのご確認は不要となります。

② 以下に該当する内容をお申込みの方のみご確認ください。

- ◆「複数の方を保険の対象にするタイプをお申込みの場合のみ」ご確認ください。
被保険者(補償の対象となる方)の範囲はご希望通りとなっていますか？
- ◆「健康に関する告知をしていただく契約のタイプをお申込みの場合のみ」ご確認ください。
被保険者(補償の対象となる方)の健康状況を「健康状況告知書質問事項回答欄」に正しくご記入いただいていますか？

3. 次のいずれかに該当する場合には「加入申込票」のご提出が必要ですのでご確認ください。

- ・ この保険制度に新規加入される場合
- ・ 既にご加入の内容を変更してご継続される場合(被保険者の変更、補償内容の変更 など)
- ・ 既にご加入されているがご継続されない場合

健康状況告知書ご記入のご案内（必ずお読みください）

団体総合生活補償保険(MS&AD型)

以下の注意点をお読みいただき、加入申込票の「健康状況告知書質問事項回答欄」にご記入ください。

○継続加入の場合で、保険責任を加重(*)することなくご継続いただく場合には、あらためて健康に関する告知をいただく必要はありません。

(*)保険金額の増額、支払限度日数の延長等、疾病に関する補償を拡大することをいいます。

1. 健康に関する告知の重要性

健康状況について告知いただく内容は、引受保険会社が公平な引受判断を行うための重要な事項です。必ず被保険者（補償の対象者）ご自身が、ありのままを正確に漏れなくご回答ください。

(注)告知時における年齢が満15才未満の場合には、親権者のうちのいずれかの方がご回答ください。

特約の名称	特約固有の取扱い
親介護一時金支払特約 親介護	<ul style="list-style-type: none"> 基本補償部分の被保険者（子）が特約被保険者（親）を代理してご回答（ご記入・ご署名）ください。告知にあたっては、特約被保険者（親）について、ご存知の内容に基づきご回答いただくのではなく、のご案内および「健康状況告知書質問事項」を特約被保険者（親）にご説明のうえ、質問事項に対するご回答を記入ください。 特約被保険者への確認方法についても「確認方法」欄にご記入ください。

2. 正しく告知されなかった場合のお取扱い

「健康状況告知書質問事項」について、事実を告知されなかったり、事実と違うことを告知された場合には、ご加入内容が解除または取消しとなり、保険金をお支払いできないことがあります。

3. 書面によるご回答のお願い

- ・代理店・扱者には告知受領権があり、代理店・扱者に対して告知いただいた事項は、引受保険会社に告知いただいたものとなります。
- ・代理店・扱者への口頭によるご回答では、健康状況を告知いただいたことになりません。必ず加入申込票の「健康状況告知書質問事項回答欄」へのご記入にてご回答いただきますようお願いいたします。

4. 健康に関する告知が必要な方

- ・「疾病補償」または「本人介護補償」に新たにお申込みいただく方、および継続して加入される場合で保険金額の増額など補償内容を拡大するご加入内容のご変更を伴う方は、健康に関する告知をいただく必要があります。
- ・健康に関する告知をされる方におかれましては、ご加入後の補償内容に応じた質問事項にご回答いただきますようお願いいたします。ご回答いただく質問事項は以下のとおりです。

ご加入後の補償内容（○：あり、×：なし）		回答が必要な質問事項（○：回答要、×：回答不要）		
疾病補償	本人介護補償	質問1	質問2	質問3
○	○	○	○	○
○	×	○	○	×
×	×	健康に関する告知は不要です		

- ・「親介護補償」に新たにお申込みいただく方、補償内容を拡大するご加入内容のご変更を行う方は、別途**親介護一時金・休業専用**の告知をいただく必要があります。
- ・「健康状況告知書質問事項」のご回答に「はい」がある場合、以下の疾病に関する補償にはご加入いただけません。

項目名	特約の名称
疾病補償	疾病補償特約
	がん診断保険金補償（待機期間不設定型）特約
	三大疾病診断保険金補償（待機期間不設定型）特約
	疾病入院時一時金補償特約
	先進医療・拡大治験・患者申出療養費用保険金補償特約
	抗がん剤治療特約
本人介護補償	介護一時金支払特約 本人介護
親介護補償	親介護一時金支払特約 親介護

5. 現在のご契約を解約・減額され、新たにご加入を検討されているお客さまへ

※詳しくは重要事項のご説明（注意喚起情報）をご覧ください。

現在のご契約を解約・減額され、新たにご加入される場合も、新規にご加入される場合と同様に「健康状況告知書質問事項」にご回答いただく必要があります。現在の健康状況等によっては、ご加入いただけないことがあります。また、正しく告知をされなかった場合にはご加入内容が解除または取消しとなる場合があります。

6. 保険期間の開始前の発病等のお取扱い

特約の名称	お取扱い
疾病補償特約	ご加入をお引受けした場合でも、ご加入時 ^(*) より前に発病した病気 ^(*) については保険金をお支払いしません。このお取扱いは、健康に関する告知に誤りがない場合でも例外ではありませんので、ご注意ください。
疾病入院時一時金補償特約	なお、継続加入である場合で、病気を発病した時が、疾病入院を開始された日 ^(*) からご加入の継続する期間を遡及して1年以前であるときは保険金をお支払いすることがあります。
先進医療・拡大治験・患者申出療養費用保険金補償特約	ご加入をお引受けした場合でも、ご加入時 ^(*) より前に被ったケガまたは発病した病気 ^(*) については保険金をお支払いしません。このお取扱いは、健康に関する告知に誤りがない場合でも例外ではありませんので、ご注意ください。
	なお、継続加入である場合で、ケガの原因となった事故発生の時または病気を発病した時が、先進医療、拡大治験または患者申出療養を開始された日からご加入の継続する期間を遡及して1年以前であるときは保険金をお支払いすることがあります。
がん診断保険金補償（待機期間不設定型）特約	ご加入をお引受けした場合でも、ご加入時 ^(*) より前に発病したがん（悪性新生物） ^(*) ^(*) については保険金をお支払いしません。このお取扱いは、健康に関する告知に誤りがない場合でも例外ではありませんので、ご注意ください。
	なお、継続加入である場合で、がんを発病した時が、医師によってがんと診断された日からご加入の継続する期間を遡及して1年以前であるときは保険金をお支払いすることがあります。

次ページへ続く

特約の名称	お取扱い
抗がん剤治療特約	ご加入をお引受けした場合でも、ご加入時 ^(※1) より前に発病したがん(悪性新生物) ^(※4) については保険金をお支払いしません。このお取扱いは、健康に関する告知に誤りがない場合でも例外ではありませんので、ご注意ください。 なお、継続加入である場合で、がんを発病した時が、そのがんによる抗がん剤治療を開始した日からご加入の継続する期間を遡及して1年以前であるときは保険金をお支払いすることがあります。
三大疾病診断保険金補償(待機期間不設定型)特約	ご加入をお引受けした場合でも、ご加入時 ^(※1) より前に発病した三大疾病 ^(※6) については保険金をお支払いしません。このお取扱いは、健康に関する告知に誤りがない場合でも例外ではありませんので、ご注意ください。 なお、継続加入である場合で、三大疾病を発病した時が、医師によってがんと診断された日または急性心筋梗塞もしくは脳卒中による入院を開始された日からご加入の継続する期間を遡及して1年以前であるときは保険金をお支払いすることがあります。
介護一時金支払特約 本人介護	ご加入をお引受けした場合でも、ご加入時 ^(※1) より前に要介護状態の原因となった事由が発生していた場合は、保険金をお支払いしません。このお取扱いは、健康に関する告知に誤りがない場合でも例外ではありませんので、ご注意ください。
親介護一時金支払特約 親介護	なお、継続加入である場合で、要介護状態の原因となった事由が発生した時が、その事由による要介護状態が開始した日からご加入の継続する期間を遡及して1年以前であるときは保険金をお支払いすることがあります。

- (※1) 新規にご加入される場合は「この保険契約のご加入時」、同一の保険金を補償する加入タイプを継続加入される場合は、「継続加入してきた最初のその保険金を補償する加入タイプのご加入時」をいいます。
- (※2) その病気と医学上因果関係がある病気を含みます。発病日は医師の診断(人間ドックや定期健康診断での指摘を含みます。)によります。
- (※3) 疾病入院保険金の支払いを伴わない疾病手術保険金または疾病放射線治療保険金の場合は、それぞれ「手術の開始時」、「放射線治療の開始時」に疾病入院が開始したものとみなします。
- (※4) 転移したがんを含みます。転移したがんとは、原発巣(最初にがんが発生した場所をいいます。)が同じであると診断されたがんをいい、そのがんと同じ部位に再発したがんを含みます。
- (※5) そのがんと医学上因果関係がある病気を含みます。発病日は医師の診断(人間ドックや定期健康診断での指摘を含みます。)によります。
- (※6) その三大疾病と医学上因果関係がある病気を含みます。発病日は医師の診断(人間ドックや定期健康診断での指摘を含みます。)によります。

7. その他ご留意いただく点

- ご加入のお申込後または保険金のご請求の際、引受保険会社の社員または引受保険会社で委託した確認担当者が健康状況の告知内容等を確認させていただく場合があります。
- 「健康状況告知書質問事項」にご回答いただいた後に、万一、告知内容の漏れ・誤りに気づかれた場合は代理店・扱者または引受保険会社までご連絡ください。告知内容の訂正の手続きをご案内します。ただし、お申出内容によっては訂正をお受けできずご加入をそのまま継続いただけない場合があります。

特定の疾病・症状群について保険金をお支払いしない条件でご加入されているお客さまへ

- 継続加入していただいているお客さまは、特定の疾病・症状群について保険金をお支払いしない条件で加入されている場合があります。現在ご加入いただいているご契約の加入者証や、加入申込票の「特定疾病対象外欄」に表示されている疾病コードに属する疾病・症状群^(※)については、保険金をお支払いしません。この条件の各特約における取扱いは、次のとおりです。
- (※) お支払対象外となる疾病コードと医学上因果関係が認められる疾病・症状についても対象外となります。

特約の名称	お取扱い
疾病補償特約	ご継続時には、あらためて現在の健康状況等に応じた告知をしていただくことができます。 なお、保険期間の途中で特定の疾病・症状群について保険金をお支払いしない条件の削除・変更を行うことはできません。 あらためて告知される場合、告知の結果によって以下いずれかのお取扱いとなります。 <告知の結果、お引受けできる場合> 特定の疾病・症状群について保険金をお支払いしない条件を削除してご加入いただくことができます。 加入申込票の「特定疾病対象外欄」に疾病コード、疾病・症状名(カナ)が表示されている場合は、以下のとおりご記入ください。 なお、条件を削除してご継続いただいた場合でも、保険金のお支払有無は、発病時点の保険契約の条件で判断することがあります。 <告知の結果、お引受けできない場合> ご加入をご継続いただくことができません。
がん診断保険金補償(待機期間不設定型)特約	
三大疾病診断保険金補償(待機期間不設定型)特約	
疾病入院時一時金補償特約	
介護一時金支払特約 本人介護	
先進医療・拡大治験・患者申出療養費用保険金補償特約	
抗がん剤治療特約	加入申込票の「特定疾病対象外欄」に疾病コード、疾病・症状名(カナ)が表示されている場合は、以下のとおりご記入ください。 なお、条件を削除してご継続いただいた場合でも、保険金のお支払有無は、発病時点の保険契約の条件で判断することがあります。 <告知の結果、お引受けできない場合> ご加入をご継続いただくことができません。
親介護一時金支払特約 親介護	特定の疾病・症状群について保険金をお支払いしない条件でご加入いただくことはできませんので、説明すべき事項はありません。

【保険金をお支払いしない条件を削除する場合の記入方法】

加入申込票の疾病コード、疾病・症状名(カナ)を二重線で削除したうえで、ご加入後の補償内容に応じた質問事項にご回答ください。

親介護一時金・休業以外用 ※健康状況告知書質問事項回答欄(被保険者ご本人用)		
疾病		本人介護
質問1	質問2	質問3
LKA (はい) 3	LKH (はい) 3	LTA (はい) 3
(いいえ) 4	(いいえ) 4	(いいえ) 4
特定疾病対象外欄 506 疾病コード 三住 太郎 RG 507 疾病・症状名(カナ) コウホウコウホウ 三住 太郎		
※告知者ご署名欄 (注)もご確認のうえ、必ず被保険者ご本人がパソコンで署名してください。告知時における被保険者ご本人の年令が満15才未満の場合は、親権者のうちいずれの方がご署名ください。 LW8 告知日 R5 年 10 月 1 日 三住 太郎		

- 各疾病コードに属する疾病・症状は、引受保険会社のホームページに記載されている「疾病・症状一覧表」をご確認ください。右記からアクセスいただけます。
- ご確認いただけない場合は、代理店・扱者または引受保険会社までお問合わせください。



重要事項のご説明

契約概要のご説明

団体総合生活補償保険 (MS&AD型)、団体総合生活補償保険 (ゴルフープラン)

- ご加入に際して特にご確認いただきたい事項をこの「契約概要」に記載しています。ご加入される前に必ずお読みいただき、ご加入くださいますようお願いいたします。
- 申込人と被保険者(補償の対象者)が異なる場合は、被保険者の方にもこの書面の内容を必ずお伝えください。
- この書面はご加入に関するすべての内容を記載しているものではありません。ご加入の内容は、普通保険約款・特約等によって定まります。ご不明な点については、代理店・扱者または引受保険会社までお問合わせください。
- 契約取扱者が代理店または社員の場合は、引受保険会社の保険契約の締結権を有し、保険契約の締結・保険料の領収・保険料領収証の発行・ご契約の管理などの業務を行っています。したがって、代理店または社員と契約され有効に成立したご契約につきましては、引受保険会社と直接契約されたものとなります。

1. 商品の仕組みおよび引受条件等

(1) 商品の仕組み

団体総合生活補償保険 (MS&AD型)

この保険は、被保険者(補償の対象者)が事故によりケガをされた場合(傷害補償特約等をセットした場合)や病気になられた場合(疾病補償特約等をセットした場合)等に保険金をお支払いします。なお、被保険者としてご加入いただける方および被保険者の範囲は次のとおりです。特約をセットすることで、携行品損害、賠償責任など日常でのさまざまな事故を補償することも可能です。

加入タイプ	被保険者の範囲 (○:被保険者の対象 -:被保険者の対象外)		
	本人(*2)	配偶者	その他親族(*3)
本人型	○	-	-
家族型(*1)	○	○	○
夫婦型(*1)	○	○	-

主な特約	特約固有の被保険者の範囲
疾病補償特約	本人(*2)のうち、次のすべてに該当する方 ・保険期間の開始時点で生後15日以上満89才以下の方 ・健康に関する告知の結果、ご加入できると判定された方
がん診断保険金補償(待機期間不設定型)特約	
三大疾病診断保険金補償(待機期間不設定型)特約	
疾病入院時一時金補償特約	
介護一時金支払特約 本人介護	
先進医療・拡大治験・患者申出療養費用保険金補償特約	
抗がん剤治療特約	
日常生活賠償特約	(a)本人(*2) (b)本人(*2)の配偶者 (c)同居の親族(本人(*2)またはその配偶者と同居の、本人(*2)またはその配偶者の6親等内の血族および3親等内の姻族) (d)別居の未婚の子(本人(*2)またはその配偶者と別居の、本人(*2)またはその配偶者の未婚の子) (e)(a)から(d)までのいずれかに該当する方が責任無能力者である場合は、その方の親権者、その他の法定監督義務者および監督義務者に代わって責任無能力者を監督する方(*4)。ただし、その責任無能力者に関する事故に限ります。
受託物賠償責任補償特約	
救済者費用等補償特約	(a)保険契約者(申込人) (b)救済対象者である上表の「被保険者の範囲」の方およびその親族(6親等内の血族、配偶者および3親等内の姻族)
弁護士費用特約	(a)本人(*2) (b)本人(*2)の配偶者 (c)同居の親族(本人(*2)またはその配偶者と同居の、本人(*2)またはその配偶者の6親等内の血族および3親等内の姻族) (d)別居の未婚の子(本人(*2)またはその配偶者と別居の、本人(*2)またはその配偶者の未婚の子)

親介護一時金支払特約 親介護	本人(*2)の親(姻族を含みます。2名までを限度とします。)のうち、加入申込票の特約被保険者欄に記載された次のすべてに該当する方 ・保険期間の開始時点で満40才以上満89才以下の方 ・健康に関する告知の結果、ご加入できると判定された方
特定感染症危険「葬祭費用保険金」補償特約	(a)保険契約者 (b)補償対象者である左表の「被保険者の範囲」の方の親族(6親等内の血族、配偶者および3親等内の姻族)

- (*1)家族型には「家族型への変更に関する特約」が、夫婦型には「夫婦型への変更に関する特約」がセットされます。
- (*2)加入申込票の被保険者ご本人欄記載の方をいいます。
- (*3)家族型の場合は次のいずれかの方をいいます。
 - ・本人またはその配偶者と同居の、本人またはその配偶者の6親等内の血族および3親等内の姻族
 - ・本人またはその配偶者と別居の、本人またはその配偶者の未婚の子
- (*4)監督義務者に代わって責任無能力者を監督する方は、責任無能力者の6親等内の血族、配偶者および3親等内の姻族に限ります。
- (注)同居・別居の別および続柄は保険金支払事由発生の際におけるものをいいます。住民票上は同居となっても実態が別居の場合は、ここでいう同居には該当しません。

団体総合生活補償保険(ゴルフープラン)

この保険は、被保険者(補償の対象者)が法律上の損害賠償責任を負われた場合等に保険金をお支払いします。なお、被保険者の範囲は次のとおりです。

主な特約	被保険者の範囲
ゴルフープラン賠償責任保険特約	(a)本人(*1) (b)本人(*1)が責任無能力者である場合は、その方の親権者、その他の法定監督義務者および監督義務者に代わって責任無能力者を監督する方(*2)。ただし、その責任無能力者に関する事故に限ります。
ゴルフープラン傷害補償特約	本人(*1)のみが被保険者となります。
ゴルフ用品補償特約	
ホールインワン・アルバトロス費用補償特約(団体総合生活補償保険用)	

- (*1)加入申込票の被保険者ご本人欄記載の方をいいます。
- (*2)監督義務者に代わって責任無能力者を監督する方は、責任無能力者の6親等内の血族、配偶者および3親等内の姻族に限ります。
- (注)同居・別居の別および続柄は保険金支払事由発生の際におけるものをいいます。住民票上は同居となっても実態が別居の場合は、ここでいう同居には該当しません。

(2) 補償内容

保険金をお支払いする場合は重要事項のご説明P1~17のとおりです。詳細は普通保険約款・特約に基づきます。

- ①保険金をお支払いする場合(支払事由)と保険金のお支払額
重要事項のご説明P1~17をご参照ください。
- ②保険金をお支払いしない主な場合(主な免責事由)
重要事項のご説明P1~17をご参照ください。なお、詳細は普通保険約款・特約の「保険金を支払わない場合」の項目に記載されております。

(3) セットできる主な特約およびその概要

重要事項のご説明P1~17をご参照ください。特約の内容の詳細は普通保険約款・特約に基づきます。

(4) 保険期間

この保険の保険期間は、1年間です。お客さまが実際にご加入いただく保険期間については、パンフレット表紙または加入申込票の保険期間欄にてご確認ください。

(5) 引受条件

お客さまが実際にご加入いただく保険金額につきましては、パンフレットP4～14の保険金額欄および加入申込票、普通保険約款・特約等にてご確認ください。ご加入いただく保険金額につきましては、次の点にご注意ください。

- ・保険金額は被保険者(補償の対象者)の方の年齢・年収などに照らして適正な金額となるように設定してください。場合により、お引受けできない保険金額・ご加入条件等もありますのであらかじめご承知おきください。
- ・保険金額は、高額療養費制度等の公的保険制度を踏まえて設定してください。公的保険制度の概要につきましては、金融庁のホームページ(<https://www.fsa.go.jp/ordinary/insurance-portal.html>)等をご確認ください。

2. 保険料

保険料は下記によって決定されます。

団体総合生活補償保険(MS&AD型)

保険料は保険金額・被保険者(補償の対象者)の方の年齢・保険期間等によって決定されます。お客さまが実際にご加入いただく保険料につきましては加入申込票の保険料欄にてご確認ください。

団体総合生活補償保険(ゴルフープラン)

保険料は保険金額・保険期間等によって決定されます。お客さまが実際にご加入いただく保険料につきましては、加入申込票の保険料欄にてご確認ください。

3. 保険料の払込方法について

パンフレット表紙をご参照ください。

4. 満期返れい金・契約者配当金

この保険には満期返れい金・契約者配当金はありません。

5. 解約返れい金の有無

ご加入の脱退(解約)に際しては、ご加入時の条件により、保険期間のうち未経過であった期間の保険料を解約返れい金として返還します。始期日から解約日までの期間に応じて払込みいただくべき保険料の払込状況により追加の保険料をご請求する場合があります。追加で請求したにもかかわらず、その払込みがない場合は、ご契約を解除することがあります。「注意喚起情報のご説明」の「7. 解約と解約返れい金」をご参照ください。

注意喚起情報のご説明

団体総合生活補償保険(MS&AD型)、団体総合生活補償保険(ゴルフープラン)

- ご加入に際して被保険者にとって不利益になる事項等、特にご注意ください事項をこの「注意喚起情報」に記載しています。ご加入される前に必ずお読みいただき、ご加入くださいますようお願いいたします。
- 申込人と被保険者(補償の対象者)が異なる場合は、被保険者の方にもこの書面の内容を必ずお伝えください。
- この書面はご加入に関するすべての内容を記載しているものではありません。ご加入の内容は、普通保険約款・特約等によって定まります。ご不明な点については、代理店・扱者または引受保険会社までお問い合わせください。
- 契約取扱者が代理店または社員の場合は、引受保険会社の保険契約の締結権を有し、保険契約の締結・保険料の領収・保険料領収証の発行・ご契約の管理などの業務を行っています。したがって、代理店または社員と契約され有効に成立したご契約につきましては、引受保険会社と直接契約されたものとなります。

1. クーリングオフ説明書(ご契約のお申込みの撤回等)

この保険は京王電鉄株式会社が保険契約者となる団体契約であることからクーリングオフの対象となりません。

2. 告知義務等

(1) 告知義務(ご加入時にお申出いただく事項)

- 被保険者(補償の対象者)には、告知義務があり、代理店・扱者には告知受領権があります。告知義務とは、ご加入時に告知事項について、事実を正確に知らせる義務のことです。
- 告知事項とは、危険に関する重要な事項として引受保険会社が告知を求めるもので、加入申込票に記載された内容のうち、「※」印がついている項目のことです。この項目について、故意または重大な過失によって告知がなかった場合や告知した事項が事実と異なる場合には、ご加入を解除し、保険金をお支払いできないことがあります。加入申込票の記載内容を必ずご確認ください。

【告知事項】

団体総合生活補償保険(MS&AD型)、 団体総合生活補償保険(ゴルフープラン)

- ①他の保険契約等^(*)に関する情報
(^(*))同種の危険を補償する他の保険契約等で、団体総合生活補償保険、普通傷害保険、ゴルフープラン、個人賠償責任保険等をいい、いずれも積立保険を含みます。また、他の保険会社等における契約、共済契約、生命保険契約等を含みます。

団体総合生活補償保険(MS&AD型)

- ②被保険者の「生年月日」、「年齢」(病気を補償する契約に限りです。)
③被保険者の健康に関する告知(病気を補償する契約に限りです。)
④被保険者の「性別」(抗がん剤治療特約をセットする契約に限りです。)
(注)告知事項の回答にあたっては、「健康状況告知書ご記入のご案内」をご覧ください。

(2) その他の注意事項

- 同種の危険を補償する他の保険契約等^(*)で、過去3年以内に合計して5万円以上保険金を請求または受領されたことがある場合は、加入申込票の保険金請求履歴欄にその内容を必ず記入してください。
(^(*))「同種の危険を補償する他の保険契約等」とは、団体総合生活補償保険、普通傷害保険、ゴルフープラン、個人賠償責任保険等をいい、いずれも積立保険を含みます。また、他の保険会社等における契約、共済契約、生命保険契約等を含みます。

- ご加入後、申込人の住所などを変更される場合は、ご契約内容の変更等が必要となります。ただちに代理店・扱者または引受保険会社までご連絡ください。

■保険金受取人について

保険金受取人	傷害死亡保険金	・傷害死亡保険金は、特に傷害死亡保険金受取人を定めなかった場合には、被保険者の法定相続人にお支払いします。 (注)傷害死亡保険金受取人を法定相続人以外の方に定める場合、被保険者の同意を確認するための署名などをいただきます。なおこの場合、保険契約者と被保険者が異なるご契約を被保険者の同意のないままにご契約されていたときは、保険契約が無効となります。また、ご契約後に傷害死亡保険金受取人を変更する場合も、被保険者の同意を確認するための署名などをいただきます。
	上記以外	・普通保険約款・特約に定めております。

団体総合生活補償保険(MS&AD型)

- 被保険者が保険契約者以外の方である場合に、次のいずれかに該当するときは、被保険者は保険契約者にこの保険契約^(*)の解約を求めることができます。この場合、保険契約者はこの保険契約^(*)を解約しなければなりません。
①この保険契約^(*)の被保険者となることについて、同意していなかったとき
②保険契約者または保険金を受け取るべき方に、次のいずれかに該当する行為があったとき
・引受保険会社に保険金を支払わせることを目的としてケガや病気等を発生させ、または発生させようとしたこと。
・保険金の請求について詐欺を行い、または行おうとしたこと。
③保険契約者または保険金を受け取るべき方が、暴力団関係者、その他の反社会的勢力に該当するとき
④他の保険契約等との重複により、保険金額等の合計額が著しく過大となり、保険制度の目的に反する状態がもたらされるおそれがあること。
⑤②～④の場合と同程度に被保険者の信頼を損ない、この保険契約^(*)の存続を困難とする重大な事由を発生させたとき
⑥保険契約者と被保険者との間の親族関係の終了等により、この保険契約^(*)の被保険者となることについて同意した事情に著しい変更があったとき
また、①の場合は、被保険者が引受保険会社に解約を求めることができます。その際は被保険者であることの証明書類等の提出が必要となります。

(注)家族型または夫婦型においては、被保険者ご本人から解約請求があった場合、または被保険者ご本人による引受保険会社への解約請求があった場合には、保険契約者は次のa.またはb.いずれかのことを行わなければならない。ただし、この保険契約において、その被保険者ご本人が傷害後遺障害保険金の支払いを受けていた場合にはb.によるものとします。

- a. 家族のうち新たに本人となる方の同意を得て、本人をその方に変更すること。
- b. この保険契約(*)を解約すること。

(*) 保険契約: その被保険者に係る部分に限ります。

■ 複数のご契約があるお客さまへ

次の特約等をセットする場合、補償内容が同様の保険契約(団体総合生活補償保険以外の保険契約にセットされた特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。)が他にあるときは、補償が重複することがあります。補償が重複すると、補償対象となる事故による損害については、いずれの保険契約からでも補償されますが、損害の額等によっては、いずれか一方の保険契約からは保険金が支払われない場合があり、保険料が無駄になることがあります。補償内容の差異や保険金額等を確認し、特約の要否を判断のうえ、ご加入ください。

(注)複数あるご契約のうち、これらの特約を1つのご契約のみにセットしている場合、ご加入を解約したときや、家族状況の変化(同居から別居への変更等)により被保険者が補償の対象外となったとき等は、特約の補償がなくなることがありますのでご注意ください。

<補償が重複する可能性のある主な特約>

今回ご加入いただく補償	補償の重複が発生する他の保険契約の例
団体総合生活補償保険(MS&AD型) 日常生活賠償特約	自動車保険 日常生活賠償特約

■ 団体総合生活補償保険(ゴルフープラン)

■ ゴルファー傷害補償特約(以下、傷害補償特約といいます。)の被保険者が保険契約者以外の方である場合に、次のいずれかに該当するときは、被保険者は保険契約者に傷害補償特約(*)の解約を求めることができます。この場合、保険契約者は傷害補償特約(*)を解約しなければなりません。

- ① 傷害補償特約(*)の被保険者となることについて、同意していなかった場合
- ② 保険契約者または保険金を受け取るべき方に、次のいずれかに該当する行為があった場合
 - ・ 引受保険会社に傷害補償特約(*)に基づく保険金を支払わせることを目的としてケガ等が発生させ、または発生させようとしたこと。
 - ・ 保険金の請求について詐欺を行い、または行おうとしたこと。
- ③ 保険契約者または保険金を受け取るべき方が、暴力団関係者、その他の反社会的勢力に該当する場合
- ④ 他の保険契約等との重複により、保険金額等の合計額が著しく過大となり、保険制度の目的に反する状態がもたらされるおそれがあること。
- ⑤ ②~④の場合と同程度に被保険者の信頼を損ない、傷害補償特約(*)の存続を困難とする重大な事由が発生させた場合
- ⑥ 保険契約者と被保険者との間の親族関係の終了等により、傷害補償特約(*)の被保険者となることについて同意した事情に著しい変更があった場合

また、①の場合、被保険者が引受保険会社に傷害補償特約(*)の解約を求めることができます。その際は被保険者であることの証明書類等の提出が必要となります。

(*) 傷害補償特約: その被保険者に係る部分に限ります。

■ 複数のご契約があるお客さまへ

次の特約等をセットする場合、補償内容が同様の保険契約(団体総合生活補償保険以外の保険契約にセットされた特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。)が他にあるときは、補償が重複することがあります。補償が重複すると、補償対象となる事故による損害については、いずれの保険契約からでも補償されますが、損害の額等によっては、いずれか一方の保険契約からは保険金が支払われない場合があり、保険料が無駄になることがあります。補償内容の差異や保険金額等を確認し、特約の要否を判断のうえ、ご加入ください。

(注)複数あるご契約のうち、これらの特約を1つのご契約のみにセットしている場合、ご加入を解約したときや、家族状況の変化(同居から別居への変更等)により被保険者が補償の対象外となったとき等は、特約の補償がなくなることがありますのでご注意ください。

<補償が重複する可能性のある主な特約>

今回ご加入いただく補償	補償の重複が発生する他の保険契約の例
団体総合生活補償保険 ゴルファー賠償責任保険特約	自動車保険 日常生活賠償特約
団体総合生活補償保険 ゴルフ用品補償特約	団体総合生活補償保険 携行物品損害補償特約
団体総合生活補償保険 ホールインワン・アルパトロス費用補償特約(団体総合生活補償保険用)	ゴルフ保険 ホールインワン・アルパトロス費用補償特約

3. 補償の開始時期

始期日の午後4時に補償を開始します。保険料は、パンフレット表紙記載の方法により払込みください。パンフレット表紙記載の方法により保険料を払込みいただけない場合には、保険期間が始まった後であっても、保険金をお支払いしません。

4. 保険金をお支払いしない主な場合(主な免責事由)等

(1) 保険金をお支払いしない主な場合

重要事項のご説明P1~17をご参照ください。なお、保険金を支払わない場合の詳細は普通保険約款・特約の「保険金を支払わない場合」の項目に記載されておりますのでご確認ください。

(2) 重大事由による解除

次のことがある場合は、ご契約を解除し、保険金をお支払いできないことがあります。

- ① 保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき方が、引受保険会社に保険金を支払わせることを目的として損害またはケガや病気を発生させ、または発生させようとしたこと。
- ② 被保険者または保険金を受け取るべき方が、保険金の請求について詐欺を行い、または行おうとしたこと。
- ③ 保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき方が、暴力団関係者、その他の反社会的勢力に該当すると認められたこと。
- ④ 他の保険契約等との重複により、保険金額等の合計額が著しく過大となり、保険制度の目的に反する状態がもたらされるおそれがあること。
- ⑤ 上記のほか、①~④と同程度に引受保険会社の信頼を損ない、保険契約の存続を困難とする重大な事由が発生させたこと。

5. 保険料の払込猶予期間等の取扱い

保険料は、パンフレット表紙記載の方法により払込みください。パンフレット表紙記載の方法により保険料を払込みいただけない場合には、保険金をお支払いできないことがあります。また、ご契約を解除させていただくことがあります。

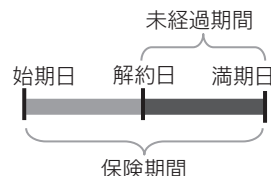
6. 失効について

ご加入後に、被保険者(家族型、夫婦型においては被保険者全員)が死亡された場合には、この保険契約は失効となります。なお、傷害死亡保険金をお支払いする場合に該当しない事由の死亡による失効のときは、未経過期間分の保険料を返還します。

7. 解約と解約返れい金

ご加入を中途で脱退(解約)される場合は、ご加入の代理店・扱者または引受保険会社までお申出ください。

- ・ 脱退(解約)日から満期日までの期間に応じて、解約返れい金を返還させていただきます。ただし、解約返れい金は原則として未経過期間分よりも少なくなります。
- ・ 始期日から脱退(解約)日までの期間に応じて払込みいただくべき保険料について、追加のご請求をさせていただくことがあります。



8. 保険会社破綻時等の取扱い

重要事項のご説明P18をご参照ください。

9. 個人情報の取扱いについて

重要事項のご説明P19をご参照ください。

10. 「現在のご契約の解約・減額を前提とした新たなご契約」のご注意

現在のご契約について解約、減額などの契約内容の変更をされる場合には、被保険者にとって不利益となるときがあります。また、新たにお申込みの保険契約についても制限を受ける場合があります。

(1) 現在のご契約について解約、減額などをされる場合の不利益事項

■ 団体総合生活補償保険(MS&AD型)

- ① 多くの場合、現在のご契約の解約返れい金は払込みいただいた保険料の合計額よりも少ない金額となります。特にご契約後短期間で解約された場合の解約返れい金はまったくないか、あってもごくわずかです。
- ② 一定期間の契約継続を条件に発生する配当の請求権を失うことがあります。

(2)新たな保険契約をお申込みされる場合のご注意事項

団体総合生活補償保険 (MS&AD型)

- ①新たにお申込みの保険契約については、被保険者の健康状況などによりご加入をお引受けできない場合があります。
- ②新たにお申込みの保険契約については、その保険契約の保険期間の開始時より前に発生している病気やケガ等に対しては保険金をお支払いできないことがあります。
- ③新たにお申込みの保険契約については、現在のご契約と商品内容が異なることがあります。新たな保険契約にご加入された場合、新たな保険契約の始期日における被保険者の年齢により計算された保険料が適用されるとともに、新たな保険契約の普通保険約款・特約が適用されます。
- ④新たにお申込みの保険契約については、保険料計算の基礎となる予定利率・予定死亡率等が解約・減額される契約と異なることがあります。

この保険商品に関するお問合わせは

【代理店・扱者】

京王観光株式会社 TEL 050-8885-8212

三井住友海上へのご相談・苦情・お問合わせは

「三井住友海上お客さまデスク」 0120-632-277 (無料)

「チャットサポートなどの各種サービス」

こちらからアクセスできます。

<https://www.ms-ins.com/contact/cc/>



万一、事故が起こった場合は

遅滞なく代理店・扱者または下記にご連絡ください。

24時間365日事故受付サービス

事故は いち早く

「三井住友海上事故受付センター」0120-258-189 (無料)

事故の連絡は、「インターネット「受付」も行っていきます。

インターネット事故受付サービス

「三井住友海上保険金請求WEB」は、こちらから

※対応可能な事故は限定されています。
詳細はWEB画面をご覧ください。



指定紛争解決機関

注意喚起情報

引受保険会社は、保険業法に基づく金融庁長官の指定を受けた指定紛争解決機関である一般社団法人 日本損害保険協会と手続実施基本契約を締結しています。引受保険会社との間で問題を解決できない場合には、一般社団法人 日本損害保険協会にご相談いただくか、解決の申し立てを行うことができます。

一般社団法人 日本損害保険協会 そんぽADRセンター

0570-022-808 [ナビダイヤル
(全国共通・通話料有料)]

- ・受付時間[平日9:15~17:00(土日・祝日および年末年始を除きます)]
- ・携帯電話からも利用できます。IP電話からは03-4332-5241におかけください。
- ・おかけ間違いにご注意ください。
- ・詳細は、一般社団法人 日本損害保険協会のホームページをご覧ください。
<https://www.sonpo.or.jp/about/efforts/adr/index.html>